



TITLE:

# 京都大学附属図書館蔵菊池三溪自筆稿本目録

AUTHOR(S):

福井, 辰彦

---

CITATION:

福井, 辰彦. 京都大学附属図書館蔵菊池三溪自筆稿本目録. 2012

ISSUE DATE:

2012-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/155109>

RIGHT:

京都大学附属図書館蔵

菊池三溪自筆稿本目錄

福井辰彦編

京都大学附属図書館発行

## はじめに

京都大学附属図書館には、菊池三溪の自筆稿本と旧蔵書が所蔵されている。

自筆稿本は全六十点あり、すべて貴重書に指定されている。一方、旧蔵書からは三溪の自筆資料とみなされる四点が貴重書に指定されており、それ以外は普通書として請求記号に従い配架されている。正確な点数は未確認であるが、受入時の台帳には三八二点の書名が見える。三溪と同時代の、日本人の詩文が多い。

これらはいずれも、明治三十三年（一九〇〇）十二月、三溪の養子である菊池左馬太郎によって、京都帝国大学に寄贈されたものである。

菊池三溪。名は純、字は子顕。三溪のほか、晴雪楼主人、鉄屏書屋主人などとも号した。文政二年（一八一九）、紀州和歌山藩の儒者菊池梅軒の子として生まれる。菊池家は三溪の曾祖父衡岳以来代々儒を以て仕え、藩政にも参画した。三溪も幼時より儒者たるべく教育を受け、和歌山藩儒となる。安政五年（一八五八）に藩主徳川慶福が十四代将軍に就任した後、将軍侍講となるが、政争

に巻き込まれ元治元年（一八六四）致仕、采地である下総国結城郡宗道村に退隠した。その後常総各地を転々としたが、その間下館、笠間、土浦の各藩に相次いで聘せられ、これに応じている。明治四年（一八七一）春、東京へ出た後、五年六月、京都に移った。京都でもたびたび転居を繰り返している。十四年には東京に戻り、警視庁御用掛を勤め、十六年には大阪に移り、大阪府中学一等教諭となった。二十一年までには再び京都に移っている。二十四年十月十七日若狭国小浜で没す。七十三歳。主な著書には『晴雪楼詩鈔』（慶応三年（一八六七）刊）、『東京写真鏡』（明治七年刊）、『西京伝新記』（明治七年刊）、『本朝眞初新誌』（明治十六年刊）、『訳準綺語』（明治四十四年刊）などがある。

三溪の養子左馬太郎は素空と号する日本画家。明治六年生まれ。幸野棹嶺に師事し、四条派を学ぶ。二十三年、京都市画学校専門画科を卒業、一時上京するが、再び京都に戻り、浅井忠に日本画を教え、浅井からは洋画を学ぶ。京都市立美術工芸学校の嘱託教諭や京都高等工芸学校の講師を経て、市立陶磁器試験場に勤める。三十六年、浅井や神坂雪佳らと遊陶園を設立。四十二年にはヨーロッパに視察旅行する。大正十一年（一九二二）没。四十九歳。

漢詩・漢文がまだ生きた文学であった明治二十年頃までの文学や文化を考えるうえで、三溪は重要な存在であるはずなのだが、その研究は余り進んでいない。以下、主な先行研究を挙げてみる。

- ・富村 登『常総の漢詩人』（富村登遺稿出版後援会 一九六五）
- ・前田 愛「明治初期文人の中国小説趣味」（『言語と文芸』五一 一九六七・三、のち『前田愛著作集』第二巻（筑摩書房 一九八九）所収）
- ・日野龍夫「菊池三溪自筆詩文稿」（『国語国文』四六―九 一九七七・九、のち『日野龍夫著作集』第三巻（ぺりかん社 二〇〇五）所収）
- ・宮崎修多「漢訳文と明治の記事文」（文学増刊『明治文学の雅と俗』（岩波書店 二〇〇二）
- ・小林 勇「菊池三溪と『西京伝新記』（新日本古典文学大系明治編一『開化風俗誌集』（岩波書店 二〇〇四）解説）
- ・池澤一郎『『本朝虞初新誌』と講談』（新日本古典文学大系明治編三『漢文小説集』（岩波書店 二〇〇五）解説）
- ・福井辰彦「ある儒者の幕末―菊池三溪伝小攷―」（『論究日本文学』八九 二〇〇八・一二）
- ・福井辰彦「もう一人のお伝―菊池三溪「臙脂虎伝」について―」（『日本近代文学』八二 二〇一〇・五）

三溪研究がなかなか進まなかったのは、そもそも明治期の漢詩文が研究対象となること自体、まれなことであつたからでもあろう。しかし、同時に、重要な一次資料である自筆稿本が、十分に認

知・活用されてこなかったことも、要因の一つであつたように思われる。

右に挙げた先行研究のうち、三溪自筆稿本について詳しく紹介しているのは、日野龍夫「菊池三溪自筆詩文稿」である。日野氏はまず自筆稿本四十六点の書名を挙げ、三溪の略歴をたどった後、特に注目すべき資料数点を紹介している。しかし、日野氏の調査から漏れた自筆稿本が少なからず存在することや、各稿本の書誌情報や内容については記述がなされていないことなどから、自筆稿本の全貌を概観するうえでは不十分なものとせざるをえない。

先述の通り、三溪自筆稿本は貴重書に指定されており、すべてを通覧することは容易ではない。したがって、この貴重な資料が活用されるためには、一冊一冊の書誌や内容を詳しく記述した目録が必要であろうと考え、本書を刊行することにした。

三溪の作品のうち、公にされたものはごく一部であり、彼の伝記や文業を明らかにするうえで、自筆稿本の果たす役割は極めて大きい。当然、三溪と交遊のあつた当時の学者・文人たちについても、様々なことが判明するであろう。また、自筆稿本の多くには、他の文人による批点や評語が大量に書き入れられている。これらを通して、詩文の制作・推敲がどのようなようになされていたのかを具体的に知ることができるし、当時の文人社会の動静や雰囲気も生き生きと伝わってくる。

本書を一つの契機として、近世・近代文学史上、極めて有用なこの資料がより広く活用され、豊かな成果につながることを願いたい。恐らくは、泉下の三溪も、そのことを喜んでくれると思うの

である。

調査にあたっては、京都大学附属図書館情報サービス課特殊資料掛の方々に大変お世話になった。心より御礼申し上げる。

また、本書の編集・校正については、中村健史氏、白方佳果氏のご助力に負うところが大きい。ここに記して謝意を表する。

福井辰彦





## 凡 例

- 一 本書は、京都大学附属図書館が所蔵する菊池三溪自筆稿本の目録である。
- 二 配列は、京都大学附属図書館が付した請求記号の順とした。
- 三 各稿本には通し番号を付した。
- 四 各稿本ごとに、まず書名を記し、次いで請求記号を示した。同じ書名を持つ稿本には、(甲)(乙)を付して区別した。
- 五 次に、①分量、②書型、③丁数、④外題、⑤内題等、⑥序跋、⑦備考、⑧目次の八項目について記述した。
- 六 いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を、改装または合綴した稿本の場合、③丁数には薄紙表紙も算入した。
- 七 ⑧目次の記述は、以下の方針によった。
  - 1 複数冊から成る稿本の場合、各冊の冒頭を第一冊のように示す。また、各冊の外題が異なる場合は、(一)に括弧で外題を示す。
  - 2 一冊の稿本が、複数の巻から成る場合、各巻の内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入する。
  - 3 一冊の稿本が、相異なる複数の内題を持つ部分から成る場合、それぞれの内題を、それらが記されている位置に、●印を付して挿入する。

4 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、いったん薄紙表紙を付けてまとめられた詩文稿を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所、薄紙表紙に記された題を、 で囲って挿入し、その末尾の箇所を、『印で示す。

5 種々の詩文稿を合綴した稿本の中には、体裁・内容などから、元々ひとまとまりであったと推定し得る部分を含んでいるものがある。この場合、その冒頭の箇所に、\*印の注記を施し、末尾の箇所を、『印で示す。

6 各稿本に収められた三溪の作品には通し番号を付す。

7 三溪自身による序、題言、凡例などには番号を付けず、※印を付す。

8 三溪以外の人物による序、跋、詩文には番号を付けず、・印を付し、（ ）に括って作者名を示す。

9 題のない作品には、仮の題を付け、「」に括って示す。内容などについての注記は（ ）に括って記す。

10 詩については、その詩体を（ ）に括って示す。

11 連作詩について、詩の数が詩題に明示されていない場合や、その一部を節録している場合は、当該稿本に収録されている詩の数を（ ）内に示す。

八 表記は以下の原則によった。

1 漢字の字体は、現在通行の字体に統一する。

2 適宜、句読点等を補う。

3 明らかな誤字は改める。そのままの形を残す場合は（ママ）と傍書する。

- 4 割書き、小書きの文字はへゝに括って示す。
- 5 汚損などで判読できない文字は□で示し、推測される形を（某カ）のように傍書する。
- 6 改行は、それを示した方が読みやすいと思われる箇所のみ、／で示す。
- 九 旧蔵書のうち、三溪による多数の書入が見られる『四書集註』（1・66／シ／2貴）、諸書から詩文を抄出したものである『学聚堂叢書』（4・02／カ／7貴）、『近世古文所見集』（4・02／キ／5貴）、『梅墩詩鈔』（4・07／ハ／2貴）の四点は、三溪の自筆資料として貴重書に指定されている。これらについては簡単な書誌を付録として付した。
- 一〇 末尾に「稿本書名索引」（白方佳果作成）を付した。



【二三】三溪遺稿……………四〇

【一三】	三溪遺稿	………	四〇
【一四】	三溪余稿	………	四二
【一五】	三溪文略	………	四七
【一六】	三溪文稿（甲）	………	四八

【二三】	三溪遺稿	……	四〇
【二四】	三溪余稿	……	四二
【二五】	三溪文略	……	四七
【二六】	三溪文稿（甲）	……	四八
【二七】	三溪文稿（乙）	……	五六
【二八】	三溪寸鉄	……	五七
【二九】	三溪雜稿	……	五九
【三〇】	記佐賀県騷擾本末	……	六一
【三一】	晴雪樓遺稿	……	六一
【三二】	晴雪樓雜稿	……	六六
【三三】	晴雪樓小稿	……	六八
【三四】	晴雪樓文略	……	六九
【三五】	鉄屏書屋雜稿	……	七一
【三六】	四照園詩触	……	七二
【三七】	学聚堂存稿	……	七四
【三八】	荷香松影樓小稿	……	七七
【二九】	京華集	……	七九
【三〇】	兼葭一枝	……	八一

【三一】	皇朝新擬樂府	……	八二	【四八】	皇朝故事成語考	……	一二二
【三二】	香雲樓詩鈔	……	八三	【四九】	政記論文国字解	……	一二二
【三三】	高倉山房集・精細集	……	八七	【五〇】	南紀名賢錄	……	一二三
【三四】	辛亥存稿	……	九〇	【五一】	続大統歌	……	一二五
【三五】	重簾淺夢余稿	……	九二	【五二】	東京写真鏡(甲)	……	一二六
【三六】	酒痕灯影詩	……	九三	【五三】	東京写真鏡(乙)	……	一二七
【三七】	小西湖雜詠	……	九五	【五四】	觀梅遊記(甲)	……	一二八
【三八】	紫藤架下小池頭唸草・小西征詩・ 四年五回移居集	……	九六	【五五】	觀梅遊記(乙)	……	一二九
【三九】	晴雪樓余稿	……	九八	【五六】	西上集	……	一三〇
【四〇】	晴雪樓詩鈔	……	一〇一	【五七】	東下錄	……	一三一
【四一】	晴雪樓詩鈔甲集	……	一一一	【五八】	波山遊記	……	一三一
【四二】	西洞新居集	……	一一四	【五九】	読史戰論(甲)	……	一三二
【四三】	彫虫詩抄	……	一二六	【六〇】	読史戰論(乙)	……	一三三
【四四】	八百八橋春水來集・襄陵集	……	一二七	【附録一】	四書集註	……	一三四
【四五】	雨辰余筆	……	一二九	【附録二】	学聚堂叢書	……	一三四
【四六】	依樣画胡盧	……	一二〇	【附録三】	近世古文所見集	……	一三七
【四七】	閑言語	……	一二一	【附録四】	梅墩詩鈔	……	一三七
				稿本書名索引	……		一三八

【一】皇朝人君明暗図説義証・人臣忠姦図説義証

(1・84／コ／1貴)

①分量 四卷一冊

②書型 縦二四・二cm×横一六・八cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 三四丁

④外題 「菊池三溪手稿」皇朝人〈君明暗〉〈臣忠姦〉図説義証 各二巻「(表紙左肩、子持梓書き題簽)

⑤内題等 内題「皇朝人君明暗図説義証巻一」〔一〕、「皇朝人臣忠姦図説義証巻一」〔二〕

⑥序跋 斎藤南溟「皇朝人君明暗図説跋」、「自叙」(弘化四年十一月)、遠藤鶯谷「皇朝人臣忠姦図説跋」(弘化四年十一月)、「自叙」

⑦備考 本朝の名君・暗君、忠臣・姦臣に関する逸話を集めたもの。「皇朝人君明暗図説義証」巻一は名君、

巻二は暗君、「皇朝人臣忠姦図説義証」巻一は忠臣、巻二は姦臣を収める。各巻内題、著者名の次にはそれぞれ「明君」、「暗君」、「忠臣」、「姦臣」とあり。各逸話は二条一組にし、「慈仁」「節儉」などの小題を付ける。

⑧目次

●皇朝人君明暗図説義証巻一・明君

- 1 慈仁 崇神開溝恤四海蒙沢／一条脱御衣万民浴徳
- 2 節儉 肫肫仁徳宮室不理／浩浩天智材木用質
- 3 英明 神祖戒小慧千載龜鑑／元就責倭媚万世鑑範
- 4 誠信 棹舟公泛杯三軍感激／善徳君賜酒滿朝心醉
- 5 義勇 助弱折強謙信庇義清／援堅執銳元就誅晴賢
- 6 大度 延攬英雄早雲吞八州／駕御豪傑豊公握三韓
- 7 委任 時頼挙一賢万国大治／台廟任三老百僚悦服
- 8 守成 大猷賜佩刀諸侯悚息／泰時分産田弟兄和順

●皇朝人君明暗図説義証巻二・暗君

- 1 逸遊 義隆善和歌何裨治績／氏実能就鞠已觀亡兆
- 2 驕奢 高時闘獒狗天下乱階／義政觀猿猿蒼生呻吟
- 3 暴厲 武烈剝孕婦何然虐哉／雄略抗山神可謂暴矣
- 4 頑愚 頼家淫昏身斃浴室／秀次苛虐死築畜塚
- 5 誑誘 天皇捨身称沙弥／太子党賊創寺塔
- 6 蠱惑 義貞耽衽席失軍機／清盛愛蛾眉乱家法
- 7 兇悖 殺父義朝人而獸／害弟頼朝狼乎豺
- 8 式微 弑父害君倫理安在／防狼進虎禍乱相踵

※自叙

●皇朝人臣忠姦図説義証巻一・忠臣

- 33 鎮靜 髑髏在御床兼家自若／巨蛇出后宫重盛従容

35 〽 36 寛猛 高力慈祥称仏／作左剛直呼鬼

37 〽 38 循良 赫赫高房捕妖巫／堂堂頼之弄佞坊

39 〽 40 直諫 藤房論竜馬面折庭争／尾輿投仏像直言極諫

41 〽 42 深慮 勝重謀寡妻獄訟平允／元春聘媿女兵鋒無前

43 〽 44 名節 服袞冕師堅代天子／覆魚鱗忠光狙將軍

45 〽 46 忠誠 以身死難万及義狗／為主雪恥競竊良馬

47 〽 48 剛直 勝高呼城乱槍洞胸／企讎罵虜一刀殺身

●皇朝人臣忠姦図説義証卷二・姦臣

49 〽 50 猜忌 紫宸殿上群小歌酸甕／鹿谷莊中姦党倒瓶子

51 〽 52 刻薄 兼通縦威福猛似乳虎／直義逞慘毒暴如虺蛇

53 〽 54 佞幸 善禳玄坊蠱惑太后／陷忠道鏡僭擬乘輿

55 〽 56 叛乱 馬子謀逆天怒地嘖／將門扇乱綱断倫絶

57 〽 58 弑逆 害君忠致天地何容／餌母光秀豺虎不受

59 〽 60 培克 内在外厲大賀誅滅／人面獸心数正屈辱

61 〽 62 剛腹 正則殺循吏豈能久／正純害家翁其不永

63 〽 64 讒間 媚君景時疎間同胞／結党三成忌憚功臣

・皇朝人臣忠姦図説跋（遠藤鶯谷）

※自叙

## 【二】民権講義（甲）（2・41／ミ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・〇cm×横一六・七cm、肌色布目表紙、四

つ目綴じ 改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 二九丁

④外題 「民権講義 完」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、

「民権講義」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 なし

⑥序跋 「自叙」（明治七年五月）

⑦備考 「論民権」一〇十三を収める。七〇十三には執筆

の日付が記されており、明治七年（一八七四）四、五月の成稿であることが分かる。

⑧目次

※自叙

1 〽 13 論民権一〇十三



【三】民権講義（乙）（2・41／ミ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・六cm、縹色布目表紙、四  
つ目綴じ

③丁数 二四丁

④外題 「民権講義 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）

⑤内題等 内題「民権講義」

⑥序跋 「自叙」（明治七年五月）

⑦備考 【二】民権講義（甲）（2・41／ミ／1貴）を増  
訂したもの。

⑧目次

※自叙

15 講民権一〇十五

【四】印須社詩文稿（4・03／コ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二六・三cm×横一九・〇cm、ボール紙表紙、四  
つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、ボール紙  
表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 三一丁

④外題 「印須社詩文稿 全」（表紙左肩、打付書、子持粹  
を書いた中に記す）、「印須社詩文稿（甲戌）」（一  
丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 明治七年（一八七四）、印須社同人に回覧された  
もの。一丁目薄紙表紙に、同人の名を列記し、そ  
の下に各同人が回覧の日付・順序を記す。

⑧目次

1 月下懷人（五古）

2 畜塚（在西京三条瑞泉寺）（七絶）

3 信夫寛一郎墓碣銘

4 小影自贊

5 酒茶優劣弁

6 8 詠史（係本邦故事）（七絶二首、七律一首）

- 9 〽 10 紵林水亭避暑〈錄旧作〉(七絶二首)  
 11 乞菊牘  
 12 展重陽重登高(七絶)  
 13 霜館觀狼煙枝。贈奥山黄葉生〈錄旧作〉(五古)  
 14 〽 16 中秋後一日、暖房小集。际同社諸友(七律三首)  
 17 寿星贊〈課題文〉  
 18 觀新曆〈課題詩〉(七律)  
 19 〽 20 題袖雲石。寄似江馬正人〈近作〉(七律二首)  
 21 小島高德・楠正行題歌詩図卷跋〈近芸〉  
 22 〽 23 同(七絶二首)  
 24 袖雲石記  
 25 備前兼光刀歌(七古)  
 26 題黄石〈黄石岡本君囑〉(七律)  
 27 市川柏筵伝〈錄近芸。乞正〉  
 28 〽 29 風雪夜掃(七絶二首)  
 30 〽 39 波臣十詠〈錄近作〉(五絶十首)  
 40 〽 41 六月初五、同黄石老人・双橋詞兄、遊于若王子林亭、分緑陰幽草勝花時、為韻、得花字(七律二首)  
 42 記新聞〈一名節妓伝〉  
 43 折桜花贈外国人(七絶)  
 44 〽 45 遊桃山(七律二首)  
 46 祇園祠下觀都人搬沙(七絶)
- 47 〽 55 名花十二客〈錄九〉(五絶九首)  
 51 〽 65 西京都門雜詠〈錄近作〉(七絶十首)  
 66 挿秧歌(七古)  
 67 宇治吊古(七律)

【五】晴雪楼存稿（4・03／セ／1貴）

①分量 五卷一冊

②書型 縦二六・五cm×横一七・九cm、萌黄色表紙、五つ目綴じ

③丁数 六五丁

④外題 「晴雪楼存稿（自卷壹至卷五） 完」（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 内題「晴雪楼存稿卷一」〔一五〕

⑥序跋 斎藤竹堂「晴雪楼存稿序」（嘉永四年二月）

⑦備考 卷一、二は文集。作の下限は安政三年（一八五六）。卷三～五は詩集。内題、著者名の後に「香雲集一」〔一三〕とあり。【三二】『香雲楼詩鈔』（4・07／コ／2貴）所収詩も見えるが、完全には一致しない。作の下限は嘉永三年（一八五〇）。

⑧目次

・晴雪楼存稿序（斎藤竹堂）

●晴雪楼存稿卷一

1 南海外集序

2 送川合梅所先生序

3 送季弟蔵六序

4 曹参論

5 季札論

6 四皓論

7 論藤原園人・善岑安世

8 郭巨論

●晴雪楼存稿卷二

9 天野広丸伝

10 翠黛伝

11 風白月香楼記

12 続風白月香楼記

13 仏手柑記

14 粒画記

15 異鳥記

16 案山子説

17 詭川角太閤記

18 湊訥寓居図巻跋

19 題那智瀑布図

20 月喩

・「識語」（塩谷宕陰）

・「識語」（神交機）

●晴雪楼存稿卷三・香雲集一

21 古梅吟（五古）

22 ～ 23 人日口号二首（七絶）

- 24 読大沼子寿天保樂府（七律）  
 25 春半西郊散策（七絶）  
 26 深川晚帰矚目（五律）  
 27 平蟹行（七古）  
 28 備後三郎題詩図（七絶）  
 29 ～ 30 花鳥題画十二首（録二）（五古二首）  
 31 活東（七律）  
 32 ～ 35 落花。次文衡山韻（七律四首）  
 36 宝泉精舎所見（七絶）  
 37 題画（五絶）  
 38 予譚刺衣図（七律）  
 39 ～ 41 晚秋念七日、遊十二社、途中謾吟（五律三首）  
 42 冬日雜詠二首（録一）（七絶）  
 43 憎蚊（集詩経語）（五古）  
 44 秋晴出遊（七律）  
 45 窮鬼図（七古）  
 46 ～ 47 眉（香奩八詠。録二）（七絶二首）  
 48 足（七絶）  
 49 初冬十二日、青山途上所見（七絶）  
 50 ～ 51 蟬蛻（七律二首）  
 52 荷珠（七律）  
 53 初夏幽居（七律）  
 54 小松川途上（七絶）  
 55 ～ 56 雪中雜詩二首（七絶）  
 57 虫語（七古）  
 58 南紀寓舎雜興（以下三首、南遊中作）（七絶）  
 59 和州道中侍輿（七古）  
 60 古川村途上（七律）  
 61 勢州道中顧望高峰（五古）  
 62 夏日小占（七絶）  
 63 ～ 83 猴稚坊雜詠（七絶二十一首）  
 84 聞鵲（七律）  
 85 卯花雪（七律）  
 86 ～ 87 象奕二首（鑿隱括周易語）（五絶）  
 88 両国雜興（七絶）  
 89 観角兵獅子戯（五古）  
 90 小山梅塢宅集。同蕙堂作（七律）  
 91 走馬灯行（七古）  
 92 ～ 95 四春詞（七古四首）  
 96 焦尾余韻題詩（七律）  
 97 四木村驟雨所見（七絶）  
 98 国府台覽古（七古）  
 99 継橋歌（七古）  
 100 秋柳（七絶）

- 101 演雅。詠園中野蔬雜卉、际老圃某（七古）  
 102 月夜踏花影。擬韓偓体（七古）  
 103 歲晚偶感（七律三首）  
 106 洗竹（七絕）  
 107 山水小景（五絕）  
 ●晴雪樓存稿卷四・香雲集二  
 108 度花鐘聲（七絕二首）  
 110 丁未鷄日、偶詠張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、  
 乃援筆得十二絕句（錄十）（七絕十首）  
 120 華蠟燭歌（七古）  
 121 開春、与諸子同遊江東（七律）  
 122 詠箕作玉海坤輿圖識（原五）（五古三首）  
 125 夏昼（七絕三首）  
 128 烏鬼行（原二）（七古）  
 129 不忍池上寓目（七絕）  
 130 夏山雨意圖（七絕）  
 131 秋夜詠山陽遺稿三首（七律）  
 134 秋尽書懷（七律）  
 135 初冬、同友人飲茜坂水樓（七律）  
 136 夜觀星象、賦長句（七古）  
 137 霞関春望三首（七絕）  
 140 游揚風雪、初見伊川圖。書与某生（七古）  
 141 御幣徽号歌（有引）（五古）  
 142 春雨訪友圖（七絕）  
 143 雨日即事（七絕）  
 144 江上晚歸（七絕）  
 145 寄広徳寺東流上人（五律二首）  
 147 西圃四首（錄三）（五古三首）  
 150 平薩州宿花下圖（七絕）  
 151 胡弓詞。懷司馬才郎（七古）  
 152 秋晚村居雜述二首（七律）  
 ●晴雪樓存稿卷五・香雲集三  
 154 殘月杜鵑圖（五絕）  
 155 梨花三首（七絕）  
 158 古仏殿（七古）  
 159 牛蟲行（七古）  
 160 偶言（五古）  
 161 角田川懷古二首（七絕）  
 163 歲杪夜坐（七絕）  
 164 詠海莊集二首（五古）  
 166 美人鬪雪。西昆体（七古）  
 167 初夏偶成（七律）  
 168 雷雨過（五絕）  
 169 壳花声（七絕）

170 〽 181 華燭引十二首（七絶）

182 〽 196 中川舟行十五首（有引）（五律）

197 源白石肖像（七律）

・「諸家評語」（友野霞舟、長戸得斎、大槻磐溪、塩田松園、大槻西磐、塩谷簀山）

【六】晴雪山房一集（4・03／セ／2 貴）

①分量 九冊

②書型 縦二三・二cm×横一六・一cm、黄土色表紙、四つ目綴じ

③丁数 第一冊三二丁、第二冊三二丁、第三冊三〇丁、第四冊四五丁、第五冊五六丁、第六冊五七丁、第七冊三六丁、第八冊二四丁、第九冊二〇丁

④外題 第一〽三冊「香雲樓詩鈔 一「〽三」、第四〽六冊「三溪文鈔 一「〽三」、第七冊「三溪文鈔（附遊勢奇賞） 四」、第八冊「雨辰余筆 完」、第九冊「草寇紀略（附塩賊紀聞）」（いずれも表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 第一〽三冊内題「香雲樓詩鈔卷之一「〽六」、第四〽六冊内題「三溪文鈔卷之一「〽三」、第七冊内題「三溪文鈔卷之四」 同附録内題「遊勢奇賞」、第八冊内題「雨辰余筆卷之一「〽二」、第九冊内題「草寇紀略」 同附録内題「塩賊紀聞」 第一冊 長戸得斎「香雲樓詩鈔序」（嘉永元年十二月）、第四冊 斎藤竹堂「三溪文鈔序」（嘉永四年二月）、第八冊 菊池梅軒序（安政二年十二月）、「雨辰余筆自叙」（安政二年十一月）、三溪

⑥序跋

⑦備考

「題言」(安政二年十一月)、関藍梁「書雨辰余筆後」、第九冊 塩谷實山「叙」(嘉永七年四月) 第一、二冊は【三二】『香雲樓詩鈔』(4・07/コ/2貴)を増刪したもの。第三冊は嘉永元年(一八四八)から同三年にかけての詩を収録。第四冊から第六冊は嘉永・安政年間の文集。附録「遊勢奇賞」は天保十三年(一八四二)、紀州からの帰途、伊勢に遊んだ際の日記。第八冊「雨辰余筆」は安政大地震の見聞を記したもの。第九冊「草寇紀略」は天草の乱について、同附録「塩賊紀聞」は大塩平八郎の乱について記す。帙あり、二三・七cm×一六・五cm、子持梓題簽を貼り付け、「晴雪山房一集 完」と書す。

⑧目次

第一冊(香雲樓詩鈔一)

・香雲樓詩鈔序(長戸得齋)

●香雲樓詩鈔卷之一

1 古梅吟(五古)

2 楼上望紙鷲(七絶)

3 乙巳元旦(七律二首)

5 人日口号(七絶二首)

7 読大沼子寿天保樂府(七律)

8 春半郊行(七絶)

9 風梅(七絶)

10 春晚書懷(七律)

11 春雨種菊(七絶)

12 深川晚帰矚目(五律)

13 平蟹行(七古)

14 備後三郎題詩桜樹図(七絶二首)

16 春遊六言(六言八句)

17 題家蔵伊藤五子書幅(七古)

18 花鳥題画十二首(今録六首)(五古六首)

24 活東(七律)

25 觀化(七絶)

26 落花。次文衡山韻(七律九首)

35 殿山晚帰(七律)

36 宝泉精舎所見(七絶)

37 二分春色到花朝(五律)

38 子日興(以下十首和歌題)(七絶)

39 海夕立(七絶)

40 秋曉(七絶)

41 浦千鳥(七絶)

42 静姫(七絶)

43 草菴雨(七絶)

- 44 眉（七絶）  
45 足（七絶）  
46 待宵恋（七絶）  
47 俄變恋（七絶）  
48 題画（五絶）  
49、50 納涼（七絶二首）  
51 秋園即事（七絶）  
52 窮鬼図（七古）  
53 木犀雨（七律）  
54 予讓刺衣図（七絶）  
55、59 晚秋念七日、遊十二社、途中謾吟五首（五律）  
60 湖上寓目（五律）  
61、62 冬日雜詠（七絶二首）  
63 初冬十二日、青山途上所見（七絶）  
64 題南極老人図（六言四句）  
65、66 鉄洲觀狼煙技（原六首）（七絶二首）  
67 江村避暑（五律）  
68 秋晴出遊（七絶）  
69 荷珠（七律）  
70、71 蟬蛻（七律二首）  
72 憎蚊（集詩經語）（五古）  
73 秋夜宿山寺（七絶）  
74 送長尺蠖之南紀（七絶）  
75 初夏幽居（七律）  
76 老鷗（七律）  
77 小松川途上（七絶）  
78 小金原（七律）  
79 雪中柳（七律）  
80、81 雪中雜詩（七絶二首）  
●香雲樓詩鈔卷之二  
82 虫語（七古）  
83 南紀寓舍雜興（以下數首、南遊中作）（七絶）  
84、89 余、以壬寅抵南紀、与客遊高松。歸途遇雨、有記。  
又得六絶句。仍使弟敏造図、以題其後（七絶六首）  
90 古川村途上（七律）  
91 和州道中侍輿（七古）  
92 登高峰臨眺和河撰紀泉諸州（五古）  
93 勢州道中願望高峰（五古）  
94、96 霜天晚興（七絶三首）  
97 蘆花被（七律）  
98 門外追涼（七絶）  
99 村居秋霖（七絶）  
100 夏日小占（七絶）  
101、124 猴稚坊竹枝（七絶二十四首）



- 125 寒夜讀書（五古）  
 126 冬日閑居（七律）  
 127 梅村踏月（七絕）  
 128 〓 131 四春詞（七古四首）  
 132 牧牛圖（七古）  
 133 花朝偶成（七絕）  
 134 花霧（七律）  
 135 兩國雜興（七絕）  
 136 〓 137 象奕二首（隱括易語）（五絕）  
 138 卯花雪（七律）  
 139 夏日偶成（七絕）  
 140 新茄（七律）  
 141 觀角兵獅子戲（五古）  
 142 聞鵲（七律）  
 143 本門寺（五律）  
 144 〓 145 春晚漫吟（七律二首）  
 146 小山梅塢宅集。同蕙堂作（七律）  
 147 柳絮風（七律）  
 148 桃源春晚圖（七絕）  
 149 觀人闢象奕。次劉後村象奕韻、兼倣其体（五古）  
 150 走馬灯行（七古）  
 151 〓 152 幽居夏興（五律二首）  
 153 山窓初夏。戲用鳥獸名同賦（五律）  
 154 〓 159 江居雜詠（七律六首）  
 160 〓 164 竜隱菴。以水田飛白鷺為韻（五律五首）  
 165 題焦尾余韻後（七絕）  
 ・「評」（友野霞舟、長戸得齋、大槻磐溪）  
 第二冊（香雲樓詩鈔二）  
 ●香雲樓詩鈔卷之三  
 166 〓 167 四木村驟雨所見（丙午）（七絕二首）  
 168 国府台覽古（七古）  
 169 病中立秋（七律）  
 170 〓 179 十秋詞（七絕十首）  
 180 凌霄倚樹圖（五絕）  
 181 演雅。詠園中野蔬、眎老圃某（七古）  
 182 詠史（七古）  
 183 蚊市（七律）  
 184 猴戲圖（七律）  
 185 繼橋歌（七古）  
 186 華蠟燭歌（七古）  
 187 春霧（七絕）  
 188 〓 189 歲晚偶感（七律二首）  
 190 臘月書事（七絕）  
 191 僧西行野望圖（七絕）

- 192 春立前一日小占（七絕）  
 193 三賢堂雜吟（七律）  
 194 正月廿日、賞雪於淀橋（七律）  
 195 粟津行（七古）  
 196 197 新涼夜眠（七絕二首）  
 198 199 驟雨池上（七絕二首）  
 200 苦熱（七律）  
 201 觀沿革圖有感（七絕）  
 202 題介石翁新竹圖（七古）  
 203 夜坐（七律）  
 204 中秋既望、草堂小集。与善淵・霞舟二翁同賦（七律）  
 205 中元口号（七律）  
 206 明曉（五律）  
 207 208 丙午除夜、寄懷梅塢翁（五古二首）  
 209 直脚梅（七律）  
 210 苦吟（五律）  
 211 214 歲晚雜題（七律四首）  
 215 題画（七絕）  
 216 217 度花鐘声（丁未）（七絕二首）  
 218 220 開春、与諸子同遊江東（七律三首）  
 221 西郊觀梅。寄似牧子徹（五律）  
 222 226 読箕作玉海坤輿圖識（五古五首）  
 227 238 丁未鷄日、偶読張山来花鳥春秋。愛其文才雅潔、  
 乃援筆得十二絕句（七絕十二首）  
 239 240 水中梅影（七絕二首）  
 241 月夜踏花影。擬韓偓体（七古）  
 ●香雲樓詩鈔卷之四  
 242 244 夏昼（七律三首）  
 245 前烏鬼行（七古）  
 246 後烏鬼行（七古）  
 247 248 哭岡本生（丁未春）（七絕二首）  
 249 251 花後遊殿山（七律三首）  
 252 夏雲奇峰多（五古）  
 253 野渡送別圖（七律）  
 254 255 梅雨得晴（七律二首）  
 256 洗竹（七絕）  
 257 山水小景（五絕）  
 258 同牧子徹遊溜池（七律）  
 259 聞蛙（七律）  
 260 不忍池上寓目（七絕）  
 261 溪山雨晴圖（七絕）  
 262 夏山雨意圖（七絕）  
 263 265 首夏寓舍漫成（七律三首）  
 266 次韻友人見贈（五律）

267 觀插秧（七律）

268 269 首夏村居（七律二首）

270 夏夜偶成（七絕）

271 夜觀星象、賦長句（七古）

272 利休煎茶圖（七絕）

273 275 秋夜說山陽遺稿、題其後三首（七律）

276 画蘭（七絕）

277 279 秋尽書懷三首（七律）

280 281 初冬、与友人同飲茜坂水樓（七律二首）

282 289 春日寄懷（七律八首）

290 291 冬夜、校南溟先生詩文稿、書其後（七律二首）

292 初冬念二日、訪榭醒梁。席間閱菅茶山集。有題茅五隆

那智瀑布圖之詩、曰、要知飛流千尺壯、好就梅花書屋

看。醒梁曰、此句非余不能知其妙也。因語往昔介石山

人造瀑布圖、祖考西皐先生題詩其上、以贈故滄洲先生

之事。今皆散逸。純澹然不能無感。席上走筆、用茶山

翁韻、記其美（七古）

293 香奩体（七絕）

294 言志（七絕）

295 296 丁未歲晚、次韻榭醒梁說南溟詩集作（七律二首）

297 臘月十七日、訪乙骨栗甫。歸途過西国橋（七絕）

298 299 臘月十九日、風雪、訪榭醒梁梅花書屋。席間會閱

春草堂詩集。因用其歲晚書懷之韻同賦（七律二首）

300 晋文公載塊圖（七絕）

301 首陽采薇圖（七絕）

302 牛穉風雪伴母圖（七絕）

303 磐溪大槻文学、頃日刻其寧靜閣詩集。已成辱見惠一本。

因賦長句答謝、兼似家溪琴老兄、遙懷浪華旭莊先輩。

近日溪琴・旭莊亦將刻其集。故慙思之（七古）

304 寒夜枕上即事（七絕）

305 306 霜曉（七絕二首）

307 冬日見梅、贈小山梅塢翁（七絕）

308 梅花。用甌北詩韻（七律）

309 318 詠懷古跡十首（七古五首、七律四首、七絕一首）

・「評」（長戸得齋、大槻磐溪、塩谷實山、石田冷雲）

第三冊（香雲樓詩鈔三）

●香雲樓詩鈔卷之五

319 320 半日公退、無聊偶作（七律二首）

321 梅花五首。每詩句尾聯、以文衡山句、倣宋子虛鯨背吟

之体。今錄其一（七絕）

322 324 霞閣春望三首（七絕）

325 游楊風雪、初見伊川圖。書与某生（七古）

326 327 丁未臘月、余以父蔭、辱蒙寵命、擢中興（官名）

兼命儒職。家君感佩之余、賦賀詩二章賜焉。純忝次其

- 瑤礎、奉呈（七絕二首）  
 328 御幣徽号歌〈有引〉（七古）  
 329 335 梅花七首。以高青邱月明林下美人來句為韻（五絕）  
 336 江南詞。香奩體（七絕）  
 337 春雨訪友園（七絕）  
 338 与冢海莊同觀花東叡山。時海莊歸期在近（七律）  
 339 同子威・子微、觀雨觀蓮亭（七律）  
 340 341 雨日即事（七絕二首）  
 342 代姬人某、送牧子微（七律）  
 343 胡弓詞。懷司馬才郎（七古）  
 344 送長伯斐翁扈從公駕之南紀（七律）  
 345 春晚偶作（七律）  
 346 逐浪丸戰艦歌（七古）  
 347 江上晚歸（七絕）  
 348 秋夜讀書圖。似塾生（七律）  
 349 351 寄広徳寺東流上人（五律三首）  
 352 小樓寓目（七絕）  
 353 356 西園四首（五古）  
 357 平薩州宿花下園（七絕）  
 358 留侯（七絕）  
 359 368 華燭引十首（七絕）  
 369 373 秋晚村居雜詠（七律五首）  
 374 雨中移竹（七絕）  
 375 江帆風柳（七絕）  
 376 昼倦（七律）  
 377 海月樓避暑（七絕）  
 378 中秋十三夜（七絕）  
 379 家孫郎墓下作（七律）  
 380 園居秋夜（七律）  
 381 蘆岸秋晴（七絕）  
 382 冬夜書懷。寄海莊翁（七律）  
 383 寒犬吠月（七絕）  
 384 小島高德題詩桜樹園（七絕）  
 385 題睡耳警鐘後（七律）  
 386 秋陰（五律）  
 387 瓶中菊花〈明教館課題〉（七絕）  
 388 鳴蛩篇（七古）  
 389 春秋亭所見（七律）  
 390 夏昼偶成（七律）  
 ●香雲樓詩鈔卷之六  
 391 殘月杜鵑園（五絕）  
 392 394 梨花（七律三首）  
 395 大物浦行（七古）  
 396 冢海莊見贈梅墩集。喜而賦（七律）

- 397 古仙殿（七古）  
 398 牛蠡行（七古）  
 399 偶記（五古）  
 400 夏草（七絕）  
 401 夏日閑居（七律二首）  
 402 淺草里詠。懷古事（七古）  
 403 詠柳六首（七絕）  
 404 春曉微雨（七絕）  
 405 觀頭微鏡歌（七古）  
 406 角田川懷古（七絕二首）  
 407 戊申正月、山園小集。招海莊山人及霞峰子、同飲大梅樹下。今春王月、山人在南紀。追想昨遊、賦長古一篇見贈。余朗誦一過、一堪感賞。即走筆、次其韻、鳴謝（七古）  
 408 題猩猩酣醉舞蹈圖。壽龜井猩猩齋（七古）  
 409 歲杪夜坐（七絕）  
 410 香齋體二首（七絕）  
 411 歲晚書事（七律二首）  
 412 妬鬼詞（七古）  
 413 清明（七律二首）  
 414 鷄旦雜述（七律三首）  
 415 美人闔雪。西昆體（七古）  
 416 美人晏起圖（七律）  
 417 晚春絕句（七絕）  
 418 花後過寬永寺（七絕）  
 419 春日遊某山莊、摘醉翁亭記中字、成四韻八句（五律二首）  
 420 初夏偶成（五律）  
 421 雷雨過（五絕）  
 422 壳花聲（七絕）  
 423 暑甚（七絕二首）  
 424 六月十二夕、月下露坐（七絕）  
 425 詠海莊集（五古二首）  
 426 星夕書事（七絕）  
 427 本立尼、余同族也。嘗寄示其家乘及延元勅書檄文。乃賦五絕句記其實（錄二）（七絕二首）  
 428 源白石肖像（七律）  
 429 人日雪（七律）  
 430 中川舟行十五首（五律）  
 431 初冬十一日、陪家君遊王子村、迂途觀楓于瀧川。此日輕寒微雨、田物荒涼、紅葉亦七八分、景色絕佳。乃以霜葉紅於之句為韻、得七首（五律）  
 432 大槻端卿臥遊錄（七絕二首）  
 433 秋半（七律）

・[評] (塩田松園、長戸得斎、大槻西磐)

第四冊 (三溪文鈔一)

・三溪文鈔序 (斎藤竹堂)

※三溪文鈔目次

●三溪文鈔卷之一

471 南海外集序

472 豊臣勲功記序

473 南溟文集序

474 海莊集序

475 霞湖漁唱序

476 続館柳唱和集序

477 童課百絶序

478 帶香園詩稿序

479 送川合梅所先生序

480 送岩橋柳窓序

481 送季弟藏六序

482 送関根子業序

483 送本多生序 (代人)

484 送牧子徹序

485 送古岳上人遊松島序

486 贈榊原醒梁序

487 貝原君八十寿序

488 上玉城大夫、乞講洋炮書

489 賀海莊山人遇災書

第五冊 (三溪文鈔二)

●三溪文鈔卷之二

490 曹參論

491 論平将門・藤原秀郷

492 論藤原園人・善岑安世

493 太子申生論

494 季札論

495 四皓論

496 項羽論

497 柴田勝家論

498 平氏論

499 論頼朝・義経

500 郭巨論

501 板垣信形論

502 細川頼之論一

503 細川頼之論二

504 趙武靈王論

505 關辺陞一

506 關辺陞二

507 關辺陞三

508	講洋書議
509	天野広丸伝
510	蒼髯叟伝
511	翠黛伝
512	伶官彦右衛門伝
513	義俠平五郎伝
514	恩田木工伝
第六冊（三溪文鈔三）	
●三溪文鈔卷之三	
515	風白月香楼記
516	統風白月香楼記
517	水影月光楼記
518	粒画記
519	真間国府台記
520	咬菜堂記
521	吞舟窟記
522	竜隠菴記
523	八鳥斎記
524	鉄屏風記
525	仏手柑記
526	松本君先考遺髪記
527	霞峰山人墨竹記

528	臨江亭記
529	清正公祠堂記
530	小金橋觀花記
531	君真物記
532	弥陀窟記
533	浮島記
534	松前海嘯記
535	觀不知火記
536	下求麻川記
537	鍾乳洞記
538	鷹巢山
539	伽羅巖
540	和歌浦
541	墨上割記一ノ十
542	異鳥記
543	豆腐説
544	案山子説
545	愛鶴説。賀雪峰田中君加秩
第七冊（三溪文鈔四）	
●三溪文鈔卷之四	
546	詭川角太閤記
547	詭鴨長明方丈記

548 読竹堂文鈔  
549 足柄山吹簫図  
550 書濟勝余興後  
551 書平原草廬図  
552 書好古談賢図卷  
553 梅亭画博奇石図跋  
554 平安聚勝帖跋  
555 港汭寓居図卷跋  
556 題那智瀑図  
557 書八幡太郎辺城觀乱鴻図後  
558 孟母断機図跋  
559 漂民録話跋  
560 春月詩卷跋  
561 題蚯蚓呻吟後  
562 書楠公碑陰搨本後  
563 書弓銃弁後  
564 与広瀬旭莊  
565 与茜洲  
566 答塩谷簀山  
567 貞斎菊池君墓碑銘  
568 御岳新道碑銘  
569 祭衡岳府君文

570 月喻  
571 碁喻  
●遊勢奇賞  
572 遊勢奇賞  
第八冊（雨辰余筆）  
・「序」（菊池梅軒）  
※雨辰余筆自叙  
※題言  
※雨辰余筆目次  
●雨辰余筆卷之一  
573 与岩橋柳窓副紙  
574 新婦断臂  
575 義舍  
576 北里焚死  
577 都下震倒戸数  
578 浅草浮図閣  
579 酒舗会飲  
580 貧家女兒  
581 藩士話  
582 蒼鷹獲鷗鷺  
583 災後過水西故墟詩  
584 娼妓処置



585 鬻霜柿者

586 諸刹脩冥福

587 豪賈賑窮氓

588 湖山外史災後作

589 品海礮塢（以下四則紳茜洲所記。附而伝之）

590 緇徒殮葬

591 治火水榼

592 浴室罵婦

※雨辰余筆卷之二目次

●雨辰余筆卷之二

593 狐精知災

594 袖中馬毛

595 靈水自出于地

596 城中雨魚

597 盜賊訛言

598 雷公騎神馬避災

599 北里懷古詩

・書雨辰余筆後（関藍梁）

第九冊（草寇紀略）

・叙（塩谷簀山）

●草寇紀略

600 草寇紀略

●塩賊紀聞

601 塩賊紀聞

【七】鉄屏書屋小稿（4・03／テ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・〇cm×横一六・二cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、ボール紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 一九五丁
- ④外題 「鉄屏書屋小稿 全」（表紙左肩、打付書、子持杵を書いた中に隷書で記す）、「鉄屏書屋小稿」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 種々の詩文稿を綴じ合わせたもの。収録作のうち、最も古いものは弘化四年（一八四七）作、最も新しいものは明治十二年（一八七九）作。
- ⑧目次
  - 1 広瀬遠図伝
  - 2 清正
  - 3 防火
  - 4 書十四世大君御筆書幅函蓋。溝口君囑（壬戌六月初九）
  - 5 海外貨幣小譜序（癸亥六月十九日脱草）
  - 6 請開国史編輯局書

- 7 書觀月余適後。磐溪老人著
- 8 春立之日、賀林君榮遷（七絶）
- 9 歳晚尾張街即囑（七絶）
- 10 文城広沢生、評点余旧稿、所寄詩。以鳴謝（七律）
- 11 吹上外苑觀黄豹児（七絶）
- 12 溪莊十集、分韻得松字（七絶）
- 13 庚申十一月初五、舉一女児、晚酌自記喜（七律）
- 14 老狸掲陰囊渡水図（壬戌六月念六稿。徳永氏属）
- 15 晴雪楼文話序
- 16 棄児行（七古）
- 17 六月十八日、驟雨。家君有詩所示。乃用其韻（七絶）
- 18 新涼（癸亥星夕午前脱草）（五律）
- 19 半斎摘稿序
- 20 ～ 22 中元書懷（七絶三首）
- 23 静軒記
- 24 老驥行（七古）
- 25 老驥行（七古）
- 26 嚶鳴集第七輯序
- 27 根岸氏六世珍政墓誌銘
- 28 嚶鳴集第七輯序
- 29 根岸珍政墓碣銘
- 30 作文在邇序

- 31 縁嶠容堂上人、喜余詩、嗟賞弗舍。終臻鈔梓其一斑、以嘉惠同人。感銘不啻、賦一詩鳴謝焉（五古）
- 32 古沢翁碑陰記
- 33 与信夫文則書
- 34 焚書坑儒說
- 35 信夫寛一郎墓碣銘
- 36 誦三蘇文
- 37 関城碑
- 38 竹樓詩存序
- 39 上参謀某公書〈代人〉
- 40 与秋葉士栄書
- 41 送信夫文則之江門序
- 42 恕軒医話序
- 43 滝澗記
- 44 作文在邇序
- 45 輦轂集序
- 46 古沢翁習礼弟子姓名碑陰記
- 47 宝生弥五郎伝
- 48 俳優市川柏筵伝
- 49 答秋葉士栄書
- 50 三浦氏五世画像記〈乙丑六月廿日脱草〉
- 51 織田右府論
- 52 焚書坑儒弁一〈九月十五日草〉
- 53 焚書坑儒弁二〈同〉
- 54 焚書坑儒弁三〈九月十六日草〉
- 55 論孟子制民産
- 56 臥竜梅記
- 57 誦論語
- 58 唐太宗論
- 59 石田三成論
- 60 奉陸軍總裁兼閣老松前侯書〈戊辰十月廿二日夜五更脱草〉
- 61 釈養堂詩集序
- 62 下淡水記
- 63 馬援論〈八月十九日草〉
- 64 馬援論〈巳八月十七日脱草〉
- 65 割烹店〈丁卯二月廿六日草。此日微雨〉
- 66 猴稚坊
- 67 神楽
- 68 曲馬〈五月五日稿〉
- 69 人力車
- 70 写真鏡
- 71 博覧会
- 72 電信機

- 73 春秋左伝講義卷之一  
74 跋高山正之書牘後  
\* 一三四丁表一、二行目「晴雪樓存稿／菊池純子顯著」  
とあり。
- 75 蝦蟇巖記  
76 曲亭馬琴伝  
77 信夫寛一郎墓碣銘』  
78 陵川楼記  
79 題司馬君実擊甕図  
80 玉石彙伝序  
81 晃山廟拝記行跋（十一月之二日草）  
82 灯喩（癸亥十月初七脱草）  
83 古田織部翫弄古器  
84 沿革兵論序（十月廿三日灯下草）  
85、86 観菊二首（成憲閣詩題）（七絶）  
87 秋穫喜晴（同）（七絶）  
88 雁来紅（一名老少年）（七絶）  
89 八幡公边城見乱鴻図（七律）  
90 寒林遠岫（十月二日午後草）（五絶）  
91、92 詠史絶句（同）（七絶二首）  
93 奉謁参政秋月公、恭賦鄙詩一章、呈下執事（七律）  
94 寒塘小景（十月初七灯下脱草）（五律）
- 95 負暄（十月廿五夕稿）（五律）  
96 寒柳（七律）  
97 至日偶成（十月晦夕）（七絶）  
98 冠屨倒置図（七古）  
99 「冠屨倒置図」（七古）  
100 宗任詠梅花図（七古）  
101 十一月十八日、訪確堂島子于春声楼。楼上劇談歡甚。  
賦呈主人（七律）  
102 詭響齋考。似大淵祐元国手（七古）  
103 十二月十九日夕、枕上聴雨（七絶）  
104 夜梅（以上二首、蜡月二十日脱草）（五絶）  
105 校正祖公外記序  
106 馬上雪行記  
107 送宇佐美某序  
108 送丸山竹所序  
109 書桃源僊蹟図卷後  
110 書朱晦菴先生墨蹟卷後  
111 織田右府論  
絶句小稿  
※「三溪略歴」  
112 桃花牧牛図（七絶）  
113 春雨即事（七絶）

- 114 〽 116 詠唐宋名家（七絶三首）  
 117 名妓地獄坐禪図（七絶）  
 118 霜夜望月（七絶）  
 119 〽 127 谷莊幽居雜詠（七絶九首）  
 128 秋柳（七絶）  
 129 詠勢語（七絶）  
 130 一休禪師携鬪體図（七絶）  
 131 〽 132 紙貴二首（七絶）  
 133 夜詠（七絶）  
 134 陶侃運甕図（七絶）  
 135 小春（七絶）  
 136 京城清明（七絶）  
 137 〽 138 詠十二支（今録其二）（七絶二首）  
 139 〽 140 道灌山聞虫二首（七絶）  
 141 〽 150 觀捕鯨図卷（七絶十首）  
 151 〽 155 詠今古英雄關係于文雅者（七絶五首）  
 156 加藤肥州刺虎図（七絶）  
 157 詠浜田弥兵衛伝（七絶）  
 158 詠金忠輔伝（七絶）  
 159 〽 160 橋場舟中、聞杜鵑二首（七絶）  
 161 〽 166 論画絶句（七絶六首）  
 〽 丙寅第五稿
- 167 賽珊瑚（七律）  
 168 秋懷（七律）  
 169 聘猫（五古）  
 170 寒山行旅図（五古）  
 171 秋柳（七絶）  
 172 哭南華山人（七絶）  
 173 詠勢語（七絶）  
 174 一休禪師携鬪體図（七絶）  
 175 夜詠（七絶）  
 176 〽 180 中秋無月。書感（七絶五首）  
 181 〽 185 偶感（七律五首）  
 186 俳優某打扮大石良雄図（七絶）  
 187 岳飛（七絶）  
 188 張翰（七絶）  
 189 菟水先登図（七絶）  
 190 題葛西生詩稿、送其還東奥（七古）  
 191 裝復行（榎樹在王子村田塍間）（七古）  
 192 停車坐愛図（七絶）  
 193 宋哲宗避虫蟻図（七絶）  
 194 〽 195 紙貴（七絶二首）  
 196 石崇碎珊瑚図（七絶）  
 197 明妃嫁胡図（七絶）

198 陶侃運甕圖（七絕）

199 百鬼夜行圖卷題詞。雙韻體（七古）

200 天窟百神奏神樂圖（七古）

201 〽 203 読義人録三首（七律）

204 山本道鬼像贊（七古）

205 步真光精舍後園。園有小茶寮。締構清雅。蓋出不昧老  
公意匠（七律）

206 乘晴（七律）

拙稿

207 〽 227 浅草觀花（七律二十一首）

228 東都市中、有彈三絃乞錢女。破瓜前後、紅腔紫韻、陸  
続于街頭、花時最多、其狀可憐。俗名女大夫（七古）

229 題北条高時夜宴圖（七古）

230 詠夢（七律）

231 詠影（七律）

232 〽 234 丁巳正月十日夜、因公事騎而出、途上墜於馬。是  
夕、立春明日、偶有遷官之命。因記異（七律三首）

235 二月遊墨水（七絕）

236 篠池作（七絕）

237 春雨途中作（七絕）

238 読某文集書其後（七絕）

239 春夜、過浩齋飲。席上有糟香魚、五位驚羹。因賦一篇

呈先生（七古）

〴

【八】簾鬢集（4・03／レ／1貴）

①分量 三卷二冊

②書型 縦二一・六cm×横二三・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している。第二冊の薄紙表紙は見返しに貼付）

③丁数 第一冊二四丁、第二冊一八丁

④外題 第一冊「簾鬢集（乾）」（表紙左肩、打付書）、「簾鬢集 乾」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）、第二冊「簾鬢集卷二（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「簾鬢集 坤」（見返しに貼り付けられた薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 第一冊内題「簾鬢集卷之一」「二」、第二冊内題「簾鬢集卷之二」

⑥序跋 自序「簾鬢集叙」（元治元年三月）

⑦備考 第一冊は詩、第二冊は文を収める。第一冊卷二第一首「曉桜」詩の題下に「以下癸亥稿」と記す。癸亥は文久三年（一八六三）。したがって第一冊は文久年間の詩集と思しい。

⑧目次

第一冊

※簾鬢集叙

●簾鬢集卷之一

1 2 勿来関図（七絶二首）

3 小桜（七絶）

4 春鶯轉曉（七絶）

5 6 新正第三夕、拝観伶官奏散楽（七絶二首）

7 8 晴雪楼雑詠六首（七絶）

13 説広瀬青村贈家大人長句、賦此贈（七律）

14 連日風早、二月廿一日、始雨（七律）

15 春晚（七律）

16 星夕前二日、小楼晚酌、書懷（七律）

17 副墨行（七古）

18 七月六日、晚間驟雨（七絶）

19 20 中元前三夕、邀仲弟西楼賞月（七律二首）

21 涼雨竹窓図（五絶）

22 花後過寛永寺（七律）

23 賀某生新婚（七律）

24 蕃山熊沢先生像（七絶）

25 寒夜過白虎門（七絶）

26 送倉田袖岡歴岐岨還南紀（七律）

27 寛猛相救図。送古山某之新潟（七古）

28 29 二月三日、妙境院所囑（七律二首）

- 30 吹上外苑觀黃豹（七絶）
- 31 溪莊小集、分韻得松字（七絶）
- 32、33 新正第三夕、大城拝觀伶官奏散樂（七絶二首、「此二首重出」と注記あり）
- 34 春夕微雨（七絶）
- 35 文章星図（七絶）
- 36 春夕微雨（七絶、「此首重出」と注記あり）
- 37 謙齋河尻君、頃日購得林園月令一函、令予題其函蓋。函大三四寸、卷秩亦稱之。清麗奇秀、無物之可狀。可謂才人必読之奇篇、名士文房之珍翫也（七律）
- 38 存齋新見君、藏紫端硯一枚。秀潤滑沢、能発墨色。蓋今大君加冠盛典、恩賜之余光、所購得。繼有脩史之命。乃賦小詩以刻其蓋背（七律）
- 39 偶感（七律）
- 40 秋晚露坐（七絶）
- 41 松山懷古（七古）
- 42、43 落葉（七律二首）
- 44 秋涼（七絶）
- 45 胡枝花（七律）
- 簾鬢集卷之二
- 46 曉桜（以下癸亥稿）（七絶）
- 47 聞人乗火輪船（七絶）
- 48 桃花放牛図（七絶）
- 49 蝶衣（七律）
- 50 背面美人図（七絶）
- 51、53 読友人両国觀象詩（原四）（七絶三首）
- 54 觀村童撓竹戲製水碓（五古）
- 55、57 家梅軒大人、手折其園池藕花所恵。賦呈（原四）（七絶三首）
- 58 乞雨行（有引）（七古）
- 59 六月十八日、快雨。次家君韻（七絶）
- 60 新涼（五律）
- 61 棄兒行（七古）
- 62、64 中元書懷三首（七絶）
- 65 点滴（七律）
- 66 秋穫喜晴（七絶）
- 67、68 觀菊二首（成憲閣課題）（七絶）
- 69 八幡公辺城見乱鴻図（七律）
- 70 寒林遠岫（五絶）
- 71、72 詠史二首（七絶）
- 73 雪意（七絶）
- 74 奉謁参政秋月公、恭賦鄙詩一章、呈下執事（七律）
- 75、76 寒塘小景二首（五絶）
- 77 負暄（五律）



78 寒柳（七律）

79 至日偶成（七絕）

80 十一月六日早朝、侍講、命臣純読貞觀政要。感銘之余、  
忝賦鄙詩一章、記其寵榮（七絕）

81 秋夜書懷（七律）

82 冠履倒置図（七古）

83 仲冬十三日、昌平齋見早梅（七絕）

84 読臺麿考。似大淵国手（七古）

85 十一月十八日、訪確堂島子春声樓。樓上劇談歛甚。賦

呈主人（七律）

86 十二月十九日夕、枕上聽雨（七絕）

87 宗任詠梅花図（七古）

88 比歳物価騰貴、偶有此作（七絕）

89 茜坂竹枝（七絶十首）

99 苦熱（七絶）

100 折園花呈家大人（七絶）

101 夜梅（五絶）

102 范蠡泛湖図（七絶）

103 懸崖雪竹図（七絶）

第二冊

● 簾鬟集卷之二

104 晴雪樓文話序

105 玉石彙伝序

106 沿革兵論序

107 海外貨幣小譜序

108 春声樓記

109 灯喻

110 創文社引

111 題面雜記四則

【九】晴雪楼文話（4・04／セ／1貴）

①分量 三卷一冊

②書型 縦一九・四cm×横一二・四cm、縹色表紙、四つ目綴じ

③丁数 四七丁

④外題 「晴雪楼文話（自卷一至卷三）全」（表紙左肩、単梓書き題簽）

⑤内題等 内題「晴雪楼文話卷一」「之二」「之三」

⑥序跋 三溪「題言」（慶応元年七月）、松影道人「題詞」

⑦備考 内容は随筆、全八二段。

⑧目次

※題言

・題詞（松影道人「三溪菊池君賁臨、喜而賦此」（七律二首））

●晴雪楼文話卷一

1 「家康、蟹江ノ役ニテ檄文ノ「将」字ヲ刪セシム」

2 「秀吉、韓語ヲ知ル者ニ文書ヲ掌ラシムルヲ大喝退ク」

3 「創文社引」

4 「実事ヲ記ス文 高崎松本子恭「橋断記」

5 「松影老師」

6 「岩月石川生別墅舫亭ニテ、松影老師、勁堂法主ト二

聯ヲ製ス」

7 「角兵獅子詩」

8 「斎藤子徳、大槻端卿」

9 「読書攻文、須在人定鐘後」

10 「徒然草」

11 「小野湖山ト甲子夏晩、吉田駅ニ邂逅ス」

●晴雪楼文話卷之二

12 「作文ハ一字ノ乗除ニ意ヲ用フベシ」

13 「唐宋大家ノ文、廃スベカラズ、泥ムベカラズ」

14 「天覆地載、俯仰上下、莫適不一大活潑文章」

15 「創文社引」

16 「以下三段ノ序」

17 「斎藤士徳、大槻端卿」

18 「斎藤士徳」

19 「士徳「孟浪語」中ノ文論」

20 「士徳「蓬桑録」中ノ嵐山・高雄ニ遊記」

21 「大槻端卿」

22 「良斎「丹海刻仏殿記」、山陽「象墜記」

23 「粒画記」

24 「松影老師」

25 「松影老師詩」

26 「巖月石川ガ舫亭ニテ律詩ヲ合作ス」

- 27 「角兵獅子詩」
- 28 「小野湖山下邂逅」
- 29 「読書攻文、須在人定鐘後」
- 30 「鳩峰、香国、幽石ノ詩」
- 31 「勁堂」
- 32 「勁堂「聞異舶砲声有感」
- 33 「松庵・松堂二師」
- 34 「越後児北溟「古愚堂詩鈔」
- 35 「山水記 山陽「耶馬溪記」、艮齋「石廊記」
- 36 「長野豊山「奇石亭記」
- 37 「滝淵記」
- 38 「案山子説」
- 39 「塩田松園」
- 40 「菊池衡岳、西臯、梅軒」
- 41 「酒ハ少壯、宜シク慎シム可ク、文ハ老大、宜シク精思ス可キコト」
- 晴雪楼文話卷之三
- 42 「詩筆ノ徳」
- 43 「文章ノ秘訣ハ簡一字 本多重次「才仙泣カスナ」ノ手紙」
- 44 「以下六段ノ序」
- 45 「下野那須城ノ守将大関夕安、古歌ニヨリ兵ヲ収ム」

- 46 「鉄屏子評語」
- 47 「細川藤孝、古歌ニヨリ敵ノ未ダ遠ク逃レザルヲ知ル」
- 48 「鉄屏子評語」
- 49 「道灌、歌ニヨリ潮ノ干満、淵瀬ヲ弁ズ」
- 50 「鉄屏子評語」
- 51 「文ノ照応、山影落水、倒影在樹ノ如シ」
- 52 「文ノ波瀾、水ノ波瀾起伏、山林ノ雲煙变幻ノ如シ」
- 53 「文ノ結構、工師ノ家堂ヲ造ルガ如シ」
- 54 「文ノ伏線、水ノ委流曲折、隠見シテ遂ニ海ニ注グガ如シ」
- 55 「文ハ重複ヲ忌ム。雲藩荻野鳩谷、樺石梁ニ忠臣蔵ヲ引イテ説ク」
- 56 「無用ノ書ノ用、無心ノ人ノ志、知リ難シ」
- 57 「山陽、梅花水仙ノ時ヲ著述成績ノ候ト為ス」
- 58 「一齋「杉田記」、拙堂「月瀬記」
- 59 「梅花詩ノ精髓、林君復、高青丘、林二恥ノ三者アルノミ」
- 60 「林逋、高啓、林二恥ノ梅花詩」
- 61 「小説ノ利害」
- 62 「中井氏「逸史」ト山陽「外史」
- 63 「山陽、白石ニ推服スルコト」
- 64 「白石」

- 65 「国字之書」
- 66 「火災ノ記 艮斎「答芳川波山別紙」
- 67 「塩谷守誠「記弘化乙巳災」
- 68 「斎藤竹堂「治火議」
- 69 「震災之記 塩谷實山「記丁未信州地震」
- 70 「乙卯都下震災記」
- 71 「高崎松本子恭記「永代橋断」
- 72 「作文ノ季節・環境、四宜ト四不可」
- 73 「作文ノ作法・構思・推敲・添削」
- 74 「夏曉、課業スベキコト」
- 75 「秋夕、著書作文ニ最モ適ス」
- 76 「冬晴、一年ノ所作ヲ淘汰整理シ、一集ト成ス」
- 77 「作文、柳儀曹ガ「舟行如窮忽又無際」ノ句ニ似タリ」
- 78 「京伝、馬琴」
- 79 「馬琴履歴」
- 80 「馬琴、小説ノ趣向ヲ独語シ、下婢ヲ恐レシム」
- 81 「詩人ニ於ケル類例 夜航余話」
- 82 「無何有、不立文字ノ旨深シ」

【二〇】学聚堂雜稿（4・05／カ／2貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・七cm×横一五・七cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 一五三丁
- ④外題 「学聚堂雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隷書で記す）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 種々の詩文稿を合綴したもの。製作年次の最も古いものは嘉永六年（一八五三）、新しいものは明治十五年（一八八二）。『毛詩』『論語』『左伝』などの講義手控えと思しきものなどを含む。
- ⑧目次
- 1 「毛詩諸注抜書」
- 2 「論語諸注抜書」
- 3 増訂古文真宝序
- 4 統兵要録序
- 5 半斎摘稿序
- 6 熙朝名家文粹序
- 7 8 詠史（七絶二首）

近芸三篇

9 蝦蟇巖記

10 左氏戦国考序

11 曲亭馬琴翁伝 』

12 紀事二則（以下三則叢語、十月念八鈔撮）

13 紀事一則

14 紀板倉重宗

15 「紀事三則」

16 紀板倉氏事

\*五一丁表一行目「成憲閣席上」とあり。

17 遠山時雨（倭歌題）（七絶）

18 おなじ題にて（和歌）

19 殘菊（七絶）

20 おなじこゝろを（和歌）

21 月前千鳥（七絶）

22 おなじく（和歌）

23 落葉満水（七絶）

24 おなじこゝろをよめる（和歌）

25 詠史二首（同宿題）（七絶）

27 寒塘小景二首（五絶）

29 十一月六日早朝、待講、命臣純読貞観政要。感銘之余、  
忝賦鄙詩一章奉献、記其寵栄（七絶）

30 仲冬十三日、昌平覺見早梅（七絶）

31 雪意（七絶） 』

香雲楼詩話

32 棕軒詩話 』

33 曲亭馬琴翁伝

34 恕軒文稿序

35 登筑波山記一

36 自山下抵山上記二

37 雄峰記三

38 雌峰記四

39 禁苑觀舞樂記

40 関城碑

41 関城碑

42 関城碑

43 観梅游記一 七

50 從能見堂眺金沢八勝記

51 金沢四時総宜亭記

52 序

53 浄海頭（七古）

54 飯粒墜（七古）

55 瓶子仆（七古）

56 除夜雪（七古）

- 57 竹枝吟（七古）
- 58 簾挿梅（七古）
- 59 黄八幡（七古）
- 60 傘工児（七古）
- 61 繰糸（七古）
- 62 十二史（七古）
- 63 土窟（七古）
- 64 眉（七律）
- 65 髪（七律）
- 66 耳（七言三句、中絶）
- 67 十三夜、月色奇明、小楼独坐（七律）
- 68 价塩田老人需画於晴湖女史、勝以此詩（七古）
- 69 義人酒壘歌（七古）
- 70 「左伝宣公四年拔書」
- 71 「左伝襄公十四年拔書」
- 72 晋侯使呂相絶秦（魯成公十三年）
- 73 「蒙求」仇覽棲鸞」拔書」
- 74 「蒙求」楊修捷対」拔書」
- 75 「左伝桓公九年・同十三年拔書」
- 76 逆櫓（大日本史）
- 77 逆櫓（日本外史）
- 78 逆櫓（国史略）
- 79 宗高（大日本史）
- 80 宗高（外史）
- 81 宗高（国史略）
- 82 大江匡房列伝（日本史）
- 83 米山
- 84 「礼記礼器篇拔書」
- \* 一一二丁表一、二行目「訳準綺語卷之一／平安 三溪居士著」とあり。
- 85 円塚山火定 八大伝
- 86 ～ 87 円塚山第二、三』
- 88 西村重達義挙碑
- 89 志随軒翁墓表
- 90 常陸国真壁郡伊佐莊五所明神祠碑
- 91 大久保七郎左衛門忠教墓表
- 92 信夫寛一郎墓碣銘
- 93 西村重達義挙碑
- 94 常州真壁郡関本村稻荷祠碑
- 95 志随軒翁墓表
- 96 睹壮日札題詞
- 97 住谷兄弟報讐事
- 98 小島形山伝
- 99 書明盧忠烈公真蹟書幅後

【二一】学聚堂遺稿（4・05／カ／3貴）

①分量 二冊

②書型 縦二四・〇cm×横一六・三cm、ボール紙表紙、四  
つ目綴じ

③丁数 上冊一二六丁、下冊七二丁

④外題 「学聚堂遺稿 上」「下」（表紙左肩、打付書、子  
持枠を書いた中に隸書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 種々の詩文稿を合綴したもの。製作年次の最も古  
いものは慶応元年（一八六五）、新しいものは明  
治二十四年（一八九一）。おおむね明治以降の作  
であり、特に最晩年のものを多く収む。

⑧目次

上冊

近業小稿

1 老谷書屋記

2 水碓説

3 和田珪太郎伝

4 信夫寛一郎墓碣銘

5 孔方先生伝

- 6 晏子之事
- 7 晋范文子
- 8 平重盛
- 9 菅茶山逸事(詩屏風二輯 明治廿一年十一月六日抄録)
- 10 頼山陽逸事(同上)
- 11 広瀬旭莊詩(同上)
- 12 采菴説
- 13 読航米日録(七古)
- 14 蛭吻考
- 15 鶴鳴枕歌。賦貽花月樓主人(七古)
- 16 琴鶴帖跋
- 17 源三位頼政卿遺蹟之碑
- 18 日柳燕石追悼詩文集序(甲申二月十九日草)
- 19 移居二首(七律)
- 21 〔無題〕(七律二首)
- 23 謙信(七絶)
- 24 義仲(七絶)
- 25 燕子花図。為某生囑(七絶)
- 26 秋曉(七絶)
- 27 黄石岡本先輩招飲。分五柳精廬四字、同大沼枕山・丁野丹山賦。予得柳字。明治壬午五月初八日也(七律)
- 28 春晚書懷(七律)
- 29 読黄石斎詩集、書其後、送岡本詞宗西帰(七古)
- 30 送春江堀川君之豆州教授其郷校(七古)
- 31 牽牛花(七律)
- 32 題画絶句(七絶)
- 33 標注通語序
- 34 過廢園有感(七絶三首)
- ・「享年」ノ語ノ用法ヲ問フ書(作者未詳)
- ・跋送菊池三溪先生序(木崎愛吉)
- ・明治廿二年四月下浣、在兵庫養志堂、始見広瀬宰平君。君時將遊欧米期已近。堂主人光村君索余詩、壯其行(七古、堤静斎)
- 37 〔広瀬遠図伝〕
  - ・馬夫徳藏伝(橋本蓉塘)
  - ・大島忠衛伝(橋本蓉塘)
  - ・鍛工半左伝(橋本蓉塘)
  - ・坐睡茶碗(橋本蓉塘)
  - ・幽谷先生伝(橋本蓉塘)
- 38 欧洲新劇断腸花叙
- 39 小学日本史序
- 40 以飛走編入于部伍、亦可以助兵勢
- 41 記実事、国史略、反勝於外史
- 42 論渡辺橋・三形原戦



- 43 読三蘇文
- 44 「方丈記本文ノ書写」
- 45 明治三刺客伝
- 46 書英人芙蘭麒麟十二則後
- 47 題風来月至集首
- 48 小学実用書牘文叙
- 49 金沢懷古詩引〈四六文〉
- 50 皇朝六家詩鈔序
- 51 書梅田雲浜書幅後
- 52 書松木操記念碑後
- 53 与五十川詔堂
- 54 書南海先生手書詩卷後
- 55 真宗聖教字鈔序
- 56 雁魚卷題辭
- 57 書林羅山先生書幅後
- 58 遊囊詩踪題詞
- 59 書林羅山先生墨蹟後〈辛卯八月十七日稿〉
- 60 書菅茶山翁詩稿後〈同上〉
- 61 書依田百川馬溪游記後
- 62 書林羅山先生書幅後
- 63 遊囊詩踪題〈八月二十一日草〉
- 64 「詠史」(七律)
- 65 「朝爽夕佳樓記」
- 66 「書依田百川馬溪游記後」
- 67 新塞〈読史戰論〉
- 68 竹雨山房文鈔序
- 69 開化帖題詞
- 70 三声村舍唱和集題辭
- 71 岳蓮帖題辭
- 72 雅人之友題詞
- 73 備前長光古槍鋒記〈代貫名氏〉
- 74 5 76 月瀬紀游一 三
- 77 水中花影自序
- 78 南陔遺稿序
- 79 題九如集卷首
- 80 滬吳游記序
- 81 題追遠集首
- 82 題辭(79とほぼ同文)
- 83 蟠竜書屋記
- 84 真鍋君墓碣銘
- 85 浮島記〈訳橋南溪東游記〉
- 86 故侍医局勤務達齋大村君墓碣銘
- 87 采菴説
- 88 真鍋君墓碣銘

- 89 鳳鳴齋記
- 90 小木山記
- 91 中川小石伝
- 92 民法疏義序〈代箕作氏〉
- 93 書浮屠月性伝後
- 94 書香谷山水画帖後〈庚寅十月二十九日〉
- 95 書香谷山水画帖後
- 96 書爪痕画卷後。為北越清野氏
- 97 八洞山記
- 98 天橋記
- 99 北辰館記
- 100 書祇南海手書詩卷後
- 下冊**
- 101 本朝故事成語考
- 102 本朝故事成語考卷之一
- 103 日本外史經世鈔卷之一
- 104 〓 115 詠近世名公（七絶十二首）
- 116 謝友人贈竹孫啓
- 117 牧牛図（録近芸充課題）（七絶）
- 118 二月十六夜、夜半酒醒、月色奇明、觀樹影上窓、皆作奇鬼猛獸狀。援筆写其所見（七古）
- 119 作文図式序
- 120 教則千字文序
- 121 文章軌範質問録序
- 122 古経堂詩文集序
- 123 〓 125 萊山堂主人、設茗宴于東山知恩精舎、陳古器、奏明清樂。蓋為先人脩薦事也。索詩于予。乃題其雲煙図録、以塞責（七絶三首）
- 126 希伯来書註釈序
- 127 春日村莊十勝小記
- 128 訳中川水莊微行〈源語帶木卷〉
- 129 書詩画卷後
- 130 万国記註国史略序
- 131 送半山国重君赴任于外山県序〈癸未六月十二日草〉
- 132 万国記註国史略序
- 133 旭川詩鈔序
- 134 野添篤緒君墓誌銘〈代大浦氏〉
- 135 不朽社文話引
- 136 竹雨山房文録序
- 137 松園塩田先生墓表〈辛未十月廿八日草〉
- 138 書四十七士伝後
- 139 詭帰去来辞
- 140 送友人遊外国序
- 141 孟嘗君論

- 142 士説  
 143 商鞅論  
 144 方孝孺論  
 145 顏真卿論  
 146 書薩藩横山某死諫疏後  
 147 魯仲連論  
 148 葛城柘植先生伝  
 149 孝妓二鶴伝  
 150 灯籠堂碑  
 151 邁寛矢野君墓碑銘  
 152 「皆山楼ノ記」(漢字カナ交じり)  
 153 書航米日録後、呈新見使君(七古)

【一二】口碑録(4・05/コ/1貴)

①分量 一冊

②書型 縦二五・三cm×横一六・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改裝本(薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している)

③丁数 一七丁

④外題 「口碑録(菊池三溪稿本)」(表紙左肩、子持粹書き題簽)、「口碑録」(一丁目薄紙表紙左肩、打付書)

⑤内題等 内題「口碑録」

⑥序跋 なし

⑦備考 国史上の逸話の漢文訳。明治三年(一八七〇)五、六月の稿。

⑧目次

- 1 謙信聴平語(庚午五月十日記)
- 2 刀工近江(庚午五月十一日記)
- 3 祥刑記 板倉氏正記
- 4 祥刑記 大岡氏正記

【二三】三溪遺稿（4・05／サ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・〇cm×横一四・六cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 一四四丁

④外題 「三溪遺稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隷書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 明治十九ゝ二十一年（一八八六ゝ一八八八）の種々の詩文稿を集めたもの。

⑧目次

- 1 友月斎記
- 2 甘香園記
- 3 鉄翁禪師墓碣銘
- 4 鉄翁禪師墓碣銘
- 5 櫟山詩存序
- 6 游雲硯記
- 7 船山草場先生墓誌銘
- 8 船山草場先生墓誌銘
- 9 大野郡二孝女碑

- 10 送楠齋片桐君赴任北越序
- 11 蜻尾堂記
- 12 書觀梅詩卷後
- 13 三溪雜誌引
- 14 幡隨院長兵衛伝
- 15 楓園和田君墓誌銘
- 16 佐藤孺人墓誌銘
- 17 堺港浚鑿紀功碑
- 18 墨田川觀水軍士官試水雷火技、賦畧大島怡斎（七古）
- 19ゝ33 浪速竹枝（七絶十五首）
- 34 「与依田百川書」
- 35 照英田村君招魂碑銘
- 36 冬青館記
- 37 鉄翁禪師紀念塔銘
- 38ゝ43 月瀨紀游一ゝ六
- 44 明治十八年澱河洪水紀念碑銘
- 45 明治十八年澱河洪水碑銘
- 46 明治十八年澱河洪水碑銘
- 47 大野規周君壽藏碑銘
- 48 不朽社文話引
- 49 十八史略釈義序
- 50 通俗朝日旗風序

- 51 櫟山詩存序  
 52 遊雲硯記  
 ・ 訳準綺語序（依田学海）  
 ・ 序（石津灌園）  
 53 四月十一日（五律）  
 54 桃（五絶）  
 55 春寒（七絶）  
 56 韓信（七絶）  
 57 項羽（七絶）  
 58 司馬牛（七絶）  
 59 常盤（七絶）  
 60 一月四日、次石津灌園見贈詩韻、却寄（七律）  
 61 三月十日、錦谷相良君招飲。用主人韻送其赴任于鹿兒島（七律）  
 62 春雨書事（七絶）  
 63 菜花（七律）  
 64 柿（五絶）  
 65 楓園和田君墓碣銘  
 66 古経堂詩文集序  
 67 雲来詩鈔第二集序  
 68 修国史略記  
 永中花影

- ※水中花影引  
 69 幡随院長兵衛伝 実事譚  
 70 小山田庄左衛門伝』  
 71 凡例（「訳準綺語」凡例力）  
 72 蜻尾堂記  
 73 「福原周峰句、森春濤評語、内田凌雲詩拔書」  
 74 政海艶話序  
 75 琵琶帖跋  
 76 双蝶争一花 春色辰巳園（中絶）  
 ＊一一四丁表一行目「瓊橋余稿 三溪老漁手輯」とあり。  
 ※自序  
 77 一月十日、城南所見（七絶）  
 78 二月十一日、月色奇明、梅影在窓、獲一絶句（七絶）  
 79 京城客舍書事（三月六日作）（七絶）』  
 80 題楊舟画鷹図  
 81 書沈石田画幅後  
 82 采蕈説  
 83 答土屋伯毅書  
 84 秋尽（七絶）  
 85 浪華都門雜詠（七絶三首）  
 88 興文新誌序  
 89 前島村堤防再修碑

90	修国史略記（中絶）
91	楓園和田君墓表
92	歆隆蘆田君墓誌銘
93	皇朝古今小品文粹序
94	不朽社文話引
95	友月堂記
96	「木屐入浴」（断片）
97	松影詩文集序
98	雲来詩抄二編序
99	修国史略記（中絶）
100	大野規周君寿藏碑銘
101	阪田小湖翁寿冢碑銘
102	凡例三則
103	小学日本史序
104	頼政論
105	簿記学自修引
106	明治二十四才人絶句序
107	標註国史略訳解題詞
108	興文新誌序
109	政海艶話序『

#### 【一四】三溪余稿（4・05／サ／2貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二六・七cm×横一八・六cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 二三九丁
- ④外題 「三溪余稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隸書で記す）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 種々の詩文稿類を合綴したもの。収録作で製作年次のもっとも古いものは明治四年（一八七一）、新しいものは明治二十一年。明治十年前後の作が多い。三溪の詩文稿のみでなく、三溪の文集編纂のために書かれたと思われる五十川昶堂の評語、土佐の人三浦竹荘の詩稿など別人の手になるものを含む。表紙と一丁目の間に「三溪余稿 一冊」と書いた紙が挟み込まれている。
- ⑧目次
  - 1 富島氏墓誌銘
  - 2 謙信論
  - 3 真田昌幸論

4 郡県論一

\*八〇十四丁は柱に「秋田県」とある赤色刷野紙を用いる。

5 佐藤貞子伝

・記賢婦佐藤氏事（依田学海）

6 佐藤孺人墓誌銘

7 8 悼亡。為槐園佐藤君（七律二首）

・為佐藤槐園悼亡（鱸松塘、七律二首）

・佐藤貞子、有才無命。賦之寄哀（中村敬宇、七律）

・佐藤槐園君、為其室求輓詞。乃賦贈（依田学海、七律）

・悼秀閨佐藤氏亡、贈良人槐園君。氏有遺子、三四故及

（三島中洲、七絶）

・追悼佐藤貞子君。為槐園盟台（小野湖山、七律）

・悼亡。代佐藤雅兄作（森春濤、七律）

・悼亡。為槐園賢契（向山黄村、七律）

・佐藤女史輓詞（溝口桂巖、七絶二首） 』

9 標註史記読本序

10 新刻広益玉篇序

11 一串上田先生墓碣銘

12 渭洲梅原君墓碣銘

13 八阪神祠新築文庫碑銘

14 故正林寺主浩然師墓誌銘

15 八阪神祠新築文庫碑

16 八阪神祠新築文庫碑

17 代翹秀才答某生書

18 答山田子静書

19 与市村春卿書

20 曲馬師小金（消夏雜志）

21 消夏雜誌 一眼寺 第二号

22 消夏雜誌 吉野伝 第三号

23 消夏雜誌 吉野伝 第四号

24 消夏雜誌 吉野伝 第五号

25 消夏雜誌 一眼寺 第一号

26 偶然居記

27 30 遊高尾山記一（四

31 弥陀窟記

32 粒画記

33 清二十四家文録序

34 四顧皆花楼記

35 聖林唱和集題辭

36 寿大谷大教正六帙序

37 字林大全序

38 新撰以呂波字引叙

39 書松蔭吉田先生送兒玉秦卿遊九国叙榻本後

- 40 十七種素芳堂記  
41 曲馬師論贊再考  
42 仏手柑記  
43 文通自在叙  
44 自問自答序  
45 与高瀬川子水書  
46 題輕氣毬図  
47 京華新誌題詞  
48 京華新誌題詞  
49 京華新誌題詞  
50 西京繁昌記題辭  
51 綠飲樓二十四勝詩帖跋  
52 題蓮月尼肖像  
53 真草字引題辭  
54 鉄馬遺響題詞  
55 新刻幼学詩韻・詩語碎金序  
56 法律概論序  
57 撮影帖題辭  
58 雲煙図録題詞  
59 祝興農新誌開業文  
60 書書画帖後  
61 書貝葉古経函  
62 開口新誌跋  
63 書樂翁白川侯行実後  
64 慶弘紀聞跋  
65 書竹蔭詩稿後  
66 書鴨東名妓写真譜後  
67 文話五則  
68 〽 78 墨上筭記一〽十一  
69 海南義烈伝序  
80 清朝史略序  
81 政学概論序  
82 新刊咫聞録序  
83 野画新法序  
84 近世名家文抄二編序  
85 内国史略字引跋  
86 纂評文章軌範序  
87 国朝史略序  
88 精神病約説序 代真島氏  
89 続近世名家文抄序  
90 黄石斎詩集序  
91 黄石斎詩鈔序  
92 〽 97 題藤本鉄石・松本奎堂墨跡（七絶六首）  
98 〽 104 初冬近郊散步（七絶七首）



- 105 食新茄〈花頂喰社四月宿題〉（七古）  
 106 苟完居記  
 107 統五雲樓記  
 108 八阪神祠新築文庫記（一部破損）  
 109 国史略第三輯序  
 110 〽 111 秋懷。次石子儉韻、却寄（七律二首）  
 112 〽 116 東山左樓、喫洋饌五首（七絶）  
 117 誦大日本史（七古）  
 118 誦杜集（七律）  
 119 過小山駅、有感慶元故事、書客舍壁（七古）  
 120 鎔毀銅仏鑄造巨煩論  
 121 論近世將府隆替  
 122 論孟子制民產  
 123 唐太宗論  
 124 王安石論  
 125 国朝史略序  
 126 浄雲石川君墓碣銘  
 127 夢鷗嚙語叙  
 128 金蘭小詩序  
 129 国史略二篇字引叙  
 130 国史略三篇字引叙  
 131 関西詩文序  
 132 標註国史略訳解序  
 133 増評韓蘇詩抄序  
 134 自寿六十一初度序  
 135 杉山千和六十寿序  
 136 〽 145 洪水書事十首〈有引〉（七絶）  
 146 雲煙供養図録序  
 147 栗斎小稿序  
 148 続近事紀略跋  
 149 〽 150 四月二十五日、石子儉見訪。留而小酌。明日子儉有詩見贈。賦此答謝（七律二首）  
 151 花頂喰社詩会、以春雨訪友命題。此日会者、船山、天江、双橋諸人、併予都六人也。詩限以七律。晡時穀雨如油、藥欄落花將殘、適甚矣。時丁丑四月念六日也（七律）  
 152 食新茄〈花頂喰社四月課題〉（七古）  
 153 駕汽車抵神戸。車中叙所見、作汽車行〈録近作充宿題〉（七古）  
 154 舍北揺落景殊佳〈印須社宿題〉（五律）  
 155 国史樂府序  
 156 先塋碑陰記  
 157 屏風戦図 武蔵鑑  
 158 木屐入洛 膝栗毛

- 159 知命乘輿 武藏鎧  
160 「断片」  
161 漢画捷徑叙  
162 美濃国羽根谷新道碑  
163 〽 164 新緑二首（七律）  
165 〽 166 画蟹（七絶二首）  
167 十七種素芳堂記  
168 四顧皆花楼記  
\* 八八丁表一行目「乙亥五月二日印須杜課題」とあり。  
169 〽 170 春雨鳴鳩（七絶二首）  
171 〽 172 用広瀬青村留別詩韻却寄（録近作乞正）（七律二首）  
・「五十川詠堂評語」  
173 織月亭記  
174 灯籠堂記  
175 晚翠堂詩文集序  
176 詠月琴（有引）（七古）  
177 菊章銀盃歌。寿家海莊丈人八十（有引）（七古）  
178 〽 183 西大谷新□<sup>（吟力）</sup>（七絶六首）  
184 〽 185 秋夕書懷。示石子儉（七律二首）  
186 詠松。寿某上人還曆（七古）  
187 詠風（七絶）

- 188 送村上子寛還豊前序  
189 〽 195 觀都踊七首（有引）（七絶）  
196 例言六則  
197 消夏雜誌（名妓吉野伝第一〽二号）  
198 円山子光六十一寿序  
199 本朝彤史序  
200 自問自答序  
201 夢鷗嚙語序  
202 晚翠堂詩文集序  
203 恕軒文稿跋  
204 前島村堤防再脩碑  
205 前島村堤防再修碑  
206 攻異端是害也已論  
207 義仲論  
208 「無題」（断片、開国前後の史実を記す）  
・後醍醐帝木主記（上甲様、活版）  
・「三浦竹莊詩稿」（以下五丁分。細目略。冒頭に「土佐三浦漁、字子漁、号竹莊、又号一竿漁者」とあり）

【一五】三溪文略（4・05／サ／3貴）

①分量 二冊

②書型 第一冊縦二三・五cm×横一六・二cm、第二冊縦二

二・九cm×横一五・五cm、第一冊縹色表紙、第二冊縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 第一冊二六丁、第二冊三三丁

④外題 第一冊「三溪文略 全」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、第二冊「三溪文略二編 全」（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 第一冊一丁表左端に「三溪先生文略仮輯第壹卷」、第一冊内題「三溪文略卷一」、第二冊内題「三溪文略二編卷一」

⑥序跋 なし

⑦備考

文集。第一冊は明治十一〜十三年（一八七八〜一八八〇）頃、京都居住中の作を含む。第二冊は明治三、四年頃、常総居住中の作を収める。

⑧目次

第一冊

●三溪文略卷一

1 与市村春卿書

2 与高瀬川子水書

3 代麴秀才答某生書

4 与家溪琴先輩報震災書

5 答山田子静書

6 市川白猿伝

7 宝生弥五郎伝

8 阿部豊後守忠秋逸事

第二冊

●三溪文略二編卷一

9 代麴秀才答某生書

10 与信夫文則書

11 福堂詩識序

12 母自欺齋詩抄序

13 贈秋葉生

14 送進士僊吉序

15 熟字類編叙

16 五一堂記

17 日蓮上人画像記

18 十七種素芳堂記

19 花月堂記

20 光霽軒記

21 磯浜觀潮記

22 貫山土屋公恩賜机記

【二六】三溪文稿（甲）（4・05／サ／4貴）

①分量 二冊

②書型 上冊縦二三・〇cm×横一五・三cm、下冊縦二三・

三cm×横一六・〇cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 上冊一八七丁、下冊二二丁

④外題 「三溪文稿 上」「下」（表紙左肩、単枠書き題簽、  
篆書）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 いったん薄紙表紙を付けてまとまれた詩文稿を  
合綴したもの。構成は以下の通り。

○上冊

(1) 薄紙表紙（見返しに貼り付け）に「文稿」とあ  
り、安政四、五年（一八五七～一八五八）の文稿。  
八丁（うち一丁は後表紙）。

(2) 薄紙表紙に「丁巳文稿 菊池純未定稿」とあり、  
安政四年の文稿。二二丁（表紙、後表紙各一丁を  
含む。以下同）。

(3) 薄紙表紙に「辛酉文稿」とあり、文久元年（一  
八六一）の詩文稿。一四丁。

(4) 薄紙表紙に「文稿 菊池純草」とあり、嘉永三

- く六年（一八五〇）一八五三の文稿。二二丁。
- (5) 薄紙表紙に「文稿〈午稿〉」とあり、(1)と同内容。九丁。
- (6) 薄紙表紙に「文藁」とあり、安政元、二年の文稿。三二丁。
- (7) 薄紙表紙に「壬子文稿」とあり、嘉永五年の文稿。二三丁。
- (8) 薄紙表紙に「草稿〈丙辰〉一」とあり、安政三年の文稿。二二丁。
- (9) 薄紙表紙に「文藁〈丙辰〉二」とあり、安政三年の文稿。二二丁。
- (10) 薄紙表紙に「旧稿 一」とあり、年次未詳、文稿。六丁。
- (11) 薄紙表紙に「文稿 五篇」とあり、年次未詳、文稿。一〇丁。
- 下冊
- (1) 薄紙表紙なし、文稿。年次の分かる所収作品のうち最も早いものは慶応二年（一八六六）、後のものは明治十年（一八七七）。六〇丁。
- (2) 薄紙表紙に「三溪文稿」とあり、年次未詳、文稿。二二丁（表紙、後表紙各一丁を含む。以下同）。
- (3) 薄紙表紙に「三溪文稿〈壬申〉 完」とあり、

# ⑧ 目次

## 上冊

## 文稿

- 1 送宇佐美某序
- 2 送丸山竹所序
- 3 馬上雪行記
- 4 織田右府論

- 明治四、五年の文稿。二二丁。
- (4) 薄紙表紙に「鄙文小稿」とあり、文稿。安政六年の神交機識語あり。二三丁。
- (5) 薄紙表紙に「鄙文 菊池純藁」とあり、嘉永五年頃の文稿。二四丁。
- (6) 薄紙表紙に「鄙文三篇」とあり、明治三、四年の文稿。七丁。
- (7) 薄紙表紙に「小藁」とあり、詩稿。慶応二年の作を含む。九丁。
- (8) 薄紙表紙に「小藁 菊池純拝草」とあり、年次未詳、文稿。九丁。
- (9) 薄紙表紙に「雑文小藁〈丙辰〉 菊池純太郎稿」とあり、安政二、三年の文稿。一六丁。
- (10) 薄紙表紙に「雑文小稿〈壬申如月造〉」とあり、明治三、五年の文稿。二二丁。

〔丁巳〕文稿

5 送白井秋水序

6 陵川樓記

7 医学館唱和詩卷跋

8 題司馬君夷擊甕圖

9 題桑祠燦朱面竹圖。贈小浦青厓

10 答石川艇齋書

11 祭南溟先生文

12 孟母三遷論

13 孔子与曾点問・孔子与曾点講義

14 贈白井秋水序

15 与松平魯峰書 』

〔辛酉〕文稿

16 春声樓記

17 竹蔭書屋記

18 晃山祭会図卷跋

19 書六如・洪園和歌題詩卷後

20 松魯峰村莊図卷跋

21 題跋四条（辛酉）

22 春夕微雨（七絶）

23 文章星図（七絶）

24 謙齋河尻君、頃日購得林園月令一函、令予題其函蓋。

函大三四寸、卷秩亦稱之。清麗奇秀、無物之可狀。可

謂才人必誦之奇篇、名士文房之珍翫也（七律）

25 存齋新見君、藏紫端硯一枚。秀潤滑沢、能發墨色。蓋  
今大君加冠盛典恩賜之余、所購得。繼有脩大業広記之  
命。乃用以拱其事、使純記其盛事、以書其蓋背（七律）

26 偶感（七律）

27 秋晚露坐（七絶） 』

〔文稿〕

28 塩賊伝

29 題妹尾兼康戰死図

30 阿部忠秋伝

31 天野広丸伝

32 帶香園詩稿序

33 平山行藏伝（癸丑晚秋稿成）

34 有高才、能文章、三不幸論

35 蒼髯叟伝 』

〔文稿（午稿）〕

36 送宇佐美某序

37 送丸山竹所序

38 馬上雪行記

39 織田右府論 』

〔文藁〕

- 40 続館柳唱和集序  
41 曹参論  
42 童課百絶序  
43 足柄山吹簫図  
44 月喩  
45 案山子説  
46 論藤原園人・善岑安世  
47 送本多生序〈代人〉  
48 郭巨論  
49 祭衡岳府君文  
50 書好古談賢図卷  
51 豊臣勲功記  
52 好古談賢図巻跋  
53 送本多生序〈代人〉  
54 湊納寓居図巻跋  
55 〽 57 關辺陞一〽三  
〔王子文稿〕  
58 太子申生論  
59 小金橋觀花記  
60 清正公祠堂記  
61 臨江亭記  
62 長所記  
63 霞峰山人墨竹記  
64 君真物記  
65 荻野鳩谷伝  
66 説川角太閤記  
67 愛鶴説。賀雪峰田中君加秩  
68 平安聚勝帖跋  
69 梅亭画博奇石図跋  
70 答塩谷簣山  
71 雜記一則 』  
〔草稿〈丙辰〉一〕  
72 翠黛伝  
73 仏手柑記  
74 季札論  
75 四皓論  
76 柴田勝家論  
77 平氏論  
78 郭巨論  
79 論頼朝・義経  
80 与榊原茜洲書  
81 与茜洲 』  
〔文藁〈丙辰〉一二〕  
82 風白月香楼記

- 83 水影月香樓記  
84 項羽論  
85 鷹巢山  
86 伽羅巖  
87 和歌浦  
88 読鴨長明方丈記  
89 觀不知火記  
90 下求麻川記  
91 題那智瀑図  
92 鍾乳洞記  
93 書弓銃弁後  
94 題蚯蚓呻吟後  
『  
百稿 一』  
95 与溪琴翁書』  
『文稿 五篇』  
96 王安石論  
97 斐行俟論  
98 〽 99 柳瀬・長久手一〽二  
100 福堂詩識叙  
『下冊』  
101 与高瀬川子水書  
102 寿大谷大教正六秩序
- 103 送人登富岳序  
104 自問自答序  
105 嵐峽記  
106 市川白猿伝  
107 仏手柑記  
108 粒画記  
109 七福神図記  
110 花月社記  
111 十七種素芳堂記  
112 白滝山觀瀑記  
113 梅溪記  
114 内国史略字引跋  
115 題輕氣毬図  
116 跋小島高德・楠正行題歌詩図卷後  
117 袖雲石記  
118 小影自贊  
119 名妓但馬伝  
120 信夫寛一郎墓碑銘  
121 觀月詩卷跋  
122 〽 128 觀梅游記一〽七  
129 從能見堂眺金沢八勝記  
130 金沢四時總宜亭記



131 ～ 134 登筑波山記一 ～ 四

三溪文稿

135 井伊直政

136 加藤清正

137 木村重成

138 大谷吉隆

139 後藤基次

140 真田昌幸

141 郡良列

三溪文稿（壬申）

142 書碁行二十字詩後

143 草廬三顧図

144 題草廬三顧図

145 題草廬三顧図

146 題断機図

147 代麴秀才答某生書

148 白滝山瀑布図

149 柳北詩抄序

150 明智光秀論

151 器用

152 身体

153 鳥獸

鄺文小稿

154 仏手柑記

155 月喻

156 郭巨論

157 曹參論

158 翠黛伝

159 四皓論

160 季札論

161 詭川角太閤記

162 童課百絶序

163 豊臣勲功記序

164 案山子説

165 粒画記

鄺文

166 芳草楼記

167 贈松平元資序

168 続館柳唱和集序

169 書平原草廬図後

170 跋済涉余興後

171 月喻

172 足柄山吹簫図（以下七篇壬子文稿）

173 ～ 174 細川頼之論一 ～ 二

175 光武帝燎衣図〈明教館命題〉

176 周選唐賢絶句補注後叙

177 得斎文鈔叙

178 書津山中將確堂公書幅匣背

179 明智左馬介騎渡湖水図（七古）

鄙文三篇

180 老谷書屋記

181 重新鐘樓記

182 水確説 』

小藁

183 〽 184 百美人図〈折二〉（七絶二首）

185 〽 186 江村秋事（七絶二首）

187 〽 189 秋霖無聊、日賦詩排悶（七律三首）

190 橋場（七律）

191 今戸（七律）

192 松尾芭蕉（七律）

193 宝井其角（七律）

194 〽 196 読鴨長明方丈記〈有引〉（五古三首）

197 題画（五絶）

198 東台觀花。斯花原係林道春先生手植。樹皆合抱、花時

遊賞之盛、都下弗觀其匹。吁嗟先生之惠厚矣。賦此書

感（七古）

199 月下老鶴図（七絶）

200 水窓（七律）

201 觀挿秧（七律）

202 富岳図（五古）

203 美人読書図（七絶）

204 〽 205 読貞觀政要二首（七絶）

206 西瓜（七絶）

207 文覚（七絶）

208 日本橋（七律）

209 高輪（七律）

210 晚起、湖亭觀蓮花（七律）

211 偶言（五古）

212 旅夜聞人彈三絃（七古）

213 読山田長政伝（七絶）

214 読浜田弥兵伝（七絶）

215 読金忠輔伝（七絶） 』

小藁

216 禁洋学議

217 続風白月香樓記

218 論平将門・藤原秀郷

219 書八幡太郎辺城觀乱鴻図後

220 孟母断機図跋 』

『雜文小藁（丙辰）』

221 南海外集序

222 送関根子業序

223 送季弟蔵六序

224 送岩橋柳窓序

225 送川合梅所翁序

226 春月詩卷跋

227 港汭寓居図巻跋

228 漂民録話跋

229 与広瀬旭莊『

『雜文小稿（壬申如月造）』

230 長篠（七月十一日草）

231 大高・種石

232 大高・種石

233 穎考叔論

234 「無題」（七絶）

235 「無題」（七絶）

236 泛禹宿沼湖（七絶）

237 「無題」（七絶）

238 「無題」（七律）

239 「無題」（断片、小勢も能く大軍を破る所以を論じた文）

240 「無題」（同右）

241 「一谷・栗殻」

242 一谷・栗殻

243 游白滝山觀瀑記

244 ～ 245 相思艸記一 ～ 二（中絶）

246 「宗珉」（断片）

247 「佐々木文山」

248 ～ 249 既涼（七律二首）』

【一七】三溪文稿（乙）（4・05／サ／5貴）

①分量 二冊

②書型 縦二四・二cm×横一六・八cm、水色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 上冊三九丁、下冊三四丁

④外題 「三溪文稿 上」「下」冊（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 上冊内題「三溪文稿」、下冊内題（一）「三溪文稿」、内題（二）「遊勢奇賞」

⑥序跋 斎藤竹堂「三溪文稿序」（嘉永四年二月、「晴雪楼存稿序」と同文）、塩谷簗山「三溪文稿序」（嘉永五年三月、関磐村書）

⑦備考 「三溪文稿」所収作品の上限は天保十四年（一八四三）、下限は嘉永元年（一八四八）。

⑧目次

上冊

・三溪文稿序（斎藤竹堂）

・三溪文稿序（塩谷簗山）

●三溪文稿

1 南溟文集序

2 海莊集序

3 霞湖漁唱序

4 送牧子徹序

5 送榊原醒梁序

6 送古岳上人遊松島序

7 貝原君八十寿序

8 趙武靈王論

9 板垣信形論

10 細川頼之論

11 真間国府台記

12 咬菜堂記

13 粒面記

14 吞舟窟記

15 竜隠菴記

16 八鳥齋記

17 鉄屏風記

下冊

●三溪文稿

18 答南陽仁井田翁書

19 上玉城大夫乞講洋炮書（代菊池士固）

20 賀海莊山人遇災書

21 異鳥説

22 豆腐説

- 23 御岳新道碑銘
- 24 貞斎菊池君墓碑銘
- 25 伶官彦右衛門伝
- 26 義俠平五郎伝
- 27 恩田木工伝
- 28 読竹堂文鈔
- 29 書楠公碑陰搨本後
- 30 基喩
- 遊勢奇賞
- 31 遊勢奇賞

【二八】三溪寸鉄（4・05／サ／6貴）

- ①分量 二卷二冊
- ②書型 縦二一・八cm×横一五・一cm、黄土色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 上冊三五丁、下冊三九丁
- ④外題 「三溪寸鉄 上」「下」冊（表紙左肩、子持粹書き題簽）
- ⑤内題等 内題「三溪寸鉄卷之一」「二」
- ⑥序跋 自序（明治二十一年十一月）、木崎孝跋（明治二十二年二月）
- ⑦備考 明治九く二十一年の小品を集めたもの。
- ⑧目次
- 上冊
- ※自序
- 三溪寸鉄卷之一
- 1 撮影帖題詞
- 2 吳竹園題辭
- 3 開口新詞跋
- 4 題花街春曉図
- 5 駒形堂首夏図
- 6 待乳山遠眺図

- 7 澤上秋色図
- 8 書貝葉古経函（代真宗僧某）
- 9 新刻幼学詩韻・詩語碎金題詞
- 10 鉄馬遺響題詞
- 11 題蓮月尼肖像
- 12 真親会詩歌集引
- 13 国史略三篇字引題詞
- 14 雲煙図録題詞
- 15 書東京名勝詩後
- 16 書染翁白川侯行実後
- 17 書沈石田画幅後
- 18 題楊舟画鷹図
- 19 一塵新誌引
- 20 詩作早学引
- 21 題風雨待渡図後
- 22 越柏新誌題詞
- 23 香草園小稿題詞
- 24 標註国史略訳解題詞
- 25 竹深留客処集跋
- 26 女学校課程略解題詞
- 27 囲棋錦囊題詞
- 28 国史略二篇字引題詞
- 29 書愛蓮説後
- 30 書尚友卷後
- 31 一夜百詠題詞
- 32 雞肋集引
- 33 書琴鶴帖後
- 34 書留春帖第十帙後
- 35 書月瀨觀梅面帖後
- 35 書留春帖第十二輯後
- 36 波越竹枝題詞
- 下冊
- 三溪寸鉄卷之二
- 37 澤上筍記
- 38 〽47 記二〽十一
- 48 興文新誌序
- 49 琵琶帖跋
- 50 千家絶句題詞
- 51 関西詩文題詞
- 52 国史論抄引
- 53 麗沢詩集引
- 54 扶桑書画帖跋
- 55 感恩帖題辭
- 56 花月草紙題詞

- 57 扶桑書画譜叙
- 58 是亦録跋
- 59 簿記学自修引
- 60 書鴨東名妓写真譜後
- 61 漢文独学引
- 62 懷旧詩三十首跋
- 63 書田野村小虎翁山水十二景図後
- 64 澡泉余録題詞
- 65 書莊周夢蝶図後
- 66 觀楓日記跋
- 67 滬呉日記跋
- 68 水餐煙語跋
- 69 書半日閑話後
- 70 月瀬記游一
- 71 〽 75 記二〽六
- 76 書旧文稿後
- 77 竜澗觀紅樹記
- 78 題案山子図
- 79 春日出村莊十勝記
- ・跋（木崎孝）

【一九】三溪雜稿（4・05／サ／7 貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二一・七cm×横一四・二cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 四六丁
- ④外題 「三溪雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隸書で記す）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 種々の詩文稿を合綴したもの。元治元年（一八六四）、明治十年（一八七七）の作を収めると思ひ。
- ⑧目次
  - 1 訓蒙国史略字引序
  - 2 花月社記
  - 3 花月社後記
  - 4 花月社記
  - 5 京華新詠序
  - 6 赤繩奇談（第一〽三回。冒頭に「祥刑記／江門 三溪居士著／大岡氏別記」とあり）
  - 7 比翼塚（五古）

8 山吹里、想太田道灌氏故事（七古）

9 本所擒竜

10 天女使

11 節妓

12 若王寺後園記

13 狐廟華表

14 禁苑觀舞樂記

15 統兵要録序

16 蘆葉墨斗

17 答新見君

18 白銅文鎮 』

\*以下27まで三丁分は、「京華集」稿本の一部。三丁目裏末尾に「京華集甲篇（終）」とあり。

19 嵐山（七古）

20 21 小倉山二首（五絶）

22 盆栽小桜（七絶）

23 訪靄山山人溪山無尽楼、招竹外老人小酌。此日雪大起、快甚也（七律）

24 知恩院（七絶）

25 凹軌行（五古）

26 北山觀鹿園公茶寮。寮有南燭柱（五律）

27 春晚。次韻新見存齋（七絶） 』



【二〇】記佐賀県騷擾本末（4・05／サ／8貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・四cm×横一六・六cm、肌色表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 八丁
- ④外題 「菊池純稿／記佐賀県騷擾本末 完」（表紙左肩、打付書）、「記佐賀県騷擾本末（二則）」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 佐賀の乱に関する記事文二編。二編目の末尾に「土屋（莊）拝稿」とあり、あるいは三溪作ではないか。五丁目と六丁目の間に三溪宛の紙片あり。

⑧目次

- 1 〃 2 記佐賀県騷擾本末

【二一】晴雪楼遺稿（4・05／セ／1貴）

- ①分量 二冊
- ②書型 乾冊縦二三・四cm×横一五・五cm、坤冊縦二三・〇cm×横一五・四cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 乾冊一七七丁、坤冊一四八丁
- ④外題 「晴雪楼遺稿 乾「坤」」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隸書で記す）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 明治十五（一八八二）一八八九の種々の文稿を集めたもの。

⑧目次

〔乾冊〕

- 1 涵虚堂遺稿序
- 2 冷雲石田君墓碑銘
- 3 涵虚堂遺稿序
- 4 書半日間話後
- 5 書半日間話後
- 6 本朝百婦伝序
- 7 月瀬游記四
- 8 記五

- 9 記六
- 10 「断片」(前半二丁破損)
- 11 停衛兵稍食
- 12 公使館襲撃
- 13 仁川府奇禍
- 14 問罪使節
- 15 条約結局
- 16 燕脂虎伝(一名毒婦高橋男伝実録)
- 17 書広瀬保水翁書牘後
- 18 冷雲石田君墓碣銘
- 19 新塞(読史戦論)
- 20 敵島・河越(読史戦論)
- 21 小田原
- 22 碧蹄館上
- 23 碧蹄館下
- 24 書船山遺稿後
- 25 書鉄然上人薩海舟中詩後
- 26 三溪文集自序
- 27 刑法講義序
- 28 埋玉発光跋(己酉一月十四日草)
- 29 話園序(中絶)
- 30 話園序(中絶)
- 31 毛詩補伝序
- 32 毛詩補伝序
- 33 訳準綺語
- 34 鼇頭古文真宝序
- 35 天籟文集序
- 36 標註十八史略序
- 37 標註十八史略序
- 38 留春帖題詞
- 39 留春帖序
- 40 留春帖題詞
- 41 鼇頭古文真宝叙(中絶)
- 42 鼇頭古文真宝叙(中絶)
- 43 竹内嶺新道碑
- 44 谷梅翁老人、見惠其手刻竹印一顆。賦此鳴謝(七絶二首)
- 46 富山仙洞 八大伝(中絶)
- 47 話園序
- 48 埋玉発光跋
- 49 土窟屠竜(擬樂府)(七古)
- 50 一夜百詠序
- 51 百家一絶序
- 52 明治文集序

- 53 宜春樓記
- 54 一夜百詠序
- 55 詠風（七絶）
- 56 国史略初篇跋（中絶）
- 57 宜春樓記
- 58 毛詩補伝序（中絶）
- 59 白峰陵 弓張月
- 60 「無題」（七絶）
- 61 雨夜赤繩 春色梅曆
- 62 富山仙洞 八大伝
- 63 芳流閣格闘
- 64 談海序
- 65 丸山火災
- 66 觀防火丁演梯技記
- 67 訳漢文則序（中絶）
- 68 送大岡子行序
- 69 故法勝寺執行俊寛僧都記念墓碣碑銘
- 70 増補日本外史訳語序
- 71 論川中島戰（中絶、坤冊143に続く）
- 72 「旭川詩鈔序」（前半欠）
- 73 修身必読仮名世説序
- 74 題風雨待渡図後
- 75 題風雨待渡図
- 76 觀楓日記跋
- 77 書尚友卷後
- 78 番氏明牽裾図（七絶）
- 79 楠公訣児松（七絶）
- 80 「無題」（七律）
- 81 採蕈説
- 82 国史論抄序
- 83 松浜新港碑銘
- 84 大日本史言行略序
- 85 大日本史言行略序
- 86 屏風戦図
- 87、88 「詠岐阜提灯。次韻依田百川」（七絶二首、未定稿）
- 89 十月八日、緒方氏招飲。用秋谷老人餞別詩韻、送其西帰（七絶、未定稿）
- 90 十月八、緒方適齋招飲。次主人詩韻、送秋谷老人西帰（七絶、未定稿）
- 91、92 詠岐阜提灯。次韻依田百川（七絶二首、未定稿）
- 93 近世名医伝序
- 94 近世名医伝序
- 95 姚姬伝（七絶）

- 96 査初白（七絶）  
 97 張問陶（七絶）  
 98 〽 104 「無題詩稿」（七絶七首）  
 105 〽 106 王漁洋（七絶二首）  
 107 日本藩史序（中絶）  
 108 寒尽（七絶）  
 109 「無題」（七絶）  
 110 青莪一筐叙  
 111 志伝文叢序  
 112 増註国語定本序  
 113 日本仏蘭西違警罪類聚叙  
 114 茶道早学序  
 115 志伝文叢序  
 116 慷慨義烈余詩序  
 117 越柏新誌叙  
 118 大日本史言行略序  
 119 丹波国鐘坂隧道竣工、募文詩于四方、鳴其盛事、則賦  
   歌行一篇、贈其首唱某氏（七古）  
 120 国史論抄序  
 121 書尚友卷後  
 122 冷雲詩抄序  
 123 文章軌範釈義序
- 124 皆山楼記  
 125 日柳燕石追悼詩文集序  
 126 日本藩史序  
 127 近世名医伝序  
 128 近世名医伝序  
 129 松浜新港碑銘  
 130 春日祠積雪  
 131 御鹿山春曙  
 132 騰雲溪清風  
 133 春草廬夜雨  
 134 分翠路流螢  
 135 梅外小稿序  
 136 標註弘道館記述義序  
 137 扶桑楼記  
 138 八大家摘注序  
 139 標註十八史略序  
 140 標註国語定本序  
 141 評林文章軌範序  
 142 話園序  
 143 「論川中島戰」（乾冊71の後半）  
 144 美人香草堂記

- 145 宜春樓記  
 146 中房溫泉記  
 147 毛詩補伝序  
 148 梅外摘稿序  
 149 天籟文集序  
 150 留春帖題詞  
 151 庚申山怪異 八大伝  
 152 庚申山 二  
 153 漢訳文則序  
 154 文海一滴序  
 155 元明史略註解序  
 156 松浜新港碑銘  
 157 近世名医伝序  
 158 宇都宮竜山先生寿蔵碑銘  
 159 邁寛矢野君墓碑銘  
 160 邁寛矢野君墓誌銘  
 161 海莊先生墓碣銘  
 162 海莊先生墓碣銘  
 163 海莊菊池先生墓誌銘  
 164 岡田平蔵墓銘  
 165 渙河洪水紀念碑銘  
 166 渙河洪水紀念碑銘  
 167 渙河洪水紀念碑銘  
 168 渙河洪水紀念碑銘  
 169 竹内嶺新道碑銘  
 170 竹内嶺新道碑  
 171 竹内嶺新道碑  
 172 冬斎藤川先生紀念碑銘  
 173 扶桑館記  
 174 「無題」(森槐南「古詩平仄論」の序か)  
 175 詩文叢集序  
 176 詩文叢集序  
 177 済瀝紀事  
 178 曲馬師小金  
 179 一眼寺  
 180 稗史小伝(中絶)  
 181 記南紀名勝三則  
 182 阿部豊後守忠秋逸事  
 183 与家溪琴先輩報震災書  
 184 日蓮上人画像記  
 185 春日莊十勝小記  
 186 浮黛樓記  
 187 浮黛樓記  
 188 樂古堂文集序

189 秋元神社宝鏡銘并引〈代秋元氏〉

190 宇都宮竜山先生寿冢碑銘

191 宇都宮竜山先生寿藏碑銘

192 文章軌範明弁序

193 ～ 194 詠岐阜提灯二首。歩学海依田君詩韻（七絶）

195 女学校課程略解叙

196 囲棋錦囊序

197 竹深留客処集跋

198 千家絶句序

【二二】晴雪楼雜稿（4・05／セ／2 貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・二cm×横一五・三cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 一二三丁

④外題 「晴雪楼雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隷書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 明治十九～二十一年（一八八六～一八八八）の種々の文稿を集めたもの。

⑧目次

1 小山田庄左衛門伝 以呂波文庫（二丁表に「鏡中花影卷一」とあり。三丁表一～三行目に「鏡中花影卷之一／三溪居士訳述／訳準情史」とあり。同四行目に題、五行目より本文）

2 冬青館記

3 堺港浚鑿紀功碑

4 神契爾我卷序

5 斑斕舞影跋

6 小楠公戎装図賛

- 7 楠公訣別図賛
- 8 耶馬溪図巻序
- 9 起業製法全書序
- 10 甲斐志叢跋
- 11 攻玉新誌叙
- 12 峽中詩叢叙
- 13 竹窓遺稿跋
- 14 薤露一滴跋
- 15 友月斎記
- 16 十哲像賛〈為福島氏囑〉
- 17 歐洲美談序
- 18 書累卵図後
- 19 世界一大奇聞序
- 20 蜻尾堂記
- 21 岡村閑堂六十初度寿序
- 22 先哲文粹序
- 23 竹外詩稿序
- 24 大日本明治大薰香効能緒言
- 25 水中花影序
- ・序（石津灌園、『訳準綺語』の序。三溪の評あり）
- 26 琴廬谷口君墓碑銘
- 27 香説
- 28 香説
- 29 与石津子儉書
- 30 船山草場先生墓誌銘
- 31 聾史紀事序
- 32 竜杖賛〈西琴石需、崎陽客中作〉
- 33 書水餐煙語後〈崎陽客中作〉
- 34 距影紀事跋
- 35 山田長正事蹟考序
- 36 佐藤貞子伝
- 37 佐藤孺人墓碣銘
- 38 別子銅山面帖跋
- 39 小学日本史叙
- 40 三溪雜誌引
- 41 簫声日録跋
- 42 戦図屏風 武藏鎧
- 43 木屐入浴 膝栗毛
- 44 木屐入浴 膝栗毛
- 45 若紫 源氏物語
- 46 空蟬 源氏物語
- 47 空蟬 源氏物語
- 48 若紫 源氏物語
- 49 幡随院長兵衛伝

- 50 因伯新道紀功碑
- 51 船山草場先生墓誌銘
- 52 歛隆蘆田君墓誌銘
- 53 楓園和田君墓誌銘
- 54 大野郡二孝女碑
- 55 明治池碑
- 56 纂評唐宋八大家文読本序
- 57 耶馬溪図巻序
- 58 起業製法全書序
- 59 聯璧詩鈔序
- 60 美濃紙説。寿神山鳳陽翁
- 61 美濃紙説。寿神山鳳陽翁
- 62 世界一大奇聞序
- 63 大野郡二孝女墓表
- ・重書尾上多見蔵伝後（木崎愛吉）

【二三】晴雪楼小稿（4・05／セ／3貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二三・九cm×横一六・九cm、縹色表紙、四つ目綴じ
- ③丁数 二九丁
- ④外題 「晴雪楼小稿 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）
- ⑤内題等 内題「晴雪楼小稿（戊辰）」、内題次行には三溪の署名の他に「恕軒信夫榮評点 晴山秋葉錦校字」とあり
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 明治元年（一八六八）の文集。
- ⑧目次
  - 1 上参謀某公書（代人）
  - 2 与信夫文則書
  - 3 与秋葉士榮書
  - 4 送信夫文則之江門序
  - 5 恕軒医話序
  - 6 恕軒文稿序
  - 7 竹楼詩存序
  - 8 登筑波山記
  - 9 自山下抵山上記二



- 10 雄峰記三
- 11 雌峰記四
- 12 焚書坑儒説
- 13 信夫寛一郎墓碣銘

【二四】晴雪楼文略（4・05／セ／4貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・四cm×横一六・五cm、縹色表紙、四つ目綴じ

③丁数 五六丁

④外題 「晴雪楼文略 機」（表紙左肩、赤色子持粹書き題簽）

⑤内題等 見返し題「晴雪楼文略」、内題「晴雪楼文略卷一」

⑥序跋 「自序」（明治三年四月六日）

⑦備考 文集。制作年次がもっとも古いものは元治元年（一八六四）、新しいものは明治初年の作と思しい。

見返しは赤色、左右双辺の匡郭内を界線で三分し、右から「三溪菊池純著」「晴雪楼文略」「鉄屏書屋蔵」と記す。

⑧目次

※「自序」

1 上関老兼陸軍総裁松前侯書

2 上知県事書（代人）

3 与笠城執政牧野君序

4 送監察新見相州序

- 5 左氏戰図考序  
6 嚶鳴集序  
7 輦轂集序  
8 歲寒堂文鈔序  
9 又一塵集序  
10 半齋摘稿序  
11 統兵要録序  
12 增訂古文真宝序  
13 鹿鳴舍唫稿序  
14 記事提要序  
15 作文在邇序  
16 積養堂詩集序  
17 織月亭記  
18 札儀師古沢翁弟子姓名碑陰記  
19 重修十三山書樓記  
20 得所軒記  
21 静軒記  
22 禁苑觀舞樂記  
23 26 游高尾山記一 四  
27 滝澗記  
28 霞浦泛舟記  
29 臥竜梅記  
30 下漢江記  
31 若王子後園記

【二五】鉄屏書屋雜稿（4・05／テ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二四・一cm×横一六・〇cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 九〇丁、この他書状二葉を綴じ込む

④外題 「鉄屏書屋雜稿 全」（表紙左肩、打付書、子持枠を書いた中に隷書で記す）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 種々の詩文稿を合綴したもの。製作年次の最も古いものは明治三年（一八七〇）、新しいものは明治十九年。『京華新誌』原稿を含む。

⑧目次

1 序（「浪越竹枝詞」序）

2 序（「浪越竹枝詞」序）

3 割鶏刀

4 赤縄奇談（『京華新誌』原稿（連載三号分））

5 三等技師大野君寿藏碑銘

6 大蔵三等技師正六位勲六等大野君紀念碑

7 三等技師大野君紀念碑

8 13 正六位勲六等大蔵三等技師大野君紀念碑

贈北京僧某書 二篇

・「石川舜台書状」（14 に対する批正を記す）

14 与本然上人書（石川舜台の清人宛書状の代作）

・「石川舜台書状」（15 に対する批正を記す）

15 与北京僧某尊者書（石川舜台の清人宛書状の代作）

与清国北京某上人書草案 二篇

16 与清国北京本然上人書

17 与北京僧某尊者書

与清国北京僧某書 二篇

18 与清国北京本然上人書

19 与北京僧雍和宮洞闊爾呼図克図書

祥刑記

20 赤縄奇談（第一、三局、冒頭には「祥刑記／江門 菊

池純子頭／大岡氏別記／赤縄奇談第一局」とあり）

21 曾呂里新左衛門伝（中絶）

22 赤縄奇談（第四、五回、冒頭には「祥刑記／江門 三

溪居士著／大岡氏別記／赤縄奇談第四回」とあり）

23 直助権兵衛

24 「無題」（大岡政談）

25 弁生母後母

26 小櫃与五衛門直言

27 大河内節儉

【二六】四照園詩触（4・06／シ／3貴）

①分量 二卷二冊

②書型 縦一九・〇cm×横一二・一cm、第一冊肌色布目表紙、第二冊肌色表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙

表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 第一冊二二丁、第二冊一八丁

④外題 第一冊「四照園詩触（菊池三溪稿本）一」（表紙

左肩、子持梓書き題簽）、「四照園詩触」（一丁目

薄紙表紙左肩、打付書）、第二冊「菊池純稿／四

照園詩触 二」（表紙左肩、打付書）、「四照園詩

触」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 第一冊内題「四照園詩触卷一」、第二冊内題「四

照園詩触卷二」

⑥序跋 なし

⑦備考 詩話。第一冊三十九則、第二冊三十四則。末尾に

朱で書き入れられた安政三年（一八五六）の三溪

識語には「此篇余二十三歳之晩夏所撰」とあり。

これによれば天保十二年（一八四一）成立。第一

冊虫損あり。

⑧目次

第一冊

●四照園詩触卷一

1 「渙然而氷積、依然而理隨、作詩之妙訣」

2 「詩不苦吟則不巧」

3 「壬寅伊勢ニ遊ビシ折ノ詩」

4 「禽言之詩」

5 「壁耳壇口」ノ典拠

6 「換骨奪胎」「古人暗合」ノ例

7 「騎月雨、囚雨、私雨」

8 「用古人成語以為對仗」

9 「僻典」

10 「詠実盛詩」

11 「平仄両用字」

12 「某狹斜、雛妓「孤平」ヲ「小標」ト聞ク」

13 「加賀大岡円平（号空翠）題明智左馬介渡湖図詩」

14 「山元欽八歳時ノ詩」

15 「白月、黒月」

16 「蟬蛻詩」

17 「好対 文斎・詩仏」

18 「論人之詩、須以優柔漸漬之心論之也」

19 「早逝セル青衿某ノ詩」

20 「磨碑之妖 半斎詩」

21 「杜甫不作海棠詩」

- 22 「詩筆」
- 23 「清女紫媛」
- 24 「都下坊間技人ノ珍芸 文齋詩」
- 25 「改人之詩」
- 26 「野村篁園集句詩 採花集」
- 27 「玉川金谷翁題大江山図詩」
- 28 「金橋櫻花」
- 29 「疎影橫斜」句ニツキテノ楊升庵ノ説
- 30 「新自腐出、潔自汚生。明七子詩一變シテ宋詩ト為ルモ故有リ」
- 31 「築毬」
- 32 「韻脚未妥、字面生硬、敲推或不及者、換韻精思、別構手段」
- 33 「人之短易知、己之短難察」
- 34 「尋常言語文章、一上才人騷士之舌頭、咳唾皆玉」
- 35 「宋張南湖集、友人某所藏、三溪ヲシテ其最者ヲ採択セシム。他日考訂將上梓」
- 36 「一老儒、李白詩タルニ氣付カズ添削ス」
- 37 「紙鳶」
- 38 「魚勞則尾赤、人勞則髮白、草木亦勞則赤」
- 39 「賴杏坪「題源鎮西所用羊頭古鏃摸本詩」」

第二冊

- 四照園詩舐卷二
- 40 「盛唐詩、中晚唐詩、宋詩ノ比較」
- 41 「佳句ニ好対ヲ要スルコト」
- 42 「古木ヲ伐ルヲ止ムル詩。隨園詩話、東谷贅言、元詩選ニ作者ヲ異ニシテ載ス」
- 43 「上清江（字馬德）「題蘇武図」詩中一聯」
- 44 「元陳孚「博浪沙」詩」
- 45 「樵石梁「与某生書」
- 46 「柳灣「題公子折花図」詩。文齋老人ノ添削」
- 47 「日香、土香」
- 48 「布揖（字子文）「春尽」詩」
- 49 「秋霖称梅雨」
- 50 「画虎類猫 張文潛「虎図」詩」
- 51 「猴坊詞」
- 52 「曹操疑塚」
- 53 「文齋老人熟文選」
- 54 「老人和因是翁詩」
- 55 「杉葉長（名載之、字伯斐）」
- 56 「伯斐言、我胸中不古不今、但有天保年間之風然而已。山陽言、緑堂胸無唐無宋、唯有文政丁亥七月十四日、余眼無洛陽無長安、唯有三樹村」
- 57 「四五年前、赴五山唸社、塾課遇以秋社命題」

- 58 「石川艇齋」  
 59 「艇齋「十春詞」」  
 60 「松魚」  
 61 「狼入詩料」  
 62 「同事重出、陰陽ノ分アラバ却ツテ妙」  
 63 「作詩須要平淡」  
 64 「杜牧「江南春」詩中、「千里」ノ語ハ「十里」ト改ムベシ」トスル楊升庵ノ説ヲ駁ス」  
 65 「田礪齋」  
 66 「七言詩、承句ヲ重ンズベキコト」  
 67 「九月十三夜」  
 68 「蒲牢、鯨魚 文齋詩」  
 69 「赤壁賦中、洞簫ヲ吹ク客、楊世昌ナリトスル説」  
 70 「詩成ラザレバ巨觥三酌ヲ強ヒラルルモ佳句ヲ得テ免ル」  
 71 「玉厓道人「西駅竹枝詞」」  
 72 「上田陸舟詠物詩」  
 73 「陸舟詠史詩」

【二七】学聚堂存稿（4・07／カ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・五cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 三二丁

④外題 「学聚堂存稿（陽曆集／鴨沂涼棚詩／京甸風土詩）」  
 （表紙左肩、単梓書き題簽）

⑤内題等 同録題「学聚堂存稿（癸酉）／目錄」、内題（一）「陽曆集」、内題（二）「鴨沂涼棚集」、内題（三）「京甸風土詩」

⑥序跋 「陽曆集」「鴨沂涼棚詩」には自序あり

⑦備考 表紙右下隅に「癸酉」と朱書。明治六年（一八七三）、京都で詠んだ詩を収める。

⑧目次

※目録

●陽曆集

※「自序」

1 観新曆（七律）

2 内国旗章歌（七古）

3 春寒小酌（七絶）

4 種菊（七絶）

- 5 題黃石、寄贈岡本君（七古）  
6 淀城小寓所見（七絕）  
7 〽 26 京華雜詠（七絕二十首）  
27 〽 28 袖雲石（七律二首）  
29 〽 37 名花十二客（折九）（五絕九首）  
38 聞人話西湖（七絕）  
39 〽 40 遊桃山（同人社宿題）（七律二首）  
41 海上所見（五絕）  
42 題洛書硯（七古）  
43 〽 44 春江游鯉圖（七絕二首）  
45 盆梅（五絕）  
46 〽 47 昭君紙鸞（七律二首）  
48 插秧歌（七古）  
49 〽 50 六月初五、同黃石・双橋二詞宗、遊于若王子林亭、分綠陰芳艸句、得花字（七律二首）  
51 〽 55 菟道懷古五首（七絕）  
56 菟道途上（七絕）  
57 夏初偶作（七律）  
58 旅夜聞水鷄（七絕）  
59 書扇贈歌者（七絕）  
60 〽 61 泛舟過友人水莊（七絕二首）  
62 〽 63 丹州道中二首（七絕）

- 64 避暑僧寮（七絕）  
65 讀茶經（同人社課題）（七古）  
66 〽 67 折桜花贈外國人（七絕二首）  
68 皆春亭初觀梅花（七絕）  
69 〽 70 蠟梅（七絕二首）  
71 田素心生、近日將之南紀。付以一詩、贈菊池海莊、兼似冷雲、袖岡（七律）  
72 早起看牽牛花（七絕）  
73 〽 87 昆虫二十詠（折十五首）（五絕十五首）  
88 〽 89 蓮塘（七絕二首）  
90 蛩灯（七律）  
91 〽 96 印須社諸友贈詩（原十四首）（七絕六首）  
97 〽 100 今茲明治六年七月一日、西京中覺落成開講。純特命恭講鶴皇記、退記其盛事（七絕四首）  
101 〽 102 送岡本黃石翁北遊（七律二首）  
● 鴨沂涼棚集  
※ 「自序」  
103 三条橋納涼。同羽峰・鳳陽・天江・双橋・精堂諸友（七絕）  
104 八月一日、同羽峰・支峰・鳳陽・天江・水香諸人、飲于鴨沂涼棚。此日校印須舍詩文稿（七律）  
105 蟬丸彈琵琶圖（印須舍課題）（七古）

- 106 菊池武時射蛇神図〈素心生囑〉（七絶二首）  
 107 題画（七絶）  
 108 万里公諫竜馬図（七絶）  
 109 成島柳北過訪、卒相携飲鴨厓月波楼（七絶七首）  
 110 秋立（七絶）  
 111 昔公愛梅図（七絶）  
 112 秋興（七律）  
 113 北野菅廟作（七絶）  
 114 二曾復讐図（七絶）  
 115 大磯阿虎吊曾我二孤図（七絶）  
 116 過廢園有感（七絶三首）  
 117 過逢坂至大津駅途上（七絶）  
 118 高平太着高履図（七絶）  
 119 秋海棠（七絶）  
 120 俊寛島中惜別図（七絶三首）  
 121 擁爐読史（七絶二首）  
 122 九月十八日、林双橋、会同社諸友于高台寺、觀胡枝花。  
 分韻、得青字（七絶）  
 123 過池大雅旧跡（七絶）  
 124 高台寺所見（七絶）  
 125 東山四時詞。贈舞妓小玉（七古）  
 126 訪島柳北鴨涯寓居（七絶）  
 127 高雄。題和氣公廟壁〈同人社課題〉（七古）  
 128 東山温泉（七絶）  
 129 雪日觀練兵（七絶五首）  
 130 題石（五絶三首）  
 131 靈芝図（五絶）  
 132 得意（七絶）  
 133 修学寺（七絶四首）  
 134 新田左中将沈宝劍図（七絶二首）  
 135 送成島柳北東轅（七絶）  
 136 宇治黄檗山（七律二首）  
 137 叩氷煎茗（七絶）  
 138 掃塵行（七古）  
 139 除夜偶作（七絶）  
 140 寒鐘。倣蔣藏園体（七律）  
 141 臘月十八日、同林双橋、訪岡本黄石翁。坐有女史翠蓮（七律）  
 142 除夕、賽祇園祠（七絶）  
 143 京甸風土詩  
 144 宿下鴨村水亭〈愛宕郡〉（七絶）  
 145 翠竹亭即事（五律）  
 146 詩仙堂（七絶四首）  
 147 黄門藤房公髻塚〈在于岩倉村実相院〉（七絶）



- 173 〽 174 岩倉村途上（七絶二首）  
 175 〽 177 小出石山中（五律三首）  
 178 原地村道中（七絶）  
 179 〽 181 二瀬村謁羅山先生真影（七絶三首）  
 182 僧房（七律）  
 183 近郊所見（七律）  
 184 〽 186 御室途上。寒雨俄至（以下葛野郡）（七絶三首）  
 187 酒醒（七絶）  
 188 梅宮途上（七絶）  
 189 嵐峽宿杜鵑亭（七律）  
 190 〽 191 再過嵐峽。此日寒雨屢至、殊覺山水加秀麗（七絶二首）  
 192 〽 194 宿月亭（七絶三首）  
 195 曉發嵐山（七絶）  
 196 梅尾（七律）  
 197 謁和氣清麻呂公廟。廟在高尾山絶頂（七絶）

【二八】荷香松影樓小稿（4・07／カ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・四cm、黒色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 一六丁

④外題 「荷香松影樓小稿（菊池三溪手稿／諸名家批評）完」（表紙左肩、子持梓書き題簽）

⑤内題等 内題「荷香松影樓小稿（丁丑）」

⑥序跋 自序

⑦備考 明治十年（一八七七）三月、三条河原町の如雨之亭から「忍菴逢坊」の荷香松影樓に転居以降、同年中の詩を収める。

⑧目次

※「自序」

- 1 梅辺歩月（七絶）  
 2 〽 4 新柳（七律三首）  
 5 〽 6 祇園街（七絶二首）  
 7 春曉書事（七絶）  
 8 如雨亭小集。与石津子儉同賦得紫字（七絶）  
 9 〽 13 浴鳧（七絶五首）  
 14 〽 18 論詩（七絶五首）

19 東山酒樓看彼岸櫻。此日春陰微雨（五律）

20 四月十五日、携家遊仁和寺。早櫻已謝、而晚櫻未開。

步至上方、台殿古雅、竹樹幽邃、実寿永中、平經正奉還西山琵琶、訣別法親王处。俯仰感愴、追憶往昔、行唸低回、獲二十八字。出腰間墨斗、墨斗墨乾、不克作字。乃滴花間露、淬筆題其門欄（七絕）

21 3 22 三月二十七日、同黃石翁・成島詞兄、飲于東山明秀樓、尋琴水女史亦至焉。席上分韻（七絕二首）

23 25 明秀樓酒間、賦似琴水女史（七律三首）

26 春曉即事（五絕）

27 乳雀（五古）

28 賀鷗隣中田翁五十初度（七絕）

29 30 美人臨書圖（七絕二首）

31 臨古帖（五律）

32 食新茄（七古）

33 34 四月二十五日、石子儉見訪、留而小酌。明日子儉有詩見贈。賦此答謝（七律二首）

35 丁丑四月念六日、花頂唸社詩会、以春雨訪友為題、限以七律。此日会者、船山、天江、双橋諸同人、併予都六人也。晡時穀雨如油、藥欄落花將殘、適甚（七律）

36 新緑（花頂唸社席上掲題）（七絕）

37 38 魚苗（七絕二首）

39 40 斷梅（七絕二首）

41 碧梧（七絕）

42 43 次韻家溪琴大人見贈、却寄（七絕二首）

44 45 八月一日、同諸友避暑于糺林水亭。此日輕雷小雨俄來、既而呈晴（五律二首）

46 48 糺林雜詠（七絕三首）

49 新京極街途上（七絕）

50 秋夕思郷（七律）

51 小督墓（七絕）

52 56 東山食洋饌（七絕五首）

57 58 九月十六日、過高台寺、胡枝花正盛（七絕二首）

59 60 秋懷。次石子儉韻（七律二首）

61 敗荷（七律）

62 67 冬菜（七絕六首）

68 市原野懷古（七古）

69 寒鴉枯木図（五古）

70 漁家雪（七絕）

71 長樂寺（七絕）

72 73 誦孟嘗君伝（七絕二首）

74 祝大谷老法主還曆寿（五古）

75 詠風（七絕）

76 詠松寿、寿某大教正六帙（代人）（七絕）

77 寒冬即事（五絶）

78 六条帰途所見（七絶）

79 ～ 80 寒江釣魚図（大谷氏課題）（七絶二首）

81 ～ 82 歳市買梅（同上）（七絶二首）

83 ～ 84 雨夜雪意（七絶二首）

85 栽柳（七絶）

86 ～ 88 読新橋佳話、寄贈秋風道人（七律三首）

89 ～ 92 寒月（大谷氏課題）（七絶四首）

【二九】京華集（4・07／ケ／1貴）

①分量 二卷一冊

②書型 縦二二・二cm×横一三・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一六丁

④外題 「京華集」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「京華集 一」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「京華集卷之一」「二」

⑥序跋 自序（元治元年三月）

⑦備考 元治元年（一八六四）、滞京中の作を集める。

⑧目次

※「自序」

●京華集卷之一

1 訪靄山山人溪山無尽楼于鴨厓、招竹外老人小酌。此日雪大起、適甚（七律）

2 ～ 11 溪山無尽楼、寄題十首（七絶）

12 箱根（七律）

13 知恩院（七絶）

14 又戲題一絶（七絶）

15 清水閣上、觀風雪映山来（七絶）

- 16 訪劉石舟老人（七律）
- 17 清水慈雲閣（五律）
- 18、19 北野普廟二首（五律）
- 20 嵐山（七古）
- 21 四条橋（五律）
- 22 凹軌行（過大津駅有感。作凹軌行自勉）（五古）
- 23、24 小倉山（在嵯峨野）（五絕二首）
- 25 祇園（七古）
- 26 金閣寺（七古）
- 27、28 銀閣寺（閣在東山山陬）（七絕二首）
- 29 北山觀鹿園公茶寮。寮有南燭柱（五律）
- 30 盆栽小桜（七絕）
- 31 二月初四日、同渭川・洞海二老、訪香川某水莊。水莊在鴨涯深林中、水木清華、幽邃可喜也（七律）
- 32 鴨東散步、過紅蘭女史門外（七絕）
- 33 近日京城魚佃連城。戲賦呈王城公（七絕）
- 34、35 詩仙堂（五律二首）
- 36 油菜花（七律）
- 37、38 春雨鳴鳩（七絕二首）
- 39 如月十六日、特旨賜花糕及梁肉。恭賦長句、記其恩榮（七古）
- 40 本多中書戎裝提槍図（七絕）
- 41 花影（七律）
- 42、43 備後三郎書桜樹図（七絕二首）
- 44 宮鶯囀曉光（七律）
- 京華集卷之二
- 45、46 詠清正公（賜題）（七律二首）
- 47 紫宸殿庭上、拝觀伶人奏舞樂。因賦蕪詞一章、記其恩榮。時甲子三月九日也（七絕）
- 48、49 鯉魚図二首（七絕）
- 50 通天橋（七絕）
- 51 花後出城書所見（七律）
- 52 春晚次韻似新見存齋（七絕）
- 53、55 甲子春晚、伏見騎士橫田生、拉余、漁于菟道川、獲鯉魚數頭。此日、煙雨濛濛、兩岸新樹、蒼翠如滴、四顧杳渺、人影稀少、殆忘躬之在羈旅中也。舟中得三絕句（七絕三首）
- 56、57 紫女湖樓修源語図二首（七絕）
- 58 新梧清昼（七絕）
- 59 楊妃教金經鸚鵡図（七絕）
- 60 若王子後園散策（五律）
- 61 牡丹（七絕）
- 62 賽方広寺觀其殘礎旧趾（七古）
- 63 五月八日、將登京畿、賦一絕、書寓齋壁（七絕）

64 儼舟下澱江（七律）  
65 大坂（七律）

【三〇】兼葭一枝（4・07／ケ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・三cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四  
つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙  
を付けて綴じ直している）

③丁数 七丁

④外題 「菊池純稿／兼葭一枝 単」（表紙左肩、打付書）、  
「兼葭一枝 単」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「兼葭一枝卷之一」

⑥序跋 なし

⑦備考 大坂の名所を巡って詠じた詩を収める。詩にはそ  
れぞれ自注を付し、各所の概況・所感を記す。内  
題「兼葭一枝卷」までは貼り紙、下には「浪江竹  
枝卷」とあり。また内題次行には「鉄屏学人戲詠」  
とあり。

⑧目次

1 天保山（七絶）

2 高津宮（七絶）

3 浪華亭偃蓋松（七絶）

4 住吉（七絶）

5 天下茶屋（七絶）

- 6 妙国寺鉄蕉樹（七絶）
- 7 左海浦（七絶）
- 8 旭亭（七絶二首）
- 9 天王寺（七絶）
- 10 茶臼山（七絶）

【三一】 皇朝新擬樂府（4・07／コ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・六cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一四丁

④外題 「皇朝新擬樂府（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「皇朝新擬樂府 完」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「皇朝新擬樂府」

⑥序跋 なし

⑦備考 詠史詩を掲げ、それに関わる史実を記す。序跋はないが、二丁目（遊紙）の柱には「自序 一」とあり。

⑧目次

- 1 浄海頭（七古、平清盛）
- 2 飯粒墜（七古、平将門）
- 3 簞挿梅（七古、梶原景季）
- 4 傘工児（七古、平宗盛）
- 5 繰糸（七古、静御前）
- 6 十二史（七古、金剛山）

- 7 土窖（七絶、護良親王）  
 8 佩竹枝（七古、足利義輝）  
 9 本能寺（七古）  
 10 黄八幡（七古、北条綱成）  
 11 除夜雪（七古、武田晴信）  
 12 怒雪（七古、柴田勝家）

【三二】香雲樓詩鈔（4・07／コ／2貴）

- ①分量 二卷二冊（原三卷三冊、地冊（卷二）欠）  
 ②書型 縦二・三cm×横一三・五cm、水色表紙、康熙綴じ

- ③丁数 天冊三〇丁、人冊二〇丁

- ④外題 「香雲樓詩鈔」□「人」<sup>（表紙）</sup>（表紙左肩、単梓書き題簽）

- ⑤内題等 天冊内題「香雲樓詩鈔卷之一」、人冊内題「香雲樓詩鈔卷之三」

- ⑥序跋 友野霞舟序（嘉永元年十月）、斎藤南溟序（嘉永元年四月）、長戸得斎「香雲樓詩鈔序」（嘉永元年十二月）、遠藤鶯谷「香雲樓詩集序」（嘉永元年十月）

- ⑦備考 弘化二年（一八四五）春から弘化四年にかけての作を収める（ただし、天保十三年（一八四二）帰郷時の詩を含む）。

⑧目次

天冊

- ・[序]（友野霞舟）
- ・[序]（斎藤南溟）
- ・香雲樓詩鈔序（長戸得斎）

・香雲樓詩集序（遠藤鶯谷）

●香雲樓詩鈔卷之一

- 1 梅花吟（五古）
- 2 楼上望紙鷲（七絕）
- 3 乙巳元旦（七律）
- 4 人日口号（七絕二首）
- 5 詠大沼子寿天保樂府（七律）
- 6 春半郊行（七絕）
- 7 風梅（七絕）
- 8 春晚書懷（七律）
- 9 深川晚暝矚目（五律）
- 10 春雨種菊（七絕）
- 11 平蟹行（七古）
- 12 備後三郎題詩桜樹図（七絕二首）
- 13 春遊六言（六言八句）
- 14 題家藏伊藤五子書幅（七古）
- 15 花鳥題画十二首（今録六首）（五古六首）
- 16 活東（七律）
- 17 觀化（七絕）
- 18 落花。次文衡山韻（七律九首）
- 19 殿山晚暝（七律）
- 20 宝泉精舎所見（七絕）
- 21 二分春色到花朝（五律）
- 22 子日興（以下十首和歌題）（七絕）
- 23 海夕立（七絕）
- 24 浦千鳥（七絕）
- 25 秋曉（七絕）
- 26 草菴雨（七絕）
- 27 静姫（七絕）
- 28 待宵恋（七絕）
- 29 俄変恋（七絕）
- 30 眉（七絕）
- 31 足（七絕）
- 32 題画（五絶）
- 33 納涼（七絶二首）
- 34 秋園即事（七絶）
- 35 窮鬼図（七古）
- 36 木犀雨（七律）
- 37 予讓刺衣図（七絶）
- 38 晚秋念七日、遊十二社。途中謾吟五首（五律）
- 39 湖上寓目（五律）
- 40 冬日雜詠（七絶二首）
- 41 初冬十二日、青山途上所見（七絶）
- 42 鉄砲洲觀狼煙技（原六首）（七絶二首）



- 65 江村避暑（五律）  
 66 秋晴出遊（七絕）  
 67 荷珠（七律）  
 68 題南極老人圖（五絕）  
 69 ∽ 70 蟬蛻（七律二首）  
 71 憎蚊〈集詩經語〉（五古）  
 72 秋夜宿山寺（七絕）  
 73 送長尺蠖之南紀（七絕）  
 74 初夏幽居（七律）  
 75 老鷗（七律）  
 76 小松川途上（七絕）  
 77 小金原（七律）  
 78 雪中柳（七律）  
 79 古川村途上（七律）  
 80 和州道中侍輿（七律）  
 81 登高峰臨眺和河撰紀泉諸州（五古）  
 82 勢州道中顧望高峰（七律）  
 83 南紀寓舍雜興（七絕）  
 84 ∽ 89 余、以壬寅抵南紀、与客遊高松。帰途遇雨、有記。  
   又得六絕句。仍使弟敏造圖、以題其後（七絕六首）  
 90 ∽ 92 霜天晚興（七絕三首）  
 93 ∽ 94 雪中雜詩（七絕二首）
- 95 蘆花被（七律）  
 96 門外追涼（七絕）  
 97 虫語（七古）  
 98 村居秋霖（七絕）  
 99 夏日小占（七絕）  
 100 梅村踏月（七絕）  
 101 ∽ 124 猴稚坊竹枝（七絕二十四首）  
 125 寒夜讀書（五古）  
 126 冬日閑居（七律）  
 ・「評」（長戸得齋、関根成美）  
 （地冊・卷二欠）
- 人冊
- 香雲樓詩鈔卷之三  
 127 ∽ 128 度花鐘声〈丁未〉（七絕二首）  
 129 ∽ 131 開春与諸子同遊江東（七律三首）  
 132 西郊觀梅。寄似牧子徹（五律）  
 133 ∽ 137 詠筭作玉海坤輿圖識（五古五首）  
 138 ∽ 149 丁未鷄日、偶詠張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、  
   乃援筆得十二絕句（七絕）  
 150 ∽ 151 水中梅影（七絕二首）  
 152 月夜踏花影。擬韓偓体（七律）  
 153 ∽ 155 夏昼（七律三首）

156 前鳥鬼行（七古）  
 157 後鳥鬼行（七古）  
 158 哭岡本生（七絕二首）  
 160 花後遊殿山（七絕三首）  
 163 夏雲奇峰多（五古）  
 164 野渡送別圖（七絕）  
 165 梅雨得晴（七絕二首）  
 167 洗竹（七絕）  
 168 山水小景（五絕）  
 169 同牧子徹遊溜池（七律）  
 170 聞蛙（七律）  
 171 不忍池上寓目（七絕）  
 172 夏山雨意圖（七絕）  
 173 溪山雨晴圖（七絕）  
 174 春晚寓居漫成（七律三首）  
 177 次韻友人見贈（五律）  
 178 觀插秧（七律）  
 179 夏村居（七律二首）  
 181 夏夜偶成（七絕）  
 182 夜觀星象賦長句（七古）  
 183 利休煎茶圖（七絕）  
 184 秋夜詠山陽遺稿題其後三首（七律）

187 觀大高原吾与其角山人書牘引。賦贈霞舟翁。翁出督甲  
 學之時，獲之其鄉士某（七古）  
 188 画蘭（七絕）  
 189 中秋既望。賦似家溪琴（七絕）  
 190 秋尽書懷三首（七律）  
 193 初冬与友人同飯茜坂水樓（七律二首）  
 195 春日寄懷（七律八首）  
 203 冬夜校南溟先生詩文稿書其後（七律二首）  
 205 初冬念二日、訪榊醒梁。席間閱菅茶山集、有題第五隆  
 那智瀑布圖之詩。曰、要知飛流千尺壯、好就梅花書屋  
 看。醒梁曰、此句非余不能知其妙也。因語往昔介石山  
 人造瀑布圖、祖考西皐先生題詩其上、以贈故滄洲先生  
 之事。今皆散出失所在。純愴然不能無感。席上走筆、  
 用茶山翁韻、記其實（七古）  
 206 香奩體（七絕）  
 207 言志（七絕）  
 208 丁未歲晚、次韻醒梁先輩讀南溟詩集作（七律二首）  
 210 臘月十七日、訪乙骨菊圃、歸途過両国橋（七絕）  
 211 臘月十九日、風雪。訪醒梁梅花書屋、席上會閱春  
 草堂詩集。因用其歲晚書懷之韻、同賦（七律二首）  
 213 晋文公載塊圖（七絕）  
 214 首陽採薇圖（七絕）

215 牛穉風雪伴母図（七絶）

216 磐溪大槻文学、頃日刻其寧靜閣詩集。已成、辱見惠一本。因賦長句、答謝、兼似家溪琴老兄、遙懷浪華旭莊先輩。頃溪琴、旭莊二宗、亦將刻其集、故德懇之（七古）

217 寒夜枕上即事（七絶）

218 ～ 220 霜曉（七絶三首）

221 冬日見梅。贈山梅塢翁（七絶）

222 梅花。用甌北詩韻（七律）

223 ～ 232 詠旧古跡十首（七律四首、七古五首、七絶一首）

・「評」（長戸得斎、大槻磐溪）

【三三】高倉山房集・精細集（4・07／コ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・八cm×横一三・七cm、水色表紙、四つ目綴じ

③丁数 二〇丁

④外題 「高倉三房集 卷二／精細集 全」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題（一）「高倉山房集卷二（起己丑一月／尽其六月）」、内題（二）「精細集（起己丑七月／尽其十二月）」

⑥序跋 二集それぞれに自序あり。

⑦備考 表紙右下隅に「己丑」と朱書。明治二十二年（一八八九）の詩集。

⑧目次

●高倉山房集卷二（起己丑一月／尽其六月）

※「自序」

1 己丑元旦自述（五絶）

2 ～ 3 聞鴨東花事盛、賦此似人（七律二首）

4 読寛政三博士文集（七絶）

5 ～ 6 読古文有感（七絶二首）

7 観草木發生（七絶）

- 8 欄角（七絶）  
 9 沐猴舞蹈図（七絶）  
 10 澤上嬉春図（七絶）  
 11 詠梅（七絶）  
 12 苦寒（七律）  
 13 ～ 14 詠史（七絶二首）  
 15 春寒（七絶）  
 16 春夜（七絶）  
 17 ～ 18 蠢体二首（七絶）  
 19 花朝口号（七律）  
 20 ～ 22 琵琶湖疏水竣工祝宴。予亦与焉、喜而賦（七絶三首）  
 23 暮村（五律）  
 24 ～ 25 藤房諫童馬図（七絶二首）  
 26 ～ 30 詠史（七絶五首）  
 31 ～ 32 春曉（七絶二首）  
 33 折枝桃花図（七絶）  
 34 ～ 35 伏水桃山懷古（七絶二首）  
 36 ～ 37 白桃花二首（七律）  
 38 周郎（七絶）  
 39 ～ 40 書前後赤壁賦後（七絶二首）  
 41 新月（七絶）

- 42 船山草場翁紀念碑刻成、建之洛東禪林寺勸学院前。今茲四月廿日、門人、故旧胥議、行建碑儀。予亦与焉、有感、成長句四韻（七律）  
 43 盆池（五律）  
 44 五月二日、淫雨放晴、園中散步、書事（七律）  
 45 ～ 46 菜市（七絶二首）  
 47 ～ 51 題女鬼図五首（七絶）  
 52 ～ 55 落花四首（七律）  
 56 綺羅（五絶）  
 57 ～ 58 望筑楼図。為齋藤生（七絶二首）  
 59 春尽書懷（七律）  
 60 煙青（七絶）  
 61 蘋末（七絶）  
 62 梅花近（七律）  
 63 予、戊子夏、西游泊飛鸞台、望五竜山、有感弘安元寇事。慨然作長句（七古）  
 64 灌盆卉（七絶）  
 65 新涼夜坐（七律）  
 66 新鵲（七絶）  
 67 芳山踏雪図（七絶）  
 ●精細集（起己丑七月／尽其十二月）  
 ※「自序」

- 68 〽 69 断梅前一日作（七律二首）
- 70 白桜樹題詩図（七絶）
- 71 茅屋為風雨被破。賦一絶句（七絶）
- 72 〽 73 秋立後暑甚。山房書事（七絶二首）
- 74 〽 80 消暑雜詠（七律七首）
- 81 〽 82 天神橋納涼。此日游船如織、熱尤甚（七絶二首）
- 83 納涼（七絶）
- 84 蓮花絶句（七絶）
- 85 〽 89 秋晚書懷（七律五首）
- 90 赤日（七絶）
- 91 秋分日赴某詩会（五律）
- 92 八月四日、寓榻小酌賞月、有感（七律）
- 93 秋深（五律）
- 94 訣兒松歌。過桜井駅趾、有感、作長句（七古）
- 95 秋陰書事（七律）
- 96 祇王（七絶）
- 97 晚禾（七律）
- 98 麿寺（七律）
- 99 夜坐（七絶）
- 100 題画（七絶）
- 101 〽 102 題歲寒双清図。山尾生囑（七古二首）
- 103 老松図（七絶）
- 104 〽 105 題湖樓壁（七律二首）
- 106 春首寒甚（七律）
- 107 題画狗（七絶）
- 108 山村冬暮雜詠（七絶）
- 109 常盤雪行図（七絶）
- 110 田家除夕（七律）
- 111 十二月二十五日、大雲精舎忘年会招飲。予有事、故不赴。賦此际諸同人（七律）

【三四】辛亥存稿（4・07／シ／1貴）

①分量 二卷一冊

②書型 縦二三・七cm×横一五・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 二四丁

④外題 「辛亥存稿二卷（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「辛亥詩存（古今体通計 二十首／九十二首）」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「辛亥存稿「二」」

⑥序跋 なし

⑦備考 嘉永四年（一八五二）の詩集。

⑧目次

●辛亥存稿

1 辛亥元旦（五律）

2 書海莊山人読詩十三首後（七律）

3 薩摩守忠度過滋賀荒墟図（七古）

4 題画（七絶）

5 〽 12 読環海異聞八首（七絶）

13 紫式部古硯図引（七古）

14 春曉聞鐘（七絶）

15 春夜（七絶）

16 青郊帰牧（七絶）

17 忠盛捉鬼図（七古）

18 笑（七律）

19 涙（七律）

20 髪（七古）

21 読鄭大木伝（七古）

22 赤壁図。偶読方孝孺贊、用其意（七絶）

23 読板倉氏伝（七律）

24 読木村重成伝（七律）

25 粧閣行（七古）

26 春日偶感。寄冷雲道人（七絶）

27 斎藤竹堂過訪。賦畧（七律）

28 〽 29 諸葛武侯像贊（七絶二首）

30 〽 34 春晚、連日霖雨、無聊。偶得足疾、経旬、不瘳。因以唸哦排悶、得五首。此日、殘花新緑、適甚（七律

五首）

35 山本子憲所過。寄际其嘗所輯事實文編（七律）

36 遷上所見（七絶）

37 薩摩守忠度与藤黄門俊成叙別図（七古）

38 〽 39 災後書事（七絶二首）

40 〽 47 告天子八首（五絶）

48 賜春衣歌（七古）

●辛亥存稿二

49 苦吟十韻（七古）

50 木硯行（一曰櫻精行）（七古）

51 〽 60 讀野史（七絕十首）

61 立石生、被惠園中棗子。賦此謝（七律）

62 外祖父鷺湖翁三周忌日。賦此詠諸同人（七律）

63 僧西行詠秋図（七絕）

64 美人彈箏図（七絕）

65 〽 66 王子村途上（七絕二首）

67 〽 69 秋村小景（七絕三首）

70 冬景（七絕）

71 〽 72 題画二首（五絕）

73 瓶中二色菊花（七絕）

74 〽 75 初冬夜坐（五律二首）

76 〽 77 詠梅花（七絕二首）

78 千樹原所見（七絕）

79 嘲医生（七律）

80 扇面小景（五絕）

81 江都図（七律）

82 江樓曉望（七絕）

83 〽 85 辛亥臘月、西阜先生所著三山記略剞劂竣工。賦以

呈家君（七絕三首）

86 臘尾作（七絕）

87 〽 92 讀稗史（七古六首）

【三五】重簾淺夢余稿（4・07／シ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・五cm×横一五・三cm、水色表紙、四つ目綴じ

③丁数 一〇丁

④外題 「重簾淺夢余稿」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「重簾淺夢余稿（起丙戌一月／畢其十二月）」

⑥序跋 自序

⑦備考 明治十九年（一八八六）の詩集。

⑧目次

※「自序」

1 春寒（七絶）

2 3 菜花二首（七律）

4 清明書事（七律）

5 高青邱（七絶）

6 常盤（七絶）

7 韓信（七絶）

8 項羽（七絶）

9 四月十日偶作（五律）

10 司馬牛（七絶）

11 分牽牛苗（七絶）

12 一月四日、次韻石津子俛見贈、却寄（七律）

13 三月十日、錦谷相良君招飲。用主人詩韻、送其赴任于

鹿兒島（七律）

14 桃（五絶）

15 柿（五絶）

16 穀雨（七絶）

17 3 夏初郊行所見（七絶二首）

19 読唐順宗紀（七絶）

20 范蠡泛湖図（七絶）

21 3 22 蛭笛二首（七律）

23 3 26 読義経再興記（七絶四首）

27 買盆栽（七絶）

28 3 32 秋夏交、小園牽牛花盛開（七絶五首）

33 浴余書事（七絶）

34 櫛声（好文社課題）（七律）

35 万寿盃歌。孟藤田東湖翁遺物、蓋祝石川桃溪米寿之物。

賦応素心子需（七古）

36 梧桐疎雨（七絶）

37 天灯（七律）

38 3 39 浪華雜詠二首（七絶）

40 秋芳（七絶）

41 秋尽（七絶）



42 夜市（七絶）

43 ～ 44 白菊（興文社課題）（七律二首）

45 月下美人図（谷嚶斎嘱）（七絶）

46 ～ 47 花月雜誌題詞（七絶二首）

48 雪竹図（五絶）

【三六】酒痕灯影詩（4・07／シ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・四cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 九丁

④外題 「酒痕灯影詩（菊池三溪手批）」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「酒痕灯影詩」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「酒痕灯影詩」

⑥序跋 自序「自題酒痕灯影詩」（明治四年十月）

⑦備考 明治四年（一八七二）秋、南総・東京に遊んだ際の自身の詩と師友唱和の詩を収める。当時三溪は土浦在住。

⑧目次

※自題酒痕灯影詩

1 ～ 2 禹宿道中二首（七絶）

3 飲馬湖（七絶）

4 成田山（七律）

5 佐倉（七律）

6 訪依田百川、和其東京留別詩韻、寄贈（七律）

7 信宿田中士忠從吾軒（七絶）

8 宿登戸狎鷗亭（五絶）

9 〽 10 木更津途上（七絶二首）

11 似狎鷗亭主人（五律）

12 佐倉客舍、談及義民宗吾事、慨然作歌（七古）

13 訪磐溪先生于石原喬居（以下東京寓中作）（七律）

14 又賦一絶句呈（七絶）

・三溪子見訪時、余七十一、三溪五十四。因次韻以述其意（七絶、大槻磐溪）

・「次大沼枕山墨水春嬉詩韻」（七律、大槻磐溪）

15 〽 16 和磐溪先生墨水春嬉詩韻二首（七律）

17 酒後陪先生訪成島柳北途上作（七絶）

・再用前韻（七絶、大槻磐溪）

・辛未九月念七日、磐溪先生、三溪詞兄見訪。席上次見似韻（七絶、成島柳北）

18 成島君席上、再次前韻（七絶）

・再用前韻、似二君（七絶、成島柳北）

19 〽 20 九月念八、柳北詞兄邀予飲二洲橋水樓。枕山先輩尋至。醉後援筆、似二詞宗（七律二首）

21 〽 23 柳橋新誌二編題詞（七律三首）

24 〽 25 輓塩田松園老人（七律二首）

・留別東京諸友（七律、依田学海）

・三溪先生及四君過訪、喜有作（五律、田中士忠）

【三七】小西湖雜詠（4・07／シ／4貴）

①分量 一冊

②書型 縦一九・八cm×横一二・九cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 一〇丁

④外題 「小西湖雜詠（菊池三溪稿本）単」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「小西湖雜詠 単」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「小西湖雜詠」

⑥序跋 二丁目に自序を記すも抹消

①備考 不忍池（小西湖）周辺を詠じた詩。各所の景況を記した自注を付す。抹消された自序には「近日予屏居于谷莊」とあり。【一一】『学聚堂遺稿』（4・05／カ／3貴）所収<sup>137</sup>「松園塩田先生墓表」には「乙丑、余以病致仕、屏居于城北谷中村」とあることから、「乙丑」すなわち慶応元年（一八六五）頃の作かと思われる。一丁目は遊紙だが、柱には「小西湖詠 卷一 題詞一」とあり。

⑧目次

※「自序」（抹消）

- 1 「狐王廟」（七絶）
- 2 「六弥陀」（七絶）
- 3 ～ 4 「両大師」（七絶二首）
- 5 「白山」（七絶）
- 6 「妾寡居」（七絶）
- 7 ～ 8 「堤上花卉」（七絶二首）
- 9 ～ 10 「魔利支天」（七絶二首）
- 11 「麦湯」（七絶）
- 12 「閘口捕魚」（七絶）
- 13 ～ 14 「根津権現」（七絶二首）
- 15 「天女祠」（七絶）
- 16 「投菓亀魚」（七絶）
- 17 「松源蓬萊」（七絶）
- 18 「清凌」（七絶）
- 19 「歌妓姉妹」（七絶）
- 20 「歌妓薄命」（七絶）
- 21 ～ 22 「晚秋」（七絶二首）
- 23 「湯島」（七絶）
- 24 ～ 25 「臘末寒沍」（七絶二首）
- 26 「快快亭」（七絶）

【三八】紫藤架下小池頭喰草・小西征詩・四年五回移居集

(4・07/シ/5貴)

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・六cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 二〇丁

④外題 「紫藤架下小池頭喰草／小西征詩／四年五回移居集」(表紙左肩、打付書)

⑤内題等 内題(一)「紫藤架下小池頭喰草(乙亥)」、内題(二)「小西征詩」、内題(三)「四年五回移居集(乙亥十月／已後小稿)」

⑥序跋 三集それぞれに自叙あり。「紫藤架下小池頭喰草」の序は明治八年二月八日付

⑦備考 表紙右下隅に「四」と朱書。「紫藤架下小池頭喰草」は、「御池巷」居住の時期、明治八年(一八七五)春から十月までの詩を収める。「小西征詩」は明治八年十月、大阪・神戸・奈良に旅した折の詩を収める。「四年五回移居集」は明治八年十月六条枳殻馬場転居後の詩を収める。

⑧目次

●紫藤架下小池頭喰草(乙亥)

※「自序」

1 鴨東早春(七律二首)

3 小島高德題詩図(七絶)

4 蛭吻行(一曰魚虎行)(七古)

5 後蛭吻行(七古)

6 一月十八夜、夜半酒醒、月色奇明、觀樹影上窓、皆作奇鬼猛獸狀。援筆写其所見(七古)

7 牧牛図(七絶)

8 雪日、独酌鴨西旗亭、隣楼有按歌曲者。其声凄婉、自然動人。酒後題一絶句于壁間(七絶)

9 小窓梅影(七絶)

10 春雨雨鳴鳩(七絶二首)

12 二月六日、赴大賀旭川招宴。此日風雪(七絶)

13 与友話別(七絶二首)

15 桃花游魚図(印須課題)(七絶)

16 春山晴遠図(梅亭女史囑)(五絶)

17 時様(七絶二首)

19 用広瀬青村留別詩韻却寄(七律二首)

21 磐溪大槻翁西游。余与諸子同邀翁、飲于鴨西竹葉亭。坐有蓬生女史(七律二首)

23 席上賦似諸同人(七絶)

24 六月十一日、東本願寺諸子、邀飲磐溪翁及都下諸

名流于東山第一樓。酒間有詩。索和諸子（七律二首）

26 磐溪先輩詩先成。席上和其韻（七絕）

27、28 夏意（五律二首）

29 平相國（七絕）

30、32 觀都踊（七絕三首）

33 錢送大槻磐溪翁歸東京、与知恩大教正松影尊者同賦（七律）

34、35 記園中草木。傲坡公体（五古二首）

36 暮渡鴨川（七絕）

37 快雨（五絕）

38 夜市買虫（七絕）

39 雖設（七律）

40 中秋無月（七絕）

41 勸業場図（七絕）

●小西征詩

※「自序」

42 駕汽車抵神戸。車中叙所見、作汽車行（七古）

43 神戸（七律）

44 過須磨浦、有語村雨松風之故事者。悵然有此作（七絕）

45 舞妓浜（五絕）

46 須磨寺瞻敦盛遺像、觀其所愛橫笛（七古）

47 湊川楠公墓下作（五古）

48、49 宿明石謁人丸祠（七絕二首）

50 須磨途上（七律）

51 過一谷、有感源平興亡事。慨然作歌（七古）

52 過平敦盛墓下、追懷武州知章殉節之事（七絕）

53 河內途上（七絕）

54、55 春日祠外、見麋鹿作群、戲作詠鹿詩（七律二首）

56 二月堂（七絕）

57 三笠山（七絕）

58 和州道中（七絕）

59 東大寺瞻盧舍那仏作歌（七古）

●四年五回移居集（乙亥十月／已後小稿）

※「自序」

60 十月三日、同双橋・百年、游西大谷、看殘荷于池上。

分坡公句、得荷字（七律）

61、62 舍北搖落景殊佳（五律二首）

63、64 十月念六日、游金閣寺（七絕二首）

65 寒灯課子（七絕）

66 高瀬川（六言八句）

67 殘照（五律）

68、69 楠公訣子図（七絕二首）

70 琴水女史詩稿題詞（七律）

71 常盤雪行図（七絕）

72 古仏（七律）

73 歳杪書懷（七律）

74 乙亥除夕（七絶）

【三九】晴雪楼余稿（4・07／セ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・八cm×横一五・九cm、黄土色布目表紙、  
四つ目綴じ

③丁数 二三丁

④外題 「晴雪楼余稿 乾」（表紙左肩、子持粹書き題簽）

⑤内題等 内題「晴雪楼余稿卷之一」

⑥序跋 菊池梅軒「題辭」（安政六年二月）

⑦備考 嘉永四年（一八五二）から安政元年（一八五四）

にかけての詩を収める。浄書稿。梅軒「題辭」は  
本文とは異なる料紙に清書したものを匡郭に沿つ  
て切り取り、白紙に貼り付けた状態で、綴じられ  
ている。

⑧目次

・題辭（菊池梅軒）

1 辛亥元旦（自辛亥至甲寅）（五律）

2 題画（七絶）

3 春夜（七絶）

4 青郊帰牧（七絶）

5 忠盛捉鬼図（七古）

6 笑（七律）

- 7 淚（七律）
- 8 髮（七古）
- 9 詭板倉氏伝（七律）
- 10 詭木村重成伝（七律）
- 11 粧閣行（七古）
- 12 災後書事（七絶）
- 13 苦唸十韻（七古）
- 14 江都図（七律）
- 15 湯島酒樓眺寬永寺花（以下壬子稿）（七絶）
- 16 詭海莊山人鴨東諸作、綺麗芊綿、情景兼到、使人魂飛肉消、不堪擊節。乃用其韻得長句（七律）
- 17 題鴨東雜詠詩卷後（七律）
- 18 春林欲雨（七絶）
- 19 太田道灌借蓑衣図（七絶）
- 20 春晚微疴、徹夜不得就眠。枕上謾唸（七律）
- 21 22 築地廨舍雜唸（七律二首）
- 23 聞醒梁學士命教導職、喜賦（七律）
- 24 25 秋園蚤起見牽牛花（七律二首）
- 26 築地公園所囑（七律）
- 27 桂花絶句（七絶）
- 28 西山公（七律）
- 29 広尾途上（七絶）
- 30 新涼詠書（七絶）
- 31 人影（七律）
- 32 書孟子約解後、呈磐溪翁（七律）
- 33 駐春亭（七律）
- 34 酒旗（七律）
- 35 美人晏起図。応教（七律）
- 36 劉青田（七律）
- 37 夏意（七絶）
- 38 滑川撈銭図（七絶）
- 39 梅雨遇晴（五律）
- 40 清氏牽簾図（七古）
- 41 晚過不忍池上（七絶）
- 42 訪秋元氏吞舟窟（七律）
- 43 晚夏雜唸（七律）
- 44 七月既望、携関磐村・松万坪二弟、遊十二叢（七律）
- 45 晚秋初五、与海莊翁遊川樓。翁詩先成、次其韻（七律）
- 46 湘簾（七律）
- 47 漢宮嬉春図。海莊老人囑（七古）
- 48 竜蝦図（七絶）
- 49 梅間彈琴。為古岳上人（七律）
- 50 哭家貞斎。寄海莊翁（七古）
- 51 万里小路藤房（七絶）

- 52 中元賞月（七律）
- 53 春晚謾吟（七律）
- 54 明智左馬介騎渡湖水圖（七古）
- 55 東台春嬉（七律）
- 56 花後出城（七絕）
- 57 六月十三夕月下作（七絕）
- 58 秋夜讀書（此夜當十五夜）（七絕）
- 59 僧西行詠秋圖（七絕）
- 60 詠梅花（七絕）
- 61 告天子（原八首）（五絕）
- 62 江樓眺望（七絕）
- 63 〽 辛亥臘月、西臯先生所著三山記略剏竣工。賦以呈家君（七絕三首）
- 66 四月廿三日、賽慈雲大師（以下癸丑稿）（七絕）
- 67 書中乾胡蝶（七律）
- 68 晚春十一日、奉送家君之南紀（七絕）
- 69 夏意（七絕）
- 70 〽 71 梅雨書事（七律二首）
- 72 丈山先生像贊（七律）
- 73 春山讀書圖（七絕）
- 74 夜涼（七律）
- 75 雨後所見（七絕）
- 76 七月十三日作（五律）
- 77 記時事（七律）
- 78 中元夜觀踏歌（七絕）
- 79 春宮詞（七絕）
- 80 〽 81 晚過溜池所見（七絕二首）
- 82 春晚雨日（以下甲寅）（七律）
- 83 春郊夜歸（七絕）
- 84 景季簞梅花圖（七絕）
- 85 祠前石燈（七律）
- 86 暑雨後坐月（七絕）
- 87 〽 88 荷錢二首（七律）
- 89 消夏雜吟（七律）
- 90 〽 91 訪柳某今戶水莊（七律二首）
- 92 雨夜雪意（五絕）
- 93 諸葛武侯圖（七律）
- 94 冬夜（七絕）
- 95 夏意（七絕）
- 96 源二位（七絕）
- 97 初冬閑適（七絕）



【四〇】晴雪楼詩鈔（4・07／セ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・〇cm、ボール紙表紙、四つ目綴じ

③丁数 一三〇丁

④外題 「晴雪楼詩鈔 全」（表紙左肩、単梓書き題簽）

⑤内題等 なし

⑥序跋 なし

⑦備考 表紙と後表紙に薄紙表紙が貼り付けられている。

表紙に貼り付けられたものには丁表左肩に打付書で「晴雪楼詩鈔甲集」とあり。後表紙の方は丁裏に「晴雪楼詩鈔甲集」とあり。数種の詩稿を合綴したもの。構成は以下の通り。

(1)冒頭に「題言」とあり、諸家の序略・評・題詩を収める。三丁。

(2)冒頭に「晴雪楼詩鈔甲集卷上／江都 菊池純子頭」とあり。二五丁。

(3)冒頭に「晴雪楼詩鈔甲集卷下／江戸 菊池純子頭」と墨書、うち「甲集卷下」を朱線で抹消、右傍に「乙集」と朱書。二五丁。

(4)冒頭に「晴雪楼詩鈔乙集／平安 菊池純子頭」

とあり、(3)を補訂・清書したもの。二二丁。

(5)冒頭に「晴雪楼詩鈔／三溪 菊池純子頭」とあり。九丁。

(6)冒頭に「晴雪楼詩鈔三稿／三溪 菊池純子頭／緑蓑集」とあり。一〇丁。

(7)無題。六丁。

(遊紙一丁)

(8)冒頭に「晴雪楼詩鈔二編卷之一／三溪 菊池純子頭／簾鬢集」とあり、安政五年（一八五八）から文久二年（一八六二）の詩稿。一二丁。

（遊紙二丁。ただし、二丁目表には「晴雪楼存稿」とあり。）

(9)冒頭に「晴雪楼詩存三稿／三溪 菊池純子頭／紫茄草舎摘稿」とあり、元治元年（一八六四）から慶応元年（一八六五）の詩稿。一〇丁。

(10)無題。五丁。

⑧目次

\*一丁表一行目「題言」とあり。

・「諸家序略・評・題詩」（長戸得斎、友野霞舟、大槻磐溪、塩田松園、中村敬斎、菊池海莊、塩谷實山）

\*四丁表一、二行目「晴雪楼詩鈔甲集卷上／江都 菊池純子頭」とあり。

- 1 梅辺睡鶴図（七絶）
- 2 花鳥題画（五古）
- 3 平蟹行（七古）
- 4 宝泉精舎所見（七絶）
- 5 6 晚秋念七日、游十二叢。途中謾噺二首（五律）
- 7 備後三郎題詩図（七絶）
- 8 9 落花。次文衡山韻（七律三首）
- 11 深川晚帰矚目（五律）
- 12 13 象奕二首（五絶）
- 14 觀角兵獅子戯（五古）
- 15 忠盛捉鬼図（七古）
- 16 中元賞月（七律）
- 17 初夏幽居（七律）
- 18 19 蟬蛻（七律二首）
- 20 副墨行（七古）
- 21 22 落葉二首（七律）
- 23 明智左馬介騎渡湖水図（七古）
- 24 常盤雪行図（七古）
- 25 涼雨竹窓（五絶）
- 26 冬日雜詠（七絶）
- 27 桃花放牛図（七絶）
- 28 和州道中侍輿（七古）
- 29 勢州道上願望高峰（五古）
- 30 33 四春詞（七古四首）
- 34 国府台覽古（七古）
- 35 繼橋歌（七古）
- 36 初冬十二日、青山途上（七絶）
- 37 洗竹（七絶）
- 38 松山懷古（七古）
- 39 肇春望前一日、同家梅亭飲于亀精楼（七律）
- 40 42 夏昼雜詠三首（七律）
- 43 49 丁未鷄日、偶読張山来花鳥春秋。愛其文才雅潔、乃援筆、得十二絶句（録七）（七絶七首）
- 50 点滴（七律）
- 51 華蠟燭歌（七古）
- 52 不忍池上寓目（七絶）
- 53 壳花声（七絶）
- 54 走馬灯行（七古）
- 55 小山梅塢宅集、同蕙堂作（七律）
- 56 四木村驟雨所見（七絶）
- 57 58 秋晚村居雜述二首（七律）
- 59 残月杜鵑図（五絶）
- 60 夏意（七絶）
- 61 62 梨花二首（七律）

- 63 夏山雨意図（七絶）  
 64 姥捨山、信中一名区、以月頭焉。某生、慙愚余一游。  
 賦此辞焉（七古）  
 65 ～ 67 霞関春望三首（七絶）  
 68 御幣微号歌（七古）  
 69 春雨訪友図（七絶）  
 70 ～ 71 寄広徳寺東流上人（五律二首）  
 72 ～ 74 西園三首（五古）  
 75 平薩州宿花下図（七絶）  
 76 胡弓詞。懷司馬才郎（七古）  
 77 初夏偶成（五律）  
 78 演雅。詠園中野蔬雜卉、际老圃某（七古）  
 79 ～ 90 華燭引十二首（七絶）  
 91 美人闘雪。西昆体（七古）  
 92 ～ 94 中川舟行三首（原十五首）（五律）  
 95 源白石像賛（七律）  
 96 古仏殿（七古）  
 97 牛疊行（七古）  
 98 歳杪夜坐（七絶）  
 99 粧閑行（七古）  
 100 墨水舟行図（松園塩田君画）（五古）  
 101 劉青田（七律）  
 102 新涼読書（七絶）  
 103 人影（七律）  
 104 六月十二日夕、月香楼、同小浦青厓・丸山竹所賦（七律）  
 105 ～ 107 春晚、訪広沢文城青山寓居三首（七律）  
 108 ～ 109 災後過水西二首（七絶）  
 110 風伯揮团扇図（七律）  
 111 雨夜雪意（七絶）  
 112 春宮詞（七絶）  
 ＊二九丁表一 ～ 二行目「晴雪楼詩鈔甲集卷下／江戸 菊池純 子願」と墨書、うち「甲集卷下」を朱線で抹消、右傍に「乙集」と朱書。  
 113 根岸（七律）  
 114 ～ 119 論国字文絶句（七絶六首）  
 120 読善相公封事（七絶）  
 121 八幡公与貞任馬上唱和図（七古）  
 122 ～ 123 筆頭菜二首（七律）  
 124 柳外（七絶）  
 125 ～ 126 詠十二支（録二）（七絶二首）  
 127 陶淵明（七絶）  
 128 春首書懷（五律）  
 129 ～ 130 月夜下墨田川二首（七絶）

- 131 函嶺。有感北条氏事（七律）  
132 雲丁行（七古）  
133 相州道上（五律）  
134 南湖途上、觀富岳于左肩。俗呼曰左富士（五古）  
135 興津（七絕）  
136 別酒（七絕）  
137 138 北野菅廟二首（五律）  
139 訪靄山画史于溪山無尽楼（七律）  
140 142 溪山無尽楼寄題三首（原八）（七絕）  
143 146 京城近郊、記所見四首（五古）  
147 花後出城（七律）  
148 二月初四日、訪香川某水莊。莊在鴨涯深林中、水木清華、幽邃可喜也（七律）  
149 盆栽小桜（七絕）  
150 嵐山（七古）  
151 152 小倉山二首（五絕）  
153 凹軌行。過大津駅有感。賦此自勉（五古）  
154 173 京寓雜詠（七絕二十首）  
174 霜夜望月（七絕）  
175 平氏西敗図（七古）  
176 七月六日晚間驟雨（七絕）  
177 秋晚露坐（七絕）  
178 回向院（七絕）  
179 誦航米日録、書其後、呈存齋新見君（七古）  
180 182 山水小景（五絕三首）  
183 眉（香奩八詠、録二）（七絕二首）  
184 足（七絕）  
185 春晚書懷（七律）  
186 妙境院所囑。院在東台西境（七律）  
187 蝶衣（七律）  
188 鷺津毅堂過訪小酌（七律）  
189 春雨即事（七絕）  
190 191 雨中觀寬永寺花二首（七絕）  
192 龜蟻村途上（七絕）  
193 194 道灌山聞虫二首（七絕）  
195 寄題石川生舫亭（七絕）  
196 197 風雨渡鬼怒川二首（七絕）  
198 蘇長公（七律）  
199 夜読（七絕）  
200 唸灯（七絕）  
201 読稗史（七律）  
202 筑波山（五古）  
203 新雁（七律）  
204 宋太祖雪夜訪趙普図（七古）

- 205 殿山懷古（七古）
- 206 〽 207 梅花。用高季迪韻（七律二首）
- 208 〽 209 同前。用林二恥韻得六首（今錄其二）（七律二首）
- 210 人日口号（七絕）
- 211 西山公（七律）
- 212 秋柳（七絕）
- 213 延喜帝寒夜脫御衣圖（七絕）
- 214 読板倉氏伝（七律）
- 215 小松川途上（七絶）
- 216 〽 219 谷莊秋晚雜詩四首（七律）
- 220 墜葉（五律）
- 221 夏夜即事（七絶）
- 222 読曾我物語（七古）
- 223 富士野大獵図（七古）
- 224 〽 225 退筆二首（七絶）
- 226 縁嶠養道上人、一見余詩、繆加嗟賞、竟蒙捐貲、刻二百余首、以嘉惠諸同人。感銘之余、賦此奉贈（五古）
- \*五四丁表一〽二行目「晴雪樓詩鈔乙集／平安 菊池純 子顯」とあり。
- 227 根岸（七律）
- 228 〽 231 論国字文絶句（七絶四首）
- 232 読善相公封事（七絶）
- 233 八幡公与貞任馬上唱和図（七古）
- 234 〽 235 筆頭菜二首（七律）
- 236 柳外（七絶）
- 237 陶淵明（七絶）
- 238 月夜下墨田川（七絶）
- 239 函嶺。有感北条氏事（七律）
- 240 雲丁行（七古）
- 241 相州道上（五律）
- 242 南湖途上、觀富岳于左肩。俗呼曰左富士（五古）
- 243 興津（七絶）
- 244 別酒（七絶）
- 245 〽 246 北野菅廟二首（五律）
- 247 訪靄山面史于溪山無尽楼（七律）
- 248 〽 250 溪山無尽楼寄題（原八）（七絶三首）
- 251 〽 253 京城近郊、記所見（原四）（五古三首）
- 254 花後出城（七律）
- 255 二月初四日、訪香川某水莊。莊在鴨涯深林中、水木清華、幽邃可喜也（七律）
- 256 盆栽小桜（七絶）
- 257 嵐山（七古）
- 258 〽 259 小倉山二首（五絶）

- 260 凹軌行。過大津駅有感。賦此自勉（五古）
- 261 〽 271 京寓雜詠（七絶十一首）
- 272 霜夜望月（七絶）
- 273 平氏西敗図（七古）
- 274 七月六日晚間驟雨（七絶）
- 275 秋晚露坐（七絶）
- 276 読航米日録、書其後、呈存齋新見君（七古）
- 277 〽 279 山水小景（五絶三首）
- 280 春晚書懷（七律）
- 281 妙境院所囑。院在東台西境（七律）
- 282 蝶衣（七律）
- 283 春雨即事（七絶）
- 284 〽 285 雨中觀寛永寺花二首（七絶）
- 286 龜蟻村途上（七絶）
- 287 寄題石川生舫亭（七絶）
- 288 風雨渡鬼怒川（七絶）
- 289 蘇長公（七律）
- 290 夜読（七絶）
- 291 唸灯（七絶）
- 292 読稗史（七律）
- 293 筑波山（五古）
- 294 宋太祖雪夜訪趙普図（七古）
- 295 殿山懷古（七古）
- 296 〽 297 梅花。用高季迪韻（七律二首）
- 298 〽 299 同前。用林二恥韻得六首（今録二）（七律二首）
- 300 西山公（七律）
- 301 延喜帝寒夜脱御衣図（七絶）
- 302 読板倉氏伝（七律）
- 303 〽 306 谷莊秋晚雜詩四首（七律）
- 307 墜葉（五律）
- 308 夏夜即事（七絶）
- 309 読曾我物語（七古）
- 310 富士野大獵図（七古）
- 311 〽 312 退筆二首（七絶）
- 313 縁嶠養道上人、一見余詩、繆加嗟賞、竟蒙捐貲、刻二百余首、以嘉惠諸同人。感銘之余、賦此奉贈（五古）
- \* 七六丁表一〽二行目「晴雪樓詩鈔／三溪 菊池純子  
頭」とあり。
- 314 鄭大木（七絶）
- 315 菅公謫居図（七律）
- 316 〽 317 早雲寺吊古二首（七絶）
- 318 〽 324 論国字文絶句（七絶七首）
- 325 読三善清行封事（七絶）

- 326 読橘直幹申文（七絶）  
 327 読源伊陟菟裘賦（七絶）  
 328 回向院（七絶）  
 329 八幡公与宗任馬上唱和図（七古）  
 330 332 風雨観寛永寺花三首（七絶）  
 333 根岸（七律）  
 334 335 筆頭菜二首（七律）  
 336 337 小金井観花二首（七絶）  
 338 屈原（七律）  
 339 姥捨山、信中一名区、以賞月頭焉。某生、慇懃余一遊。  
 賦此辭焉（七古）  
 340 聽人読大岡越州稗史（七律）  
 341 夜読（七絶）  
 342 唸灯（七絶）  
 343 書感（七律）  
 344 春晚不寐（七律）  
 345 胡澹菴（七律）  
 346 347 風雨渡鬼怒川二首（七絶）  
 348 野毛崎（七絶）  
 349 春尽、雨中遡于墨水、観新緑（七絶）  
 350 351 宗忠簡（七絶二首）  
 352 筑波嶺（五古）  
 353 新夏静昼。次梅華道人韻（七律）  
 354 359 福老田村寓居雜吟（七絶六首）  
 360 新荷出水（七絶）  
 361 362 龜蟻途上二首（七絶）  
 363 流山旗亭所見（七絶）  
 364 遊仏眼山、呈松影上人（七律）  
 365 366 寄題石川生舫亭二首（七絶）  
 367 夏晚湖上小酌（七律）  
 368 入谷村看牽牛花（七絶）  
 369 蓮莊所見（七絶）  
 \* 八五丁表一 3 行目「晴雪樓詩鈔三稿／三溪 菊池純  
 子頭／緑蓑集」とあり。  
 370 初用眼鏡（五古）  
 371 山王廟下消夏（七絶）  
 372 聞北里灯事盛、有此作（七絶）  
 373 374 六月廿九日、猶竜窟避暑二首（七絶）  
 375 読李晚芳読史管見（七絶）  
 376 読曾我物語（七古）  
 377 富士野大獵図（七古）  
 378 青砥藤綱撈銭図（七絶）  
 379 382 谷莊秋晚雜吟（七律四首）  
 383 王子村途上（七絶）

- 384 遊蝦存稿題詞。寄贈松園塩田翁（七古）
- 385 秋燕（七律）
- 386 画虎（七律）
- 387 真乳山（七絶）
- 388 平氏西敗図（七古）
- 389、392 雪月故事。擬錢牧齋詠（五古四首）
- 393 過某侯廢苑（七律）
- 394 秋晚、過東叡法王宮牆外、聽吹簫声（七絶）
- 395 北院看山（仏眼山十勝之一）（七絶）
- 396 墜葉（五律）
- 397、398 蘇長公（七律二首）
- 399 稻葉一徹（七絶）
- 400、401 詠木魚二首（七律）
- 402 枯尾花。賦似勁堂（七律）
- 403、417 谷莊幽居雜詠（七絶十五首）
- 418 初冬山村小景（五絶）
- 419 同（五絶）
- 420 同（五絶）『
- \* 九四丁裏は末尾二行空白、識語あり。よつて九五丁表  
以下は別の詩稿。
- 421、423 道灌山聞虫三首（七絶）
- 424 徂徠先生像贊（七絶）
- 425 盆荷露。似松菴・松堂二師（五古）
- 426、427 胡奴折花図（七絶二首）
- 428 喜関本三泉至（七絶）
- 429、435 詠今古英雄関係于文雅者（七絶七首）
- 436 加藤肥州刺虎図（七絶）
- 437、440 題四君子図（五絶四首）
- 441 菱花行（七古）
- 442、451 捕鯨詞（七絶十首）
- 452 読山田長政伝（七絶）
- 453 読浜田弥兵衛伝（七絶）
- 454 読金忠輔伝（七絶）
- 455、456 読蝦夸曆二首（七絶）
- 457 二広墨蹟歌。贈馬島国手（七古）
- 458 半生（七絶）『
- \* 一〇二丁表一、三行目「晴雪楼詩鈔二編卷之一／三溪  
菊池純子頭／簾鬢集」とあり。
- 459 竜蛇集題詞（以下戊午稿）（五古）
- 460、461 月夜下墨田川二首（七絶）
- 462 春曉（七絶）
- 463 中秋月下独酌書感（七律）
- 464 送小浦青厓帰木州、賦長歌一篇（七古）
- 465 八月十九日、登晴雪楼觀彗星（七古）



- 466 送玉城久野君南征（七律）
- 467 勿来関図（以下己未稿）（七絶）
- 468 小桜（七絶）
- 469 賀某生新婚（七律）
- 470 花後過寛永寺（七絶）
- 471 春鶯轉曉（七絶）
- 472 送倉田袖岡歷岐岨帰南紀（七律）
- 473 寒夜過白虎門（七絶）
- 474 寛猛相救図。送古山某之新潟（以下庚申稿）（七古）
- 475 吹上外苑觀黃豹児（七絶）
- 476 溪莊小集。分韻得松字（七絶）
- 477 春夕微雨（七絶）
- 478 479 新正第三夕、大城拝觀伶官奏散楽（以下辛酉稿）（七絶二首）
- 480 481 二月三日、妙境院所囑（七律二首）
- 482 書謙齋河尻君所購得薄紙製林園月令卷尾（七律）
- 483 存齋新見君、藏紫端硯一枚。秀潤滑沢、能発墨色。蓋今大君加冠盛典恩賜之余、所購得。繼有国史刪補之命。乃賦小詩、書其研背（七律）
- 484 偶感（七律）
- 485 秋晚露坐（七絶）
- 486 490 春晚雜吟五首（以下壬戌稿）（七絶）
- 491 詠広瀬青村贈家大人長篇（七律）
- 492 連日風旱、二月廿一日始雨（七律）
- 493 星夕前二日、小楼晚酌、書懷（七律）
- 494 七月六日、晚間驟雨（七絶）
- 495 496 中元前三夕、邀叔弟、西楼賞月（七律二首）
- 497 涼雨竹窓図（五絶）
- 498 副墨行（七古）
- 499 500 落葉二首（七律）
- 501 胡枝花（七律）
- 502 松山懷古（七古）
- 503 秋涼（七絶）『
- \* 一一六丁表一 三行目「晴雪楼詩存三稿／三溪 菊池 純子頭／紫茄草舎摘稿」とあり。
- 504 505 退筆二首（以下甲子）（七絶）
- 506 重陽風雨（七絶）
- 507 陶淵明（七絶）
- 508 十月十四日二更、月明如昼。曉窓聴雨（七絶）
- 509 小春（七絶）
- 510 橘姫（七絶）
- 511 梅辺睡鶴図（七絶）
- 512 嘲鶴（七絶）
- 513 京城清明（七絶）

514 〽 517 詠十二支（今録其四）（七絶四首）  
 518 詠梅（七絶）  
 519 源九郎（七絶）  
 520 甲子歳晚（七律）  
 521 南紀伊藤蘭叢過訪（五律）  
 522 探梅（七絶）  
 523 霜夜望月（七絶）  
 524 元旦街上所見（以下乙丑）（七絶）  
 525 正月十四日、同家梅亭飲于亀精楼。此日微雨（七律）  
 526 代某生贈故人（七律）  
 527 江上送人図（七絶）  
 528 江東春首（七絶）  
 529 〽 533 分賦今古英雄関係于文雅者、得五絶句（七絶五首）  
 534 豊太閤楮戦袍歌。贈鬱谷嶺亭長石川氏（七古）  
 535 湖上寓目（七絶）  
 536 〽 539 京城山水、明麗秀媚、無物可比也。余、東帰後、  
 尚往来於心目、不忍割愛。乃搜其胸臆、記当日所寓目  
 （五古四首）  
 540 春首書感（五律）  
 541 鷺津穀堂過訪小酌（七律）  
 542 春雨即事（七絶）  
 543 読航米日録、書其後、呈示存齋新見君（七古）

\* 一二五丁は表五行目以降空白、識語あり。よつて一二  
 六丁表以下は別の詩稿。  
 544 猶竜窟（五古）  
 545 聴松菴招飲。分章句、得葉字（七絶）  
 546 晚秋初三、松影上人、拉二詩僧所過。席上有詩、次其  
 韻（五絶）  
 547 無心（五律）  
 548 録近業、乞松園先輩批評（五律）  
 549 御行松（七絶）  
 550 風雨、近重陽、無聊甚、有此作（七律）  
 551 博浪沙（七絶）  
 552 〽 553 聴松影道人吹簫、喜而賦二首（七絶）  
 554 〽 555 名妓地獄坐禪図二首（七絶）  
 556 〽 558 詠唐宋名家（七絶三首）  
 559 赤羽橋（七律）  
 560 池上愛蓮図（七絶）  
 561 窓前芳草図（七絶）  
 562 穀軒望月学士、批余近製所還。賦八句答謝（七律）  
 563 都鳥（七律）  
 564 古鏡（七律）  
 565 山房寒雨（七絶）  
 566 山下晚晴。帶經舎課題（七絶）

567 569 竜門寺後園観楓、楓已凋謝。更登其新築仮山（七絶三首）

570 題僧月仙画雪月梅花双軸。寄聴松上人（七古）

571 寒夜江上（七絶）

572 待渡図（七絶）

573 歳晚書事（七絶）

【四一】晴雪楼詩鈔甲集（4・07／セ／3貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・五cm×横一六・七cm、縹色表紙、四つ目綴じ

③丁数 二七丁

④外題 「晴雪楼詩鈔〈甲集〉」（表紙左肩、無粹書き題簽、隸書）

⑤内題等 内題「晴雪楼詩鈔〈甲集〉」

⑥序跋 なし

⑦備考 内題「甲集」は貼り紙、下には「甲集卷上」とあり。【四〇】『晴雪楼詩鈔』（4・07／セ／2貴）の(1)、(2)を推敲・浄書したもの。

⑧目次

・「諸家序略・評」（友野霞舟、長戸得斎、大槻磐溪、塩田松園、中村敬斎）

1 梅辺睡鶴図（七絶）

2 花鳥題画（五古）

3 平蟹行（七古）

4 宝泉精舎所見（七絶）

5 5 6 晚秋念七日、游十二叢。途中謾吟二首（五律）

7 備後三郎題詩図（七絶）

- 8 落花。次文衡山韻（七律三首）  
 11 深川晚暝矚目（五律）  
 12 象奕二首（集周易語）（五絕）  
 14 觀角兵獅子戲（五古）  
 15 忠盛捉鬼圖（七律）  
 16 中元賞月（七律）  
 17 初夏幽居（七律）  
 18 蟬蛻（七律二首）  
 20 副墨行（七古）  
 21 落葉二首（七絕）  
 23 明智左馬介騎渡湖水圖（七古）  
 24 常盤雪行圖（七古）  
 25 涼雨竹窓（五絕）  
 26 冬月雜詠（七絕）  
 27 桃花放牛圖（七絕）  
 28 和州道中侍輿（七古）  
 29 勢州道上顧望高峰（五古）  
 30 四春詞（七古四首）  
 34 国府台覽古（七古）  
 35 繼橋歌（七古）  
 36 初冬十二日、青山途上（七絕）  
 37 洗竹（七絕）  
 38 松山懷古（七古）  
 39 肇春望前一日、同家梅亭飲于龜精樓（七律）  
 40 夏昼雜詠三首（七律）  
 43 丁未鷄日、偶說張山來花鳥春秋。愛其文才雅潔、乃援筆、得十二絕句（錄七）（七絕七首）  
 50 点滴（七律）  
 51 華蠟燭歌（七古）  
 52 不忍池上寓目（七絕）  
 53 壳花声（七絕）  
 54 走馬灯行（七古）  
 55 小山梅塢宅集、同蕙堂作（七律）  
 56 四木村驟雨所見（七絕）  
 57 秋晚村居雜述二首（七律）  
 59 殘月杜鵑圖（五絕）  
 60 夏意（七絕）  
 61 梨花二首（七律）  
 63 夏山雨意圖（七絕）  
 64 姥捨山、信中一名区、以月頭焉。某生、慫慂余一游。賦此辭焉（七古）  
 65 霞関春望（七絕三首）  
 68 御幣馬標歌（七古）  
 69 春雨訪友圖（七絕）

- 70 〽 71 寄広徳寺東流上人（五律二首）  
72 〽 74 西園三首（五古）  
75 平薩州宿花下図（七絶）  
76 胡弓詞。懷司馬才郎（七古）  
77 初夏偶成（五律）  
78 演雅。詠園中野蔬雜卉、眎老圃某（七古）  
79 〽 90 華燭引十二首（七絶）  
91 美人鬪雪。西昆体（七古）  
92 〽 94 中川舟行三首（五律）  
95 源白石像贊（七律）  
96 古仏殿（七古）  
97 牛疊行（七古）  
98 歳杪夜坐（七絶）  
99 粧閣行（七古）  
100 墨水舟行図（松園塩田君画）（五古）  
101 劉青田（七律）  
102 新涼読書（七絶）  
103 人影（七律）  
104 六月十二夕、月香楼、同小浦青厓・丸山竹所賦（七律）  
105 〽 107 春晚、訪広沢文城青山寓居三首（七絶）  
108 〽 109 災後過水西二首（七絶）  
110 風伯揮团扇図（七律）  
111 雨夜雪意（七絶）  
112 春宮詞（七絶）

【四二】西洞新居集（4・07／セ／4貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・六cm×横一五・六cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 二〇丁

④外題 「西洞新居集」（表紙左肩、子持杵書き題簽）

⑤内題等 内題「西洞新居集（甲戌）」

⑥序跋 自序

⑦備考 表紙右下隅に「甲戌」と朱書き。明治七年（一八七四）、西洞院転居後の詩を収める。

⑧目次

※「自序」

1 元旦雑述（七絶）

2 一月初八、訪山中静一水荘。荘在霜鳴村西涯（七律）

3 〽 4 摘菜（七絶二首）

5 春寒驚難到（七古）

6 〽 7 竹田途上所見（七絶二首）

8 宇治道上（五律）

9 〽 10 諸葛春耕図（七絶二首）

11 雪日即事（七絶）

12 松芝図（七絶）

13 〽 14 上元前一夕、黄石先輩、双橋詞兄過訪。分蓬門今

始為君開、得君字（七律二首）

15 乞梅（七絶）

16 題環碧楼。楼南摩士張読書処（七律）

17 画山水図（五絶）

18 〽 19 春寒勒花（七絶二首）

20 〽 21 寄贈岡本黄石翁索和（七律二首）

22 菅公（七絶）

23 楼上春雨（七絶）

24 書屈陶合刻後（七絶）

25 春夜城中所見（七絶）

26 諸葛春耕図（七絶）

27 求梅（七絶）

28 靈芝図（七絶）

29 〽 35 四月一日、四条橋建築役竣、官照例行開橋儀。因

記所見、伝其盛事（七絶七首）

36 題琴水女史書画帖（七絶）

37 捕魚歌（印須社課題）（七古）

38 花後游華頂山（七絶）

39 〽 47 輕氣毬図（七絶九首）

48 東山治春。次双橋韻（七絶）

49 南宮拝石図（七絶）

- 50 春草（七絶）
- 51 54 買茉莉（七絶四首）
- 55 竹醉日移竹（七絶）
- 56 57 上長樂閣二首（五律）
- 58 四条橋所見（七絶）
- 59 四月十六日、赴村田香谷小集（七絶）
- 60 祝融行（七古）
- 61 送南摩羽峰東行、兼贈石津子儉（七律）
- 62 53 聞片山子業新婚寄贈（七律二首）
- 64 55 贈壳氷人（七絶二首）
- 66 放舟溪上（七絶）
- 67 錢南摩羽峰応徵赴東京、諸同人設宴于鴨西旭樓。此日  
会者、岡本黄石、頼支峰、神山鳳陽、江馬天江、林双  
橋、小林卓斎、村田香谷、片山精堂、市村水香、而余  
亦与焉。分細雨魚兒出、微風燕子斜句、得雨字（七絶）
- 68 倒歩前韻（七絶）
- 69 57 山居初秋（七絶二首）
- 71 竹葉亭即事（七絶）
- 72 天王寺（七絶）
- 73 寄贈磐溪翁、謝其所惠愛古堂集（七古）
- 74 次石津子儉見贈詩韻（七絶）
- 75 寄似灌園在東京（七絶）
- 76 57 六月初八、同黄石・支峰・鳳陽・天江諸子、招飲  
小野湖山于鴨西旭樓。坐有貞信尼。原鴨東名妓。席上  
詠和歌、以寄贈湖山。詞意超凡、頗寓渴想意。因分歌  
中字、得東高君名（七絶四首）
- 80 七月二十八日、同河合生、飲四条磧于涼棚、賦似詩僧  
逸心（七律）
- 81 醉芙蓉初花（七絶）
- 82 収芋栗（七絶）
- 83 54 敝裘（七律二首）
- 85 57 壳劍換妾（七絶三首）
- 88 暑夜（五律）
- 89 湖上（七絶）
- 90 八月九日、此日秋立、寓榻夜坐（七律）
- 91 寇萊公（七絶）
- 92 早起看牽牛花（七絶）
- 94 57 蘆岸秋晴（六言四句四首）
- 98 九月十日、同諸子飲于鴨西水亭。分天意憐幽草、人間  
重晚晴句、得晴字（七絶）
- 99 題窮理短簡首（佐久間生嘯）（五絶）
- 100 旅夜乞宿不許（七絶）
- 101 53 素心蘭（岡本黄翁席上）（七絶二首）
- 103 石州岩間生、為人至孝根于心、朝野嗟称。事聞朝廷、

今茲甲戌某月、為下旌表典、以褒其孝義。蓋異數也。  
友人尾碕双松、囑予其賀詩。乃欣然援筆、以表錫類之  
喜（七絶）

104 宋僖宗画図（七絶）

105 岳少保（七律）

106 寒雨乍晴（七絶）

107 信玄攻海野城図（七絶）

【四三】彫虫詩抄（4・07／チ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二六・六cm×横一七・九cm、肌色布目表紙、四  
つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙  
を付けて綴じ直している）

③丁数 八丁

④外題 「南摩羽峰評／菊池三溪手記／彫虫詩抄 完」（表  
紙左肩、打付書）、「彫虫詩抄 完」（二丁目薄紙  
表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「彫虫詩抄」

⑥序跋 なし

⑦備考 なし

⑧目次

1 3 城中所見（七絶三首）

4 題房山図卷（工藤敬齋囑）（七古）

5 遊真光精舎後園。園有小茶寮。蓋不昧公所創造（七律）

6 日暮里晚帰所囑（五律）

7 聞虫（七律）

8 新雁（七律）

9 5 美人十詠（折二）（七絶二首）

11 夜聞落葉（七律）



- 12 文覚上人図（七絶）  
 13 ～ 19 観捕鯨図巻（七絶七首）  
 20 鶴岡（七律）  
 21 腰越（五絶）  
 22 橋場（七律）  
 23 今戸（七律）  
 24 松尾芭蕉（七律）  
 25 宝井其角（七律）  
 26 佐倉客舎、談及義民宗吾事、慨然有此作（七古）  
 27 成田山（七律）  
 28 ～ 33 観角觝戯（七絶六首）

【四四】八百八橋春水来集・襄陵集（4・07／ハ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・三cm×横一六・一cm、黄色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 一二丁

④外題 「八百八橋春水来集／襄陵集」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題（一）「八百八橋春水来集（起甲申一月／畢其十二月）」、内題（二）「襄陵集（起乙酉一月／至其十二月）」

⑥序跋 二集それぞれに自序あり、「八百八橋春水来集」

序の日付は明治十七年三月下旬

⑦備考 表紙右下隅に「申酉」と朱書。明治十七、十八年（一八八四～一八八五）の詩を収める。当時三溪は大阪府一等教諭として大阪にあり。

⑧目次

●八百八橋春水来集（起甲申一月／畢其十二月）

※「自序」

1 雪尽（七絶）

2 大仁村吊王仁堂（七古）

3 花後有感（七絶）

4 韓昌黎（七絶）

- 5 〽 7 雪中鴛鴦三首（七律）
- 8 梅熟（七絶）
- 9 〽 10 寄題春日村莊。贈清海氏二首（七律）
- 11 誦古詩平仄論。贈森大來（七古）
- 12 〽 13 曾根崎村僑居雜詠（七絶二首）
- 14 高槻途上（七絶）
- 15 〽 16 買大刀魚（七絶二首）
- 17 竜山宇都宮翁招飲。同初堂賦（七律）
- 18 霜夜（七絶）
- 19 〽 20 聞成島柳北訃。悵然賦（七律二首）
- 21 惟任光秀湖中投供具図（七絶）
- 襄陵集（起乙酉一月／至其十二月）
- ※「自序」
- 22 桃源図（七絶）
- 23 雪日所見（七絶）
- 24 分風雲月露單詠風（七絶）
- 25 春晚村居書事（七絶）
- 26 病起（七律）
- 27 〽 28 豆腐二首（七絶）
- 29 番氏明牽裾図（七絶）
- 30 夏初間詠（七律）
- 31 楠公訣児松（七絶）
- 32 詠松祝某甫華年（七絶）
- 33 〽 42 洪水紀事十首（七絶）
- 43 予讓（七絶）
- 44 暑退（七絶）
- 45 秋晚村居雜詠（七絶）
- 46 謙信賞月図（七絶）
- 47 中秋無月、午夜放晴（七律）
- 48 十月十八日、鴨西途上所見（七絶）
- 49 大江広元（七絶）
- 50 十月十八日、緒方拙斎招飲。用秋谷西先輩餞別詩韻、送其西歸（七律）
- 51 〽 55 浪華雜詠（七絶五首）
- 56 冬初四条橋所見（七絶）
- 57 〽 58 詠岐阜提灯二首。次依田学海詩韻（七律）
- 59 〽 63 誦清名家詩文集（七絶五首）

【四五】雨辰余筆（4・42／ウ／1貴）

①分量 二卷一冊

②書型 縦二二・二cm×横一五・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 二九丁

④外題 「菊池純稿／雨辰余筆 完」（表紙左肩、打付書）、

「雨辰余筆（香雲楼新著／十種之一）」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「雨辰余筆卷之一」「二」

⑥序跋 菊池梅軒序（安政二年十二月）、「雨辰余筆自叙」

（安政二年十一月）、三溪「題言」（安政二年十一月）、関藍梁「書雨辰余筆後二首」

⑦備考 安政二年（一八五五）安政大地震の見聞記。

⑧目次

・「序」（菊池梅軒）

※雨辰余筆自叙

※題言

※雨辰余筆目次

●雨辰余筆卷之一

1 与岩橋柳窓副紙

2 新婦断臂

3 義舎

4 北里焚死

5 都下震倒戸数

6 浅草浮屠閣

7 酒舗会飲

8 貧家女兒

9 藩士話

10 蒼鷹獲鷗鷄

11 災後過水西故墟詩

12 娼妓処置

13 霽霜柿者

14 諸利脩冥福

15 豪賈賑窮氓

16 湖山外史災後作

17 品海礮塙（以下四則榊苗洲所記。附而伝之）

18 緇徒殮葬

19 治火水榼

20 浴室罵婦

※雨辰余筆卷之二目次

●雨辰余筆卷之二

21 狐精知災

- 22 袖中馬毛
- 23 靈水自出于地
- 24 城中雨魚
- 25 盜賊訛言
- 26 雷公騎神馬避災
- 27 北里懷古詩
- 28 審災上
- 29 審災下
- ・書雨辰余筆後二首（関藍梁、七絶）

【四六】 依様画胡盧（4・47／イ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二一・四cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 九丁
- ④外題 「依様画胡盧（二）」（表紙左肩、子持粹書き題簽、その右傍に「菊池純稿」と打付書）、「依様画胡盧 一」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「依様画胡盧卷之一」
- ⑥序跋 風白月香楼主人「序」（元治元年七月）
- ⑦備考 元治元年（一八六四）上京時の文。
- ⑧目次
  - ・序（風白月香楼主人）
  - 152 「嵐山」
  - 3 「詩仙堂」
  - 4 「水西堂・溪山無尽楼」
  - 5 「香川氏山莊」
  - 6 「守山房政猷華表于狐廟」
  - 7 「新見存斎蘆葉墨斗」
  - 8 「明樂君白銅文鎮」

9 〔書四条磧納涼図後〕  
10 〔糺森納涼〕

【四七】閑言語（4・47／カ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・三cm×横一三・二cm、肌色布目表紙、四  
つ目綴じ 改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙  
を付けて綴じ直している）

③丁数 一〇丁

④外題 「菊池純稿／閑言語 完」（表紙左肩、打付書）、  
「閑言語 完」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「閑言語」

⑥序跋 亡是道人「叙」（慶応三年五月）

⑦備考 内題次行著者名は「烏有居士戯述」とあり。昔話、  
説話の漢訳。

⑧目次

・叙（亡是道人）

1 狸兎報讐

2 孝雀

3 僧父

4 雷公売白雨

5 五色

6 西施乳

【四八】 皇朝故事成語考（4・85／コ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦一八・八cm×横一三・三cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ 改装本（本文と同じ料紙（四周双辺、有界八行）を表紙にした一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 一八丁
- ④外題 「皇朝故事成語考 菊池三溪稿本 完」（表紙左肩、打付書）、「皇朝故事成語考」（二丁目共紙表紙二行目、打付書）
- ⑤内題等 内題「皇朝故事成語考卷之一」
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 柱に「増補日本外史称呼訓卷」とあり。「天文」「地輿」「歳事」の三編を収める。それぞれ題について故事を中心に記述し、末尾には「参考」として、その出典を示す。ただし、「歳事」には「参考」なし、未完か。明治に入ってから作。
- ⑧目次
  - 1 天文
  - 2 地輿
  - 3 歳事

【四九】 政記論文国字解（5・03／セ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二二・九cm×横一五・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ 改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 一六丁
- ④外題 「政記論文国字解一（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「政記論文国字解一」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「日本政記論文国字解卷之一」、内題の次に「頼襄子成著／菊池純子顕解」とあり
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 『日本政記』の論文の国字解。
- ⑧目次
  - 1 神武天皇
  - 2 綏靖至崇神
  - 3 垂仁天皇
  - 4 景行天皇
  - 5 成務至仲哀
  - 6 応神天皇

【五〇】南紀名賢録（5・63／ナ／1貴）

①分量 一冊（原三冊）

②書型 縦二三・七cm×横一六・一cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙三冊本を、厚紙表紙を付けて合綴している）

③丁数 一三五丁（原第一冊四四丁、原第二冊五三丁、原第三冊三八丁、各冊第一丁は元の薄紙表紙）

④外題 「南紀名賢録（菊池三溪稿本／六卷合本）」（表紙左肩、子持杵書き題簽）、「南紀名賢録自一至二」「自三至四、自五至六」（原装各冊一丁目薄紙表紙左肩、打付書。原第一冊薄紙表紙の外題は、もと「紀史備考」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの。原第二冊薄紙表紙の外題は、もと「紀史備考二、三」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの）

⑤内題等 内題「紀史備考卷之一」「三」（原第一、二冊本文冒頭にあり。もと「南強録卷之一」「二」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの）

⑥序跋 なし

⑦備考 凡例題はもと「南紀名賢録凡例」とあつた上に紙を貼り、「紀史備考凡例」と書き改める。目録が

備わるが、本文の内容・構成とは大きく異なる。

藩主、重臣から学者、武芸者にいたるまで、和歌山藩の人物の伝記を広く集めた書。凡例の日付は安政四年（一八五七）十一月。凡例によれば、一部は「二十年前」に書かれたもので、その後、斎藤南溟、遠藤鶯谷とともに本書編纂の命を受けたが、間もなく南溟、鶯谷は相次いで死去、その跡を三溪が引き継ぎ完成させたのだと言う。二丁目袋状になっている中に南竜公伝賛の手稿一枚あり。一九丁目と二〇丁目の間に安藤直次伝賛の手稿一枚あり。最終丁袋状になっている中に歌稿一枚（赤色薄紙）あり。

⑧目次

南紀名賢録自一至二

※紀史備考凡例（凡例題は、もと「南紀名賢録凡例」とあつた上に紙を貼り書き改めたもの）

※紀史備考目録

●紀史備考卷之一

1 南竜公

2 香巖公

3 安藤直次

4 安藤直治

5 水野重良  
6 久野宗俊  
7 山中友俊  
8 加納直恒  
9 大崎玄蕃  
10 村上茂清  
11 大高重高  
12 松平忠尚  
13 松野惣太郎  
14 高井伊織  
15 栗生源吾左衛門  
16 若林養元  
● 南紀名賢錄自三至四  
● 紀史備考卷之三  
17 那波活所  
18 那波木菴  
19 永田善斎  
20 永田格菴  
21 李真栄  
22 李衡正  
23 荒川景元  
24 榊原篁洲

25 榊原霞洲  
26 榊原滄洲  
27 蔭山東門  
28 華岡青洲  
29 野呂介石  
30 妹尾邦昌  
31 池永斧太郎  
32 田宮平兵衛  
33 川合春川  
34 長井万年  
35 斎藤世甫  
36 斎藤実蕃  
37 斎藤南溟  
38 仁井田南陽  
39 遠藤鶴洲  
● 南紀名賢錄自五至六  
40 野呂松廬  
41 祇園南海  
42 祇園殭霞  
43 金谷玉川  
44 佐野隱山  
45 本居宣長



46 有馬元函  
 47 榑原篁洲  
 48 榑原霞洲  
 49 榑原桃源  
 50 榑原青洲  
 51 榑原滄洲  
 52 榑原蘭洲  
 53 宮瀬竜門

【五一】 続大統歌（5・64／ソ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二五・九cm×横一七・七cm、香色表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 八丁

④外題 「菊池純稿／続大統歌 完」（表紙左肩、打付書）、

「続大統歌 完」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「続大統歌」

⑥序跋 自序「続大統歌叙」（明治六年二月）

⑦備考 後水尾天皇以降の国史を詠じた四言詩。文石堂主人の需めに応じ、塩谷宕陰「大統歌」の欠を補つたもの。

⑧目次

※続大統歌叙

1 続大統歌

【五二】東京写真鏡（甲）（5・83／ト／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二六・九cm×横一八・五cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 八丁

④外題 「東京写真鏡（菊池三溪手稿）」（表紙左肩、子持  
梓書き題簽）、「東京写真鏡」（二丁目薄紙表紙左  
肩、打付書）

⑤内題等 内題「東京写真鏡」

⑥序跋 なし

⑦備考 なし

⑧目次

1 写宝鼎流館（七古）

2 写真鏡（七古）

3 写人転車（七古）

4 写洋人曲馬（七古）

5 写鳶衫（七古）

6 写電信機（七古）

7 写博覧会（五古）

8 写新聞紙（五古）

9 写楮幣（七古）

10 写屠牛店（五古）

11 写馬車（七古）

12 写蝙蝠傘二首（七律）

14 写城中所見（七絶十二首）

【五三】東京写真鏡（乙）（5・83／ト／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・六cm×横一四・〇cm、縹色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 一四丁

④外題 「東京写真鏡 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）

⑤内題等 内題「東京写真鏡」

⑥序跋 神山鳳陽「東京写真鏡叙」（明治六年五月）、南

摩羽峰「叙」（明治七年六月）、片山精堂「叙」（明

治六年十一月）、成島柳北「序」（明治六年九月）、

石津灌園「跋」（明治六年七月）

⑦備考 【五二】『東京写真鏡』（甲）（5・83／ト／1貴）

に朱で書き込まれていた川田甕江の評語が、本文に組み込まれているから、それよりは後の段階の稿本である。後ろ見返しには三溪宛石津灌園書簡（十一月七日付）が貼り付けられている。

⑧目次

・東京写真鏡叙（神山鳳陽）

・叙（南摩羽峰）

・叙（片山精堂）

・序（成島柳北）

1 写宝鼎留館（七古）

2 写真真鏡（七古）

3 写人転車（七古）

4 写洋人曲馬（七古）

5 写鳶杉（七古）

6 写博覧会（五古）

7 写新聞紙（五古）

8 写楮幣（七古）

9 写馬車（七古）

10 写蝙蝠傘（七律）

11 写城中所見（七絶八首）

・跋（石津灌園）

【五四】観梅遊記（甲）（5・85／カ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二三・八cm×横一六・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ

③丁数 一三丁

④外題 「観梅遊記 附観梅余香 菊池三溪稿本 完」（表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「観梅遊記」、附録内題「観梅余香」

⑥序跋 林学斎「題言」（慶応二年二月）、三溪「緒言」（慶応二年三月）

⑦備考 慶応二年（一八六六）正月、杉田観梅の記および詩。

⑧目次

・題言（林学斎）

※緒言

●観梅遊記

157 記一5七

8 従能見堂眺金沢八勝記

9 金沢四時総宜亭記

●観梅余香

105 23 今年丙寅王月鶏日、与越人児北溟、同游亀戸小邑

井諸梅莊、相偕約押林句、作一詩。既而北溟詩先成、余未獲隻句。数日後、北溟過訪、督余詩曰、中村、望月二学士詩已成矣。何其儂邪。亡何有杉田観梅行。頗若有獲梅花之祐者矣。輒沈吟半日、押林句、得五古体十四首。以補足游記之漏云（五古十四首）

【五五】観梅遊記（乙）（5・85／カ／2貴）

①分量 一冊

②書型 縦二四・五cm×横一六・九cm、水色表紙、四つ目綴じ

③丁数 一五丁

④外題 「観梅遊記（付観梅余香）完」（表紙左肩、無粹書き題簽）

⑤内題等 附録内題「観梅余香」

⑥序跋 林学斎「題言」（慶応二年二月）、塩田松園「跋」（慶応二年三月）

⑦備考 【五四】『観梅遊記』（甲）（5・85／カ／1貴）を増訂したもの。

⑧目次

・題言（林学斎）

157 記一七七

8 從能見堂眺金沢八勝記

9 金沢四時総宜亭記

●観梅余香

10 〽23 今年丙寅王月鶏日、与越人児北溟、同游亀戸小邑并諸梅莊、相偕約押林句、作一詩。既而北溟詩先成、余未獲隻句。数日後、北溟過訪、督余詩曰、中村、望

月二学士詩已成矣。何其儼邪。亡何有杉田観梅行。頗若有獲梅花之祐者矣。輒沈吟半日、押林句、得五古体十四首。以補足游記之漏云（五古十四首）

24 〽35 元旦、江東探梅、得十二絶句（七絶十二首）

36 賦観梅詩、寄示敬斎中村学士、兼呈祭酒学斎林先生研北（七絶）

37 〽38 丙寅鶏日、亀戸村看梅。句首蒙以林潭一聯（五古二首）

・跋（塩田松園）

【五六】西上集（5・85／サ／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二一・二cm×横一四・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）

③丁数 七丁

④外題 「菊池純稿／西上集 単」（表紙左肩、打付書）、

「西上集 単」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）

⑤内題等 内題「西上集卷之一」

⑥序跋 「西上集自叙」（文久四年正月）

⑦備考 文久三年（一八六三）十二月から翌四年（元治元年）にかけて、將軍家茂の西上に扈從した際、道中で得た詩をまとめたもの。自序は「平安千樹街維鵲巢居」で書かれている。

⑧目次

※西上集自叙

1 臘月二十二日発江戸（七絶）

2 相州道上（五律）

3 南湖途上、觀富岳于左辺。俗呼曰左富士。蓋都人発江戸、富岳常在其右辺。此郷、独在其左辺也（五古）

4 沼津客舎、主人索予詩、席間走筆（七絶）

5 吉原駅、縦觀富岳之晴雪、快甚（七絶二首）

7 興津所見（七絶）

8 客中春立（時在府中客舎）（五律）

9 涉天竜川、有感時事、作天竜歌（七古）

10 雲丁行（七古）

11 過觀潮坂（七絶）

12 参尾之間、有感烈祖創業之事（七律）

13 尾州客舎迎年三首（七絶）

16 江州途上二首（七絶）

18 過勢美之界（五絶）

19 曉過湖上（七律）

20 大津客舎聽鐘（七絶）

21 橋中雜興（原二）（七絶）

22 入京（七律）

【五七】東下録（5・85／ト／1貴）

- ①分量 二卷一冊
- ②書型 縦二一・四cm×横二三・二cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 九丁
- ④外題 「菊池純稿／東下録二」（表紙左肩、打付書）、「東下録」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 内題「東下録卷之一」「二」
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 元治元年（一八六四）夏、京から江戸へ帰った際の紀行文。卷二には「甲子七月初二草記」「甲子七月十七日云々」という割注があり、この頃の成立と見られる。
- ⑧目次

- 東下録卷之一
- 1 「卷一本文」
- 東下録卷之二
- 2 「卷二本文」

【五八】波山遊記（5・85／ハ／1貴）

- ①分量 一冊
- ②書型 縦二六・五cm×横一八・四cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）
- ③丁数 七丁
- ④外題 「波山遊記（菊池三溪稿本）」（表紙左肩、子持杵書き題簽）、「波山遊記 完」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）
- ⑤内題等 なし
- ⑥序跋 なし
- ⑦備考 なし
- ⑧目次

1～4 登筑波山遊記一～四

【五九】読史戦論（甲）（8・28／ト／1貴）

①分量 一冊

②書型 縦二二・八cm×横一五・七cm、縹色布目表紙、四  
つ目綴じ

③丁数 四〇丁

④外題 「読史戦論 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）

⑤内題等 内題「読史戦論」

⑥序跋 石津灌園「読史戦論序」（明治六年八月）

⑦備考 史上有名な合戦について論じた文を収める。

⑧目次

・読史戦論序（石津灌園）

1 一谷・栗殻

2 渡辺橋・三方原

3 敵島・河越

4 川中島

5 桶狭間・鴻台

6 長篠

7 山崎

8 小田原

9 碧蹄館上

10 碧蹄館下

11 新塞

12 柳瀬・長久手一

13 柳瀬・長久手二



【六〇】読史戦論(乙) (8・28／ト／2貴)

①分量 一冊

②書型 縦二三・三cm×横一六・〇cm、肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本(薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している)

③丁数 三四丁

④外題 「読史戦論」(表紙左肩、子持粹書き題簽)、「読史戦論」(二丁目薄紙表紙左肩、打付書)

⑤内題等 内題「読史戦論」

⑥序跋 石津灌園「読史戦論序」

⑦備考 【五九】『読史戦論』(甲) (8・28／ト／1貴)

とほぼ同文。甲本に朱書された訂正が反映されているので、より後の段階の稿本である。

⑧目次

・読史戦論序(石津灌園)

1 一谷・栗殻

2 渡辺橋・三方原

3 巖島・河越

4 川中島

5 桶狭間・鴻台

6 長篠

7 山碕

8 小田原

9 碧蹄館上

10 碧蹄館下

11 新塞

12 柳瀬・長久手一

13 柳瀬・長久手二

【附録一】四書集註（1・66／シ／2貴）

版本五冊。縦二二・六cm×横一五・四cm。香色表紙、四つ目綴じ。有界八行一七字。

第一冊 外題「四書集註（菊池純手批）一」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「学庸 全」（表紙左肩、子持梓書き題簽）。内題「大学」「中庸」。

第二冊 外題「四書集註（菊池純手批）二」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「論語 朱註 一」（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「論語卷之一」「五」。

第三冊 外題「四書集註（菊池純手批）三」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「論語 朱註 二」（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「論語卷之六」「十」。

第四冊 外題「四書集註（菊池純手批）四」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「孟子 朱註 上」（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「孟子卷之一」「三」。

第五冊 外題「四書集註（菊池純手批）五終」（表紙左肩、子持梓書き題簽）、「孟子 朱註 下」（表紙左肩、無梓書き題簽）。内題「孟子卷之四」「七」。

第五冊末尾に刊記、「二条通御幸町東<sub>五</sub>入町／柏屋四郎兵衛」とあり。  
全冊に亘り多数の書入あり。

【附録二】学聚堂叢書（4・02／カ／7貴）

写本二十二冊。縦二二・八cm×横一六・〇cm。肌色布目表紙、四つ目綴じ、改装本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）。

第一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書一」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（随園文抄）」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「随園文鈔／以下詩文抄録」とあり。五〇丁。

第二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書二」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書二」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「山陽文稿／以下詩文抄録」とあり。三四丁。

第三冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書三」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書三」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「奇絶志／元明史略／以下詩文抄録」とあり。六二丁。

第四冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書四」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書四」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。四一丁。

第五冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書五」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書五」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。

表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。二七丁。

第六冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書六」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書六」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。四七丁。

第七冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書七」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書七」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「夜航余話 東陽居士著」とあり。四四丁。

第八冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書八」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書八」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「史子雜説／百衲詩話／以下詩文抄録」とあり。三七丁。

第九冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書九」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書九」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「三好清行封事／以下詩文抜抄」とあり。三七丁。

第十冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雜抄」とあり。三四丁。

第十一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十一」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十一」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「籙海私議 塩谷宕陰著／

海防私策 羽倉用九著／以下詩文抄録」とあり。四九丁。

第十二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十二」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十二」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「葛因是等小伝／以下詩文抜録」とあり。三八丁。

第十三冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十三」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十三」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。四六丁。

第十四冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十四―十五」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十四十五」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。五六丁。

第十五冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十六」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（壬申春／二月）」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「枕山詩二編／拙堂文話／以下詩文抄録」とあり。四一丁。

第十六冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十七」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（壬子）十七」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「小倉山房文約／以下詩文抄録」とあり。三八丁。

第十七冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十八」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（明治二十年丁亥八月二日

成冊〕地〕（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「記福田晋一遭厄事／以下詩文抄録」とあり。二七丁。

第十八冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書十九」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書十九」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」とあり。四二丁。

第十九冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書二十」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（癸丑）卷拾九／二十」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文抜抄」とあり。三二丁。

第二十冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿一」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（癸丑／新秋）廿一」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」とあり。四〇丁。

第二十一冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿二」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（己巳）廿二」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文随鈔」とあり。五一丁。

第二十二冊 外題「菊池三溪手抄／学聚堂叢書廿三」（表紙左肩、打付書）、「学聚堂叢書（丙辰）廿三」（一丁目薄紙表紙左肩、打付書）。表紙右肩に打付書で「詩文雑抄」

とあり。二七丁。

和漢の諸書から詩文を抄出したもの。書きためたものを、三十～五十丁ずつ合綴していったらしく、明確な方針の下に編まれているわけではない。

【附録三】近世古文所見集（4・02／キ／5貴）

写本二卷一冊。縦二二・三cm×横一五・四cm。水色表紙、四つ目綴じ。五六丁。

外題「近世古文所見集 全」（表紙左肩、子持粹書き題簽）。

内題「近世古文所見集卷一」「二」

頼山陽、大槻磐溪、林鶴梁、松林飯山など、近世後期から明治にかけての儒者・文人の文二十八編を抄出したもの。

【附録四】梅墩詩鈔（4・07／ハ／2貴）

写本一冊。縦二三・〇cm×横一五・一cm。肌色布目表紙、四つ目綴じ、改裝本（薄紙表紙一冊本に、厚紙表紙を付けて綴じ直している）。一三丁。

外題「梅墩<sup>（ウヅムネ）</sup>詩鈔（菊池三溪手批）」（表紙左肩、子持粹書き題簽）、「梅墩詩鈔 全」（二丁目薄紙表紙左肩、打付書）。

内題「梅墩詩醇」。

広瀬旭莊『梅墩詩鈔』（初ゝ三篇、嘉永元年刊。四編、安政三年刊）から四十首を抄出したもの。

## 稿本書名索引

・稿本書名の五十音順により、「請求  
記号【稿本番号】頁数」を示す。

依様画胡盧

4-47/4/1 冊 【四六】 一一〇頁

雨辰余筆

4-42/2/1 冊 【四五】 一一九頁

学聚堂遺稿

4-05/2/3 冊 【一一】 三五頁

学聚堂雜稿

4-05/2/2 冊 【一〇】 三二頁

学聚堂叢書

4-02/2/7 冊 【附録二】 一三四頁

学聚堂存稿

4-07/2/1 冊 【二七】 七四頁

荷香松影楼小稿

4-07/2/2 冊 【二八】 七七頁

閑言語

4-47/2/1 冊 【四七】 一二二頁

観梅遊記(甲)

5-85/2/1 冊 【五四】 一二八頁

観梅遊記(乙)

5-85/2/2 冊 【五五】 一二九頁

記佐賀県隨擾本末

4-05/2/8 冊 【一一〇】 六一頁

近世古文所見集

4-02/2/5 冊 【附録三】 一三七頁

京華集

4-07/2/1 冊 【二九】 七九頁

兼葭一枝

4-07/2/2 冊 【三〇】 八一頁

香雲楼詩鈔

4-07/2/2 冊 【三二】 八三頁

印須社詩文稿

4-03/2/3 冊 【四】 五頁

高倉山房集・精細集

4-07/2/3 冊 【三三】 八七頁

皇朝故事成語考

4-85/2/1 冊 【四八】 一二二頁

皇朝新擬樂府

4-07/2/1 冊 【三一】 八二頁

皇朝人君明暗図説義証・人臣忠姦図  
説義証

1-84/2/1 冊 【一】 三頁

口碑録

4-05/2/1 冊 【一一】 三九頁

三溪遺稿

4-05/2/1 冊 【一三】 四〇頁

三溪雜稿

4-05/2/7 冊 【一九】 五九頁

三溪寸鉄

4-05/2/6 冊 【一八】 五七頁

三溪文稿(甲)

4-05/2/4 冊 【一六】 四八頁

三溪文稿(乙)

4-05/2/5 冊 【一七】 五六頁

三溪文略

4-05/2/3 冊 【一五】 四七頁

三溪余稿

4-05/2/2 冊 【一四】 四二頁

四照園詩舫

4-06/2/3 冊 【二六】 七二頁

四書集註

1-66/2/2 冊 【附録一】 一三四頁

紫藤架下小池頭唸草・小西征詩・四  
年五回移居集

4-07/2/5 冊 【三八】 九六頁

重簾淺夢余稿  
4-07/ㄣ/2 冊 【三五】 九二頁

酒痕灯影詩  
4-07/ㄣ/3 冊 【三六】 九三頁

小西湖雜詠  
4-07/ㄣ/4 冊 【三七】 九五頁

辛亥存稿  
4-07/ㄣ/1 冊 【三四】 九〇頁

政記論文国字解  
5-03/ㄣ/1 冊 【四九】 一二二頁

西上集  
5-85/ㄣ/1 冊 【五六】 一三〇頁

晴雪山房一集  
4-03/ㄣ/2 冊 【六】 一〇頁

晴雪樓遺稿  
4-05/ㄣ/1 冊 【一一】 六一頁

晴雪樓雜稿  
4-05/ㄣ/2 冊 【一二】 六六頁

晴雪樓詩鈔  
4-07/ㄣ/2 冊 【四〇】 一〇一頁

晴雪樓詩鈔甲集  
4-07/ㄣ/3 冊 【四一】 一一一頁

晴雪樓小稿  
4-05/ㄣ/3 冊 【一二】 六八頁

晴雪樓存稿  
4-03/ㄣ/1 冊 【五】 七頁

晴雪樓文略  
4-05/ㄣ/4 冊 【二四】 六九頁

晴雪樓文話  
4-04/ㄣ/1 冊 【九】 三〇頁

晴雪樓余稿  
4-07/ㄣ/1 冊 【三九】 九八頁

西洞新居集  
4-07/ㄣ/4 冊 【四二】 一一四頁

統大統歌  
5-64/ㄣ/1 冊 【五一】 一二五頁

彫虫詩抄  
4-07/ㄣ/1 冊 【四三】 一一六頁

鉄屏書屋雜稿  
4-05/ㄣ/1 冊 【二五】 七一頁

鉄屏書屋小稿  
4-03/ㄣ/1 冊 【七】 一二二頁

東下錄  
5-85/ㄣ/1 冊 【五七】 一三二頁

東京写真鏡(甲)  
5-83/ㄣ/1 冊 【五一】 一二六頁

東京写真鏡(乙)  
5-83/ㄣ/2 冊 【五三】 一二七頁

読史戰論(甲)  
8-28/ㄣ/1 冊 【五九】 一三二頁

読史戰論(乙)  
8-28/ㄣ/2 冊 【六〇】 一三三頁

南紀名賢錄  
5-63/ㄣ/1 冊 【五〇】 一二三頁

梅墩詩鈔  
4-07/ㄣ/2 冊 【附錄四】 一三七頁

波山遊記  
5-85/ㄣ/1 冊 【五八】 一三一頁

八百八橋春水來集・襄陵集  
4-07/ㄣ/1 冊 【四四】 一一七頁

民権講義(甲)  
2-41/ㄣ/1 冊 【二】 四頁

民権講義(乙)  
2-41/ㄣ/2 冊 【三】 五頁

簾疊集  
4-03/ㄣ/1 冊 【八】 一七頁

編者略歴

福井辰彦（ふくい たつひこ）

一九九七年京都大学文学部文学科（国語学国文学専攻）卒業

二〇〇八年より立命館大学文学部人文学科日本文学専攻講師

（研究分野…日本近世文学、日本近代文学、日本漢文学、和漢比較文学）

---

京都大学附属図書館蔵 菊池三溪自筆稿本目録

平成二十四年三月三十日

編者 福井辰彦

発行 京都大学附属図書館

京都市左京区吉田本町

---